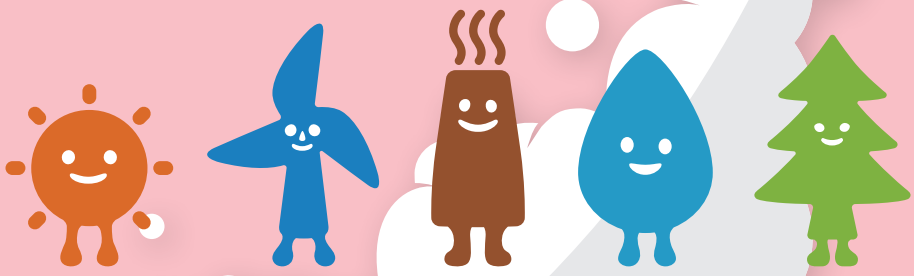
# 次世代エネルギーパーク

## ガイドブック

再生可能エネルギーを楽しく学ぼう!



経済産業省
資源エネルギー庁

2021年3月

Index 目次

# 全国の次世代エネルギーパーク


## 北海道地方

P05 稚内市次世代エネルギーパーク
P06 下川町次世代エネルギーパーク
P07 滝川市次世代エネルギーパーク
P08 札幌市次世代エネルギーパーク
P09 伊達市次世代エネルギーパーク
P10 芽室町次世代エネルギーパーク
P11 足寄町次世代エネルギーパーク

## 東北地方

P13 六ヶ所村次世代エネルギーパーク
P14 のしろ次世代エネルギーパーク
P15 男鹿市次世代エネルギーパーク
P16 あきた次世代エネルギーパーク
P17 にかほエネルギーパーク
P18 もりおかエネルギーパーク
P19 庄内町次世代エネルギーパーク
P20 尾花沢市次世代エネルギーパーク
P21 宮城県次世代エネルギーパーク
P22 福島市次世代エネルギーパーク
P23 郡山市次世代エネルギーパーク
P24 福島県次世代エネルギーパーク

## 関東甲信越地方

P26 新潟県次世代エネルギーパーク
P27 太田市次世代エネルギーパーク
P28 茨城県次世代エネルギーパーク
P29 千葉県次世代エネルギーパーク
P30 CCかわさきエネルギーパーク
P31 あいかわ・つくい次世代エネルギーパーク
P32 山梨市次世代エネルギーパーク
P33 富士の国やまなし次世代エネルギーパーク
P34 北杜市次世代エネルギーパーク
P35 ふじのくにしずおか次世代エネルギーパーク
P36 静岡市次世代エネルギーパーク
P37 いわた次世代エネルギーパーク
P38 浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク

## 中部地方

P40 富山市次世代エネルギーパーク
P41 かなざわ次世代エネルギーパーク
P42 あいち新エネルギーパーク
P43 三重県次世代エネルギーパーク

## 近畿地方

P45 若狭湾次世代エネルギーパーク
P46 東近江市次世代エネルギーパーク
P47 奈良県次世代エネルギーパーク
P48 大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク
P49 エネルギーパーク洲本
P50 ありだがわ次世代エネルギーパーク
P51 日高港新エネルギーパーク

## 中国地方

P53 とっとり次世代エネルギーパーク
P54 真庭市地産エネルギーパーク
P55 出雲市次世代エネルギーパーク
P56 福山市次世代エネルギーパーク
P57 北広島町次世代エネルギーパーク
P58 周南市次世代エネルギーパーク
P59 ときわ公園次世代エネルギーパーク

## 四国地方

P61 土庄町次世代エネルギーパーク
P62 阿南市次世代エネルギーパーク
P63 とうおん次世代エネルギーパーク
P64 まつやま次世代エネルギーパーク
P65 えひめ次世代エネルギーパーク

## 九州地方

P67 北九州次世代エネルギーパーク
P68 大牟田市次世代エネルギーパーク
P69 玄海町次世代エネルギーパーク
P70 平戸市次世代エネルギーパーク
P71 長崎次世代エネルギーパーク
P72 大分県次世代エネルギーパーク
P73 くまもと次世代エネルギーパーク
P74 宮崎県次世代エネルギーパーク
P75 いちき串木野次世代エネルギーパーク

## 沖縄地方

P77 糸満市次世代エネルギーパーク
P78 宮古島次世代エネルギーパーク

P80 お問い合わせ窓口

# ガイドブックの見方・使い方

**❶キャッチコピー**
次世代エネルギーパークの特徴とアピールポイントを表現しています。

**❷関連パンフレット**
クリックすると、各自治体が作成した関連パンフレット（PDF）にジャンプします。

**❸再生可能エネルギーの種類**
次世代エネルギーパーク内で設置・稼働している再生可能エネルギーの種類を表示しています。

各ページの左側はインデックスになっています。

INDEXをクリックすると目次に、地区名をクリックすると地区別目次にジャンプします。

また、目次と地区別目次に記載されている次世代エネルギーパーク名をクリックすると、該当する紹介ページにジャンプします。

**❹次世代エネルギーパーク計画書**
クリックすると、各自治体が作成した次世代エネルギーパークの計画書を表示します。

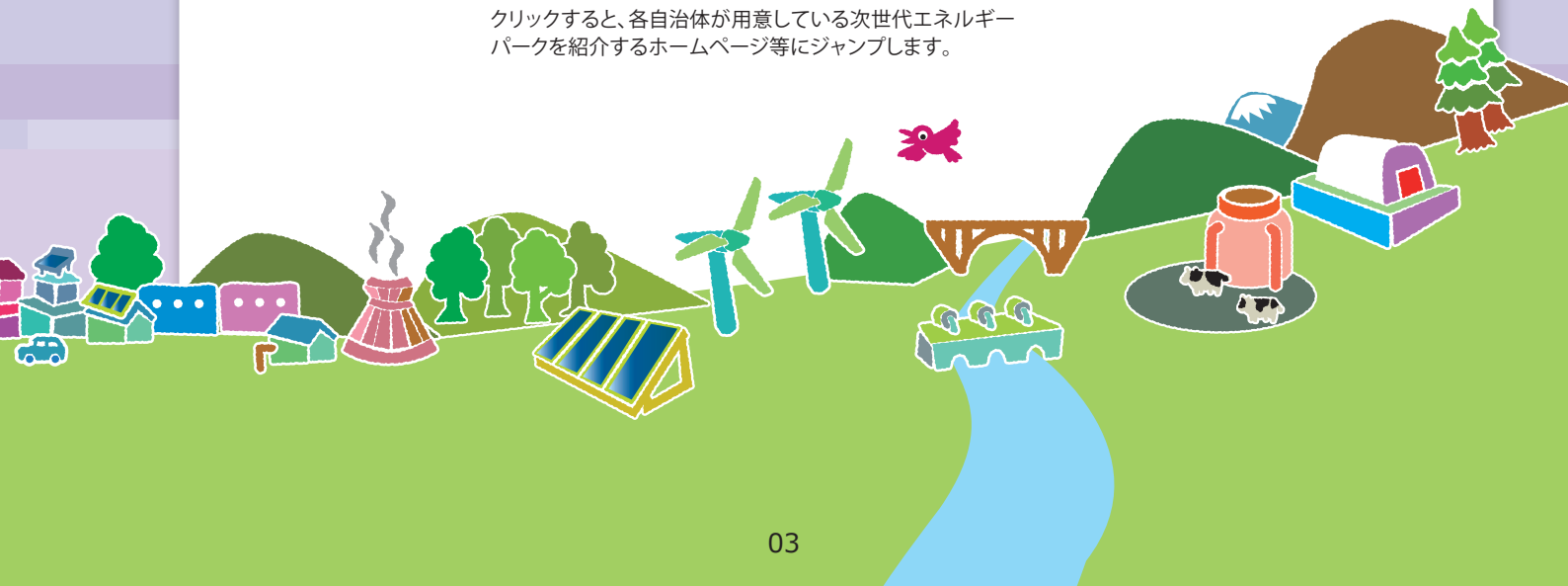
**❺エネルギーパーク概要**
次世代エネルギーパークの概要を説明しています。

**❻Data Watch**
次世代エネルギーパークや該当地域での再エネに関する特徴を表す数字です。施設数や発電出力量、来場者数などで、それぞれ特徴あるデータを見比べてみましょう。

**❼見学コース**
次世代エネルギーパークの代表的な施設を見学するためのモデルコースの紹介です。地図には移動時間・方法も記載しているので参考にしてください。

**❽お問い合わせ**
次世代エネルギーパークの担当部署、および連絡先を記載しています。

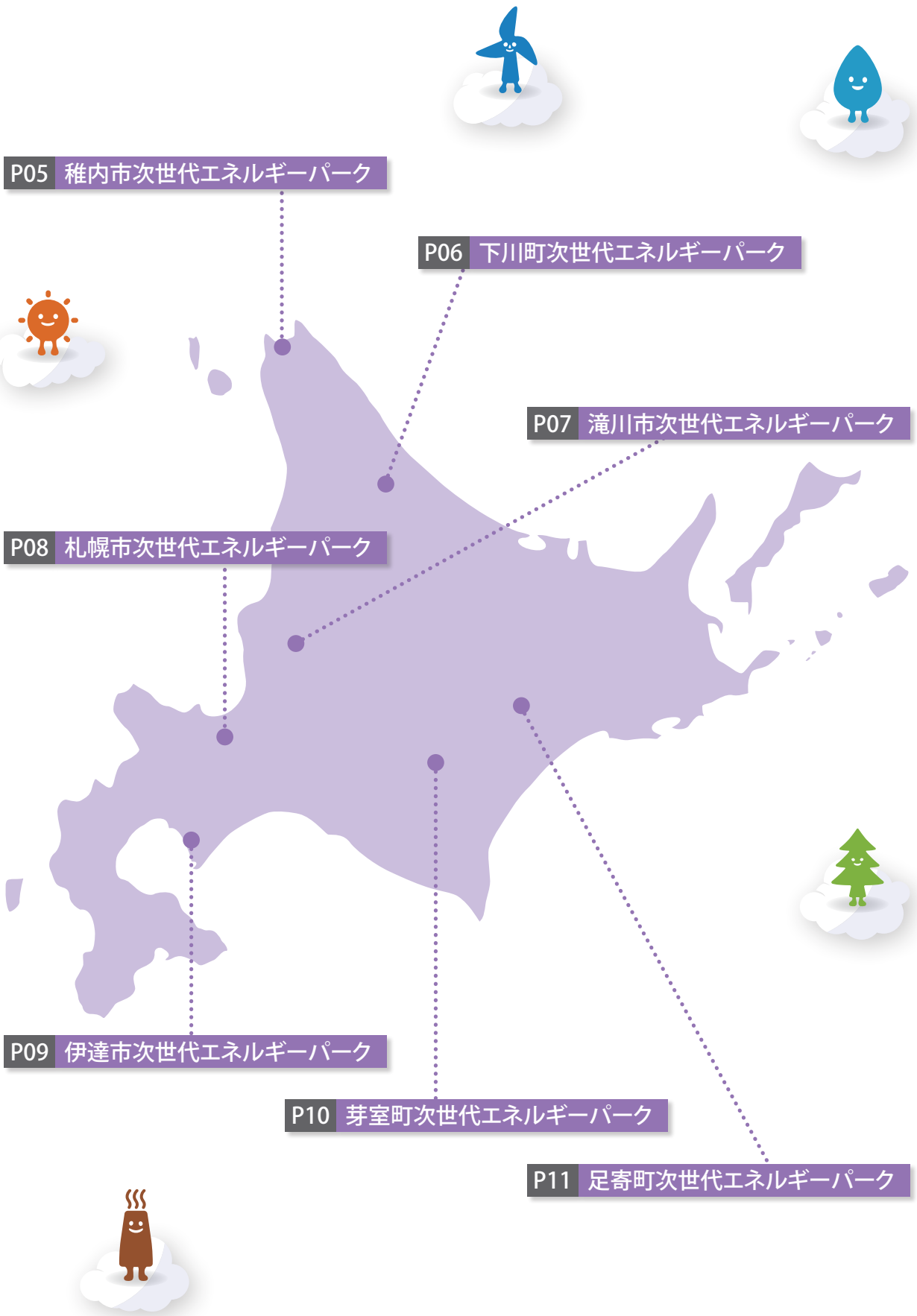
**❾関連ホームページ**
クリックすると、各自治体が用意している次世代エネルギーパークを紹介するホームページ等にジャンプします。



# 1 地方別エネパ紹介

## 北海道地方

7カ所



平成22年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス　雪氷熱利用　・燃料電池

# 稚内市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 「人と地球にやさしいまち わっかない」を目指して

稚内市は、全国有数の風況を誇る地域特性を生かした風力発電をはじめ、太陽光やバイオマスなど多様な再生可能エネルギーの導入が進んでいます。57 基の風車がそびえ立つ宗谷丘陵は、北海道遺産選定の周氷河地形、日本最大級の宗谷岬牧場の他、サハリンまで一望できる宗谷岬もある観光スポットです。稚内の観光や味覚と共に、多様な再生可能エネルギーを見学できるエネパとして国内外に発信していきます。

### Data Watch

稚内の風力と太陽光を利用した発電量は、市内の電力需要の120%以上に相当します。

**120**

## おすすめ 見学コース

**稚内の風力と太陽光を利用した発電量は、市内の電力需要の120%以上に相当します。稚内の広大な自然と、そこから生み出される多様な再生可能エネルギーをご見学ください。**

### ① 北海道遺産・宗谷丘陵の周氷河地形（宗谷岬ウインドファーム）

広大な宗谷丘陵は、氷河期に地表の凍結・融解を繰り返すことによって「周氷河地形」を形成。この地形は「北海道遺産」に指定されており、日本最北のこの丘陵には国内最大規模の宗谷岬牧場が広がり、57基の発電用風車群が林立しています。

### ② 宗谷岬

宗谷岬の先端、北緯45度31分22秒にある「日本最北端の地の碑」。前方三方が海に囲まれ、正面には43km先のサハリンの島影が見られる主要観光スポットです。

### ③ 雪氷冷熱自然利用貯蔵庫

冬季の冷たい外気により水を凍らせ、その氷を冷熱源として春から秋までの期間、貯蔵庫内温度を一定の温度に保つための雪氷冷熱エネルギーを利用する施設です。

### ④ 道立宗谷ふれあい公園（稚内メガソーラー）

道立宗谷ふれあい公園展望台より、約5,000kWの出力を誇る太陽光発電施設の全貌を見ることができます。

### 詳しい施設情報はこちら

稚内市環境水道部環境エネルギー課 環境政策G
TEL：0162-23-6386　FAX：0162-23-5960
MAIL：kankyoenergy@city.wakkanai.lg.jp
http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/kankyo/energy/energypark.html

平成25年度認定

バイオマス

# 下川町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 林業の町が一丸で取り組む、ユニークな木質バイオマス推進

下川町次世代エネルギーパークでは、町全体で林業・林産業・住宅利用が一体となった木質バイオマスの利活用が視察できます。各公共施設の木質バイオマスボイラーだけでなく、木質原料製造施設（木くず燃料の製造施設）、集住化住宅と一体的に整備されている地域熱供給システムなど、積雪寒冷地である北海道ならではの、国内では珍しい熱供給設備がそろっています。

**Data Watch**

**70**

公共施設全体の熱需要量の70%を
バイオマスエネルギーに転換。

## おすすめ見学コース

**木を余すところなく使い、厳しい冬を乗り切る木質バイオマスエネルギーのすごさを実感できる見学コースへ、しもかわ観光協会がご案内します。木質ボイラーを利用している五味温泉でのご入浴・ご宿泊もお薦めです。**

### ① 木質原料製造施設

林地残材などを収集し、木質バイオマスボイラー用の木くず燃料を製造する施設。チッパー機で木を破砕する様子は豪快です。

### ② 役場周辺地域熱供給システム

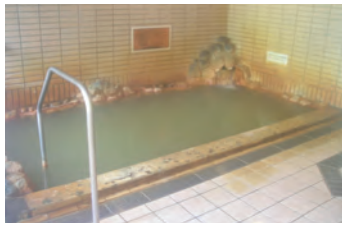
木くず燃料をたき、役場周辺の複数施設に暖房熱を供給する大きな木質バイオマスボイラー。ボイラー内で木くずが燃える様子も見ることができます。

### ③ 環境共生型モデル住宅「エコハウス美桑」

北海道の厳しい寒さや積雪を乗り切る知恵が詰まったエコハウス。高断熱・高気密な構造に加え、地中熱ヒートポンプやペレットストーブで暖房を賄っています。

### ④ 五味温泉

北海道で初めて木質バイオマスボイラーが導入された公共温泉施設。国内では珍しい含二酸化炭酸水素塩泉で、木のぬくもりを感じてください。



### 詳しい施設情報はこちら

下川町 森林商工振興課 バイオマス産業戦略室
TEL：01655-4-2511　FAX：01655-4-2517
MAIL：s-biomass@town.shimokawa.hokkaido.jp
http://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/
その他の見学ツアー
http://www.shimokawa-time.net/guide/

特別豪雪地帯に設置された
再エネ設備をご覧ください

平成27年度認定

太陽光発電 太陽熱利用　バイオマス　風力発電

# 滝川市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## さまざまな種類の再エネ設備がまとめて見られる

滝川市の面積は 115.9k ㎡で、北海道の中ではそれほど広くはありません。このコンパクトな町の中にさまざまな種類の再エネ設備があり、各施設は車で最大 30 分の距離にあるので、１日で見て回ることができます。また、町へのアクセスも札幌から車で約 1 時間、旭川市からであれば約 30 分（いずれも高速道路利用時）。アクセスも非常に良く、気軽に再生可能エネルギーに触れていただけます。

### Data Watch

1983～2019年の最深積雪の平均が90cmである滝川市は国の特別豪雪地帯に指定されている、道内有数の豪雪地帯。そんな厳しい環境でも、さまざまな再エネ設備が活躍しています。

**90**

### おすすめ見学コース

**①滝川ふれ愛の里→②伯東滝川ほほえみソーラーパーク→③中空知衛生施設組合「リサイクリーン」→④JR滝川駅前広場。見学には事前連絡が必要な場合があるので、滝川市役所産業振興課までご連絡ください。**

#### ① 滝川ふれ愛の里

年間20万人以上の利用がある温泉施設で、太陽光・風力・太陽熱の設備が一度に見学できます。コテージでの宿泊も可能（要予約）。

#### ② 伯東滝川ほほえみソーラーパーク

市有地へのメガソーラー誘致第1号のサイトです。物見台から見学できます。

#### ③ 中空知衛生施設組合「リサイクリーン」

滝川市を含む3市2町の生ごみ処理施設です。生ごみから発生するメタンガスで発電しています。

#### ④ JR滝川駅前広場

年間200万人以上の利用がある駅前広場に、太陽光・風力によるハイブリッド型街路灯を整備しています。

### 詳しい施設情報はこちら

滝川市産業振興部産業振興課 企業連携係
TEL：0125-28-8009（直通） FAX：0125-23-5839
MAIL：syoukou@city.takikawa.lg.jp
http://www.city.takikawa.hokkaido.jp/

動物園内で「いのち」と「エネルギー」の
関わりを学ぶ

平成20年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス　雪氷熱利用　・コージェネ

# 札幌市次世代エネルギーパーク

パンフレット（表面）　パンフレット（裏面）　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 地球のいのちとエネルギーに触れる「円山エコZoo」

札幌市円山動物園に展開する札幌市次世代エネルギーパークは、動物たちとの触れ合いを楽しみながら、地球に生きる生命と私たちが使うエネルギーについて、環境というキーワードを通して考える施設です。園内には太陽光発電、太陽熱温水器、木質ペレットボイラーをはじめ、雪冷熱利用による冷房など地域特性を生かしたさまざまな再生可能エネルギー設備を配置しています。

**Data Watch**

歩いて回れるエネルギーパーク・動物園内の13施設に再生可能エネルギー機器が大集合しています。

**13**

## おすすめ見学コース

**各施設は動物園内にまとまっているので、どこから見学しても構いませんが、正門近くの「動物科学館」でエネルギーパークの全体像や展示設備を見てから、園内を散策するのがお薦めです。**

### ❶ 動物科学館（パネル展示）

エネルギーパーク全体の再生可能エネルギー設備の説明や木質バイオマスなどのパネル展示を行っています。また、雲の動きや温暖化シミュレーションなど、多彩な映像が映し出される「触れる地球」を設置しています。

### ❷ 子ども動物園（太陽熱温水器）

太陽熱を利用して水道水を5℃程度温め、ウサギやモルモットなどの小動物に触れた後の手洗いに使用しています。

### ❸ アジアゾーン高山館（雪冷熱）

壁の吹き出し口から、夏期には15℃前後の雪解水による冷風を体感することができます。冷風で冷やされた観覧室では、活発に活動するレッサーパンダを目近で見ることができます。

### 詳しい施設情報はこちら

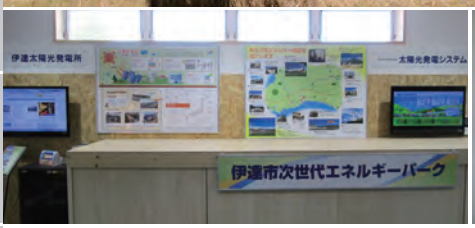
札幌市環境局環境都市推進部 環境エネルギー課
TEL：011-211-2872
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/energypark.html

平成23年度認定

小水力発電　太陽光発電　風力発電　木質バイオマス（木質ペレット）

# 伊達市次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード



## 温暖な気候と豊かな自然による再生可能エネルギー活用

伊達市の中心部に位置する道の駅だて歴史の杜「伊達市観光物産館」を中核施設として位置付け、豊かな森林資源を活用した木質ペレット製造施設や市内に建設されている太陽光発電、風力発電などの自然エネルギー関連施設を「伊達市次世代エネルギーパーク」として環境学習の場として活用。同時に、学校教育、観光など関連分野とも連携した次世代エネルギーの普及啓発を推進することで「環境にやさしいまち・伊達」を目指しています。

### Data Watch

市史によると1917年12月に「市街地に初めて電灯がともる」とあります。約100年前の出来事ですが、今ではLEDや太陽光発電パネルが普通に。100年前の市民が見たらきっと驚くでしょう。

**1917**

## おすすめ見学コース

**「伊達ウィンドファーム」「伊達ソーラー発電所」を見学し、道の駅だて歴史の杜「伊達市観光物産館」や周辺のレストランで昼食。最後は「伊達市木質ペレット製造プラント」を見学し、北湯沢温泉郷でのんびりと。**

### ❶ 伊達ウィンドファーム

2011年から（株）ユーラスエナジー伊達の風力発電機5基が運転を開始しました。発電出力は1基当たり2,000kWで、年間の発電量は一般家庭約6,600世帯の使用量に相当。ローターの直径は83.3mです。

### ❷ 伊達ソーラー発電所

2011年から運転している北海道電力（株）の大規模太陽光発電所です。4,800枚の太陽光発電パネルによる発電出力は1,000kW、年間発生電力量は約100万kWhで、これは一般家庭約300世帯分の年間電気使用量に相当します。

### ❸ 伊達市観光物産館

伊達市次世代エネルギーパークの中核施設であり、市内の次世代エネルギー関連施設の情報を展示するとともに、本市の観光拠点として文化・観光施設や温泉、宿泊施設などを総合的にご案内しています。

### ❹ 伊達市木質ペレット製造プラント

2007年に大滝区に年間最大2,000tの製造能力を持つ木質ペレットプラント製造施設を整備。主に市内の公共施設や一般家庭の他、札幌市の小・中学校の暖房用ボイラーの燃料としても利用されています。

### 詳しい施設情報はこちら

伊達市経済環境部環境衛生課 環境衛生係
TEL：0142-23-3331（代表） FAX：0142-23-1084
MAIL：kankyo@city.date.hokkaido.jp
http://www.city.date.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000761.html

平成23年度認定

バイオマス　太陽光発電

# 芽室町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 農業の町ならではの取り組みで再生可能エネルギーを推進

芽室町では、町内各所のペレットボイラーや太陽光発電、地中熱ヒートポンプなどの再生可能エネルギー関連施設と組み合わせて、「エネルギーの地産地消」の取り組みを推進しています。また、町内の観光施設などと連携し、主産業である「農業」、および「食」と共に、エネルギーの地産地消を広くPRしています。

**Data Watch**

**25**

毎年、約25tのペレットを製造しています。

## おすすめ見学コース

**ペレット工場を中心に、町内のペレットボイラー使用施設や太陽光発電導入施設などをご見学いただけます。**

### ① ペレット工場

高齢者事業団（めむろシニアワークセンター）が、周辺に支障をきたす木（支障木）や剪定枝などからペレットを製造しています。

### ② めむろシニアワークセンター育苗施設

支障木や剪定枝などから製造したペレットを燃料とし、高齢者事業団（めむろシニアワークセンター）が花の苗を育てています。

### ③ めむろ子どもセンター「あいりす」

太陽光発電パネルと地中熱ヒートポンプを設置しており、施設内のモニターでは、発電などの状況を確認することで、省エネについて学ぶことができます。

### ④ 国民宿舎「新嵐山荘」

ペレットボイラーによる熱供給を行っている宿泊施設です。

### 詳しい施設情報はこちら

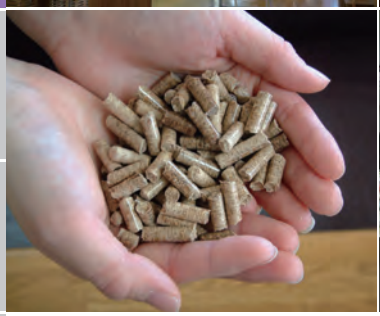
芽室町企画財政課 企画調整係
TEL：0155-62-9721　FAX：0155-62-4599
MAIL：k-kikaku@memuro.net
http://www.memuro.net/

平成24年度認定

太陽光発電　バイオマス　雪氷熱利用　・地中熱利用　・温泉熱利用

# 足寄町次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード



## 農林業地帯の特性を生かした建築とエネルギー利用

北海道東部の林業地帯ではカラマツが盛んに植えられており、その利用拡大が期待されていますが、足寄町では全国に先駆けてカラマツ集成材を活用した役場庁舎を建設したのを皮切りに公共施設の多くがカラマツ木造建築となっています。また、これに伴って発生する残材は木質ペレットに加工し、暖房用燃料として利用し、バイオマス資源を無駄なく利用する地域システムが確立されています。農業分野では、畜産が盛んなことからバイオガスプラントの導入が進められ、エネルギー自立化と共に産業のさらなる活性化が期待されます。

### Data Watch

見学コースのメインとなる役場庁舎では、暖房に関して化石燃料を使用していません。使用量0です。

**0**

## おすすめ見学コース

**役場庁舎で地域材を活用した建築と木質ペレットによる暖房システム、そしてペレット工場で製造工程を見学することで、官民連携によるエネルギー地産地消の意義について学習することができます。**

### ① 足寄町役場庁舎

町有林のカラマツを材料とする集成材によって建てられた木造2階建ての庁舎は、木質ペレット暖房システムを主体に北海道の気候特性を考慮した省エネ建築で、木質バイオマス資源利用の好例となっています。

### ② 芽登ペレット工場

廃校施設を利用し、とかちペレット協同組合が運営する木質ペレット製造工場です。原料置き場は元校庭、製造ラインは元体育館など、ローテクの中にもさまざまな工夫を凝らし、ローコスト経営を実現させている点も注目です。

### ③ 道の駅あしょろ「銀河ホール21」

役場庁舎とペレット工場の主要2施設を見学した後はぜひ道の駅へ。レストランやテイクアウトコーナーで地元のグルメが楽しめる他、売店では木こりの手作りウッドキャンドルなどのお土産をご購入いただけます。

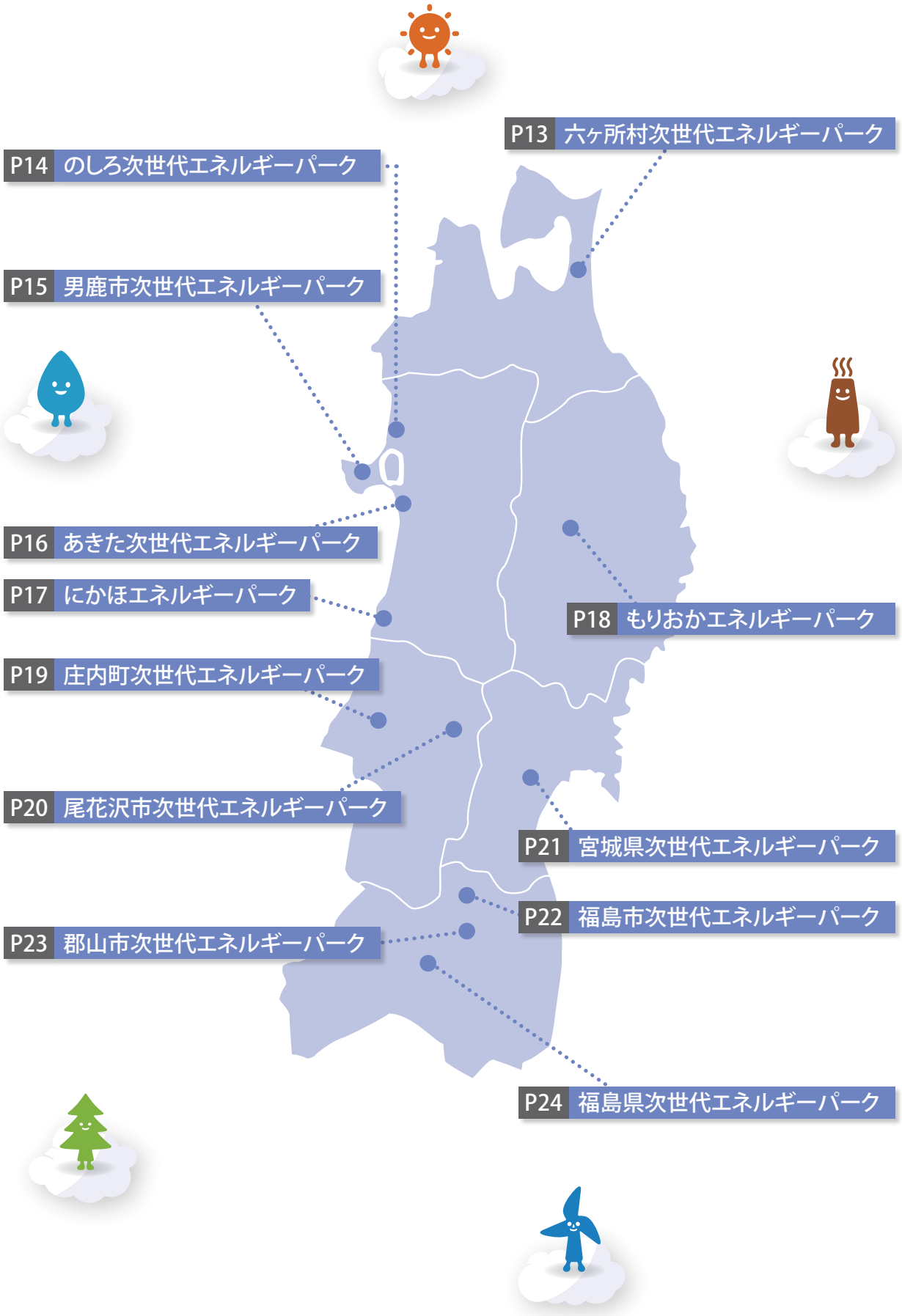
### ④ マルショウ技研（株）ペレットストーブショールーム

時間と興味のある方は国内外のペレットストーブを多数展示しているショールームへ。ペレットストーブの魅力や扱い方、選び方について専門知識豊富なスタッフが相談に乗ってくれます。

### 詳しい施設情報はこちら

足寄町経済課商工観光振興室 資源エネルギー担当
TEL：0156-25-2141（内線242、252）FAX：0156-25-5706
MAIL：energy@town.ashoro.hokkaido.jp
http://www.town.ashoro.hokkaido.jp/shigoto/newener.html

# 2 地方別エネパ紹介
## 東北地方
12カ所



平成20年度認定

太陽光発電　風力発電

# 六ヶ所村次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## エネルギー施設が集積する ユニークなエネルギーパーク

六ヶ所村は、原子燃料サイクル関連施設をはじめ、核融合エネルギー研究センターや風力発電施設、太陽光発電施設など、多くのエネルギー施設が集積する全国でも珍しい地域です。

### Data Watch

六ヶ所村次世代エネルギーパークの3つのコンセプト、①体験型情報発信、②旧・今・新のエネルギー、③自立×協調型の事業運営を表しています。

**3**

## おすすめ 見学コース

**①六ケ所原燃PRセンター→②六ヶ所村特産品販売所「六旬館」で昼食→③国際核融合エネルギー研究センター→④太陽光発電施設、風力発電施設（車窓見学）**

### ① 六ケ所原燃PRセンター

六ケ所原燃PRセンターでは、ウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、再処理工場などの「原子燃料サイクル施設」を紹介するとともに、原子力・放射線についての説明コーナーも設けています。

### ② 六ヶ所村特産品販売所「六旬館」

六旬館とは、「村内の新鮮な食材や村内外の特産品が集まる！」「スパハウス『ろっかぽっか』などの観光スポットがすぐ近くにある！」「六ヶ所村の『旬』が集まった施設」です。

### ③ 国際核融合エネルギー研究センター

当センターは、太陽や恒星のような核融合エネルギーを地上で実現しようという壮大なプロジェクトの拠点施設です。ITERの遠隔実験をはじめ、核融合計算機シミュレーションなどが欧州との協力の下で進められています。

### ④ 大規模太陽光発電施設、大規模風力発電施設（車窓見学）

大規模太陽光発電施設：2013年に初めて建設され、現在では3発電事業所、設備容量16万8,000kWが稼動しています。大規模風力発電施設：2003年に稼動し、現在は92基、設備容量14万5,350kWが稼動しています。

### 詳しい施設情報はこちら

六ヶ所村次世代エネルギーパークインフォメーションセンター
六ヶ所村特産品販売所 六旬館内
TEL：0175-71-3115　FAX：0175-71-3116
MAIL：energy-park@rokkasho.jp
http://6energypark.com/index.html

平成25年度認定

風力発電　太陽光発電　バイオマス

# のしろ次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 多彩なエネルギーを知り、幅広い視野を育む

学校教育や生涯学習との連携を図り、能代市の持つ多様な再エネポテンシャルを見学・体感できるようなプログラムを盛り込んでいます。また、市域にある再生可能エネルギー設備と能代火力発電所付属施設（PR館：能代エナジアムパーク）を周遊コースによって結び付け、さまざまなエネルギーが体験できるパークづくりを目指します。

**Data Watch**

**62,660**

市内風力発電所の
導入量（kW）です。

## おすすめ見学コース

**能代火力発電所の廃熱を利用した「熱帯植物園」は必見。**
**2MW級風車は真下から眺めてもよし、はまなす展望台から眺めてもよし。**
**また、はまなす展望台からは、能代のエネルギー施設の全体像を見ることができます。**

### ❶ 能代エナジアムパーク

能代火力発電所にある透明なドームが目印。発電所の排熱を利用した「熱帯植物園」や、地球やエネルギーのことが分かる「エネルギーの森」など、遊びながら学べます。外には「冒険広場」などがあり、1日中楽しめます。

### ❷ 米代川風力発電（株）能代港第二風力発電所

2013年12月、能代港大森緑地内に建った風力発電所。タワー直下まで立ち入ることができ、見上げた様は壮観です。グローバルウインドデイの会場ともなっていて、参加者のイラストがタワーを彩っています。

### ❸ はまなす展望台

能代港大森緑地内の展望台。南側は遠く男鹿市域までの海岸線に立つ風車が一望でき、北は白神山地の美しい山並みが楽しめます。100段の階段は運動不足解消にもってこい？

### ❹ 能代落合太陽光発電所

能代初のメガソーラーとして2014年8月に稼動を開始した太陽光発電所。雪国である秋田での太陽光発電は不利とされる中、試験的な要素を盛り込んだ発電事業を展開しています。

### 詳しい施設情報はこちら

能代市環境産業部商工港湾課 産業政策室
TEL：0185-89-2187　FAX：0185-89-1775
MAIL：syokou@city.noshiro.lg.jp
https://www.city.noshiro.lg.jp/section/kankyo-sangyo/shoko-kowan/seisaku/

平成25年度認定

太陽光発電　風力発電

# 男鹿市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 歴史・文化と共に、エネルギーのこれからを考える

悠久の時が育んだ男鹿の豊かな自然は、地層・地質・埋蔵資源として太古からの「大地の物語」を伝え、資源を活用し営んできた「ひとの物語」は独自の文化を育みました。大地の成り立ちを知り、地球と自然を学ぶ「男鹿半島・大潟ジオパーク」である男鹿市では、今、新たな自然の恵み、次世代エネルギー施設が整いつつあります。こうした機会を捉え、自然・文化とエネルギー双方の学習と啓発を推進するため、地域の現在を見学しながら過去を学習し、未来の姿を考える、自然環境と融合した次世代エネルギーパークを目指します。

### Data Watch

三方を海に開かれている男鹿市は、「石油」「太陽光」「風力」の3種の大規模施設を有し、ジオパークによる取り組みを通じて、現在・過去・未来の3つの時代のエネルギーを学ぶことができます。

**3**

## おすすめ 見学コース

**風光明媚な男鹿半島の景観を楽しみつつ巡るドライブコースがお薦めです。
スタートは巨大なまはげ像が出迎える男鹿総合観光案内所。
最後は眺望に優れた寒風山へ立ち寄れば、訪れた各施設が一望できます。**

### ① 男鹿総合観光案内所、ナマハゲソーラーパーク、風の王国男鹿発電所

観光案内所にはガイドが常駐し、各種パンフレットを用意（トイレ、軽食、売店併設）。隣接する太陽光発電所（1,250kW）では管理棟でパネルなどの展示を見学できる他、周辺には風力発電施設（1,870kW×4基）もあります。

### ② ジオパーク学習センター

男鹿市役所若美支所に併設されており、男鹿半島の成り立ちや岩石・化石の展示、地震・火山の記録、「年縞」を展示。理科学習コーナーでは、次世代エネルギーに関する展示を行っています（説明員常駐、入館料無料）。

### ③ 男鹿風力発電（株）男鹿風力発電所

市内初のウインドパーク（2,400kW×12基）。海風を受ける小高い丘に立ち並ぶ風車群で、各サイトからは漁港、海岸線、入道崎、白神山地を望むことができます（見学は要申し込み）。

### ④ 秋田石油備蓄基地 石油備蓄資料館

世界最大級の地中式タンク12基、地上式タンク4基から成る約450万kℓ規模の備蓄基地。基地内に風力発電（さむかぜ君）1,500kWを整備し、資料館では基地の概要や地中式原油タンクの仕組みが学べます（入館料無料、要申し込み）。

### 詳しい施設情報はこちら

男鹿市総務企画部企画政策課 企画広報班
TEL：0185-24-9122　FAX：0185-23-2424
MAIL：kikaku@city.oga.akita.jp
http://www.city.oga.akita.jp/index.cfm/12,7418,151,1,html

平成26年度認定

風力発電　太陽光発電　地中熱　バイオマス

# あきた次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 見学案内窓口を設置し、説明員を無料で派遣

秋田市には、恵まれた森林資源を活用した木質バイオマス発電所、豊かな風況を生かした風力発電施設の他、地中熱利用施設や最終処分場跡地を活用した太陽光発電所など多種多様な再生可能エネルギー施設が集積しています。「あきた次世代エネルギーパーク」では、施設を一体として気軽に見学できるよう、専用の受付窓口を開設し、見学コースの紹介や複数施設の予約を一括して行うとともに、地球温暖化についてや見学施設の概要を説明する説明員を無料で派遣しています。

### Data Watch

見学対象施設が42施設あります。
風力が20、太陽光が7、バイオマス利用が8、地中熱利用が5、廃棄物発電が2の計42施設です。

**42**

## おすすめ見学コース

**秋田市は風況が良く、さまざまなタイプの風力発電施設を市街地の近くで見ることができます。また、地元木材を使ったバイオマス施設や日照不足への工夫によって実現したメガソーラーなど市内のさまざまな施設を見学できます。**

### ① 秋田公立美術大学

新たな芸術領域の創造、世界へ発信するグローバル人材の育成など、4つの基本理念の下に開学した東北で唯一の公立美術大学です。地元で生産された木質ペレットを燃料とする冷暖房用ペレットボイラーが設置されています。

### ② 風力施設群

秋田市の風況の良さを象徴する風車が道路に沿って立ち並ぶ、海岸のドライブコースです。この地区では洋上風力の計画も進められており、再生可能エネルギー活用の拠点としてさらなる発展が期待されています。

### ③ ユナイテッドリニューアブルエナジー（株）

全国一の杉人工林を有する本県の豊富な森林資源を活用し、2016年7月から、未利用材などを燃料にバイオマス発電を行っています。最大出力20.5MWのバイオマス発電所は東北最大級を誇ります。

### ④ ENEOS㈱

石油製品の出荷基地であるENEOS（株）秋田油槽所内に4MWの太陽光発電と1.5MWの風力発電が設置され、同じ敷地内に現在と未来の主力エネルギーが建ち並んでいます。

### 詳しい施設情報はこちら

秋田市環境部環境総務課 新エネルギー担当
TEL：018-888-5704　FAX：018-888-5703
MAIL：ro-evmn@city.akita.lg.jp
http://www.city.akita.lg.jp/kurashi/recycle/1006073/1006100.html

平成25年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス　小水力発電
・コージェネ
・BDF

# にかほエネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## どうつくり、どう使われるかが「見える場所」

風力発電が集中する仁賀保高原のひばり荘では、市内の再生可能エネルギーが、どのように消費されるかが分かるように展示。また、市内で実際に発電している施設を巡ることができる見学コースも用意しています。

**Data Watch**

**35,000**

市の世帯数約9,500世帯、その約3倍である3万5,000世帯分の発電量を誇ります。

## おすすめ見学コース

**①道の駅きさかた「ねむの丘」→②ひばり荘と土田牧場→③獅子ヶ鼻湿原→④温泉保養センター「はまなす」**

### ① 道の駅きさかた「ねむの丘」

東北最大級の道の駅。地元産の岩ガキなどの魚介や日本酒などのお土産をお求めいただけるだけでなく、日本海に沈む夕日や鳥海山、九十九島を眺めながら、お食事や日帰り入浴が楽しめます。

### ② ひばり荘と土田牧場

ひばり荘では、にかほ市内の再エネに関するパネルを展示。展望室からは、鳥海山をバックに風力発電施設が間近に見られます。また、土田牧場では、動物と触れ合いながら乳製品などが味わえます。

### ③ 中島台レクリエーションの森（獅子ヶ鼻湿原）

奇形巨木「あがりこ大王」など、ブナの原生林は神秘的な空間。湧水池「出つぼ」からの伏流水がつくる「獅子ヶ鼻湿原」は、世界的に貴重なコケの群生地で、流水の中で球状になる「鳥海まりも」が生息しています。

### ④ 温泉保養センター「はまなす」

自噴する天然ガスを使ったコージェネレーション発電を館内の照明に使い、排熱は水の加温に利用。宿泊・日帰り入浴共に、皮膚病などに効く天然温泉と地魚や山菜など四季折々の旬の味覚が楽しめます。

### 詳しい施設情報はこちら

にかほ市 まちづくり推進課
TEL：0184-43-7510　FAX：0184-62-9013
MAIL：machidukuri@city.nikaho.lg.jp
http://www.city.nikaho.akita.jp/

水と緑の都“もりおか”を
未来につなぐ

平成27年度認定

太陽光発電　風力発電　水力発電　地熱（温泉熱）　バイオマス（木質・廃棄物）

# もりおかエネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 歴史・自然・再エネの共存を目指して

日本二百名山・姫神山を市内に抱き、清らかな水に恵まれる盛岡市は、盛岡城の城下町に始まる400年以上の歴史や市街を流れる幾つもの清流、四季が見せる豊かな表情から「みちのくの小京都」とも称されます。再エネに目を向けると、清流の１つ、北上川の水系には半世紀以上にわたる水力発電の実績があり、姫神山の連なりでは、自然に配慮した太陽光・風力発電の設置や木質バイオマスの利用が進んでいます。「もりおかエネルギーパーク」で、歴史と自然の中に溶け込む再エネを体感してみませんか。

### Data Watch

中心施設であるエコアス広場は、エコロジーの「エコ」、中心の「コア」、明日・未来の「明日」という3つの言葉をつなげたものです。エコを中心に明日を築くことを学ぶ広場として利用されています。

**3**

## おすすめ見学コース

**中心部の環境学習広場（愛称：エコアス広場）を出発して水力発電やごみ焼却の余熱利用施設などを巡り、ゴールの後は温泉と郷土食で心と体をリフレッシュするコースです（施設内部の見学を希望する場合は事前予約が必要）。**

### ❶ エコアス広場

旧盛岡競馬場跡地に整備された公園型の施設。再エネ利用の照明や地下水汲み上げポンプによる人工池、各所に設置された学習パネルなどと合わせて、再エネに触れながら学ぶことができる公園です。

### ❷ 四十四田発電所（四十四田ダム）

東北最大の河川・北上川本流に建設されたダムの豊富な貯留水を利用する発電所です。「南部片富士湖ものしり館」ではダムの役割や自然環境について学べます。ダムから車で3分の岩手県立博物館もお薦めのスポット。

### ❸ クリーンセンター・ゆぴあす

ごみの焼却熱を、蒸気タービン発電と熱交換設備で活用。センター内の冷暖房・給湯に加え、隣接する「ゆぴあす」では焼却熱の余熱利用により、温水プールや浴場、サウナなどがオールシーズンで楽しめます。

### ❹ ユートランド姫神・ソーラーガーデン姫神

産直や郷土料理コーナーを備えた地産地消の温泉宿泊施設です。給湯や暖房には地元の木材を利用するチップボイラーを導入。玄関前の見学台からは広大なソーラーガーデン姫神の太陽光パネルが一望できます。

### 詳しい施設情報はこちら

盛岡市環境部環境企画課 環境みらい係
TEL：019-626-3754（直通） FAX：019-626-4153
MAIL：kankyou@city.morioka.iwate.jp
http://www.eco-morioka.jp

平成24年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス　雪氷熱利用　・コージェネ

# 庄内町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 省エネも次世代エネルギーの1つ

風力エネルギーの利用にいち早く取り組んできた庄内町では、再生可能エネルギーと省エネルギーを車の両輪のようなものとして捉え、合わせて次世代エネルギーの普及を推進しています。今後は、町内の約３分の２を占める森林資源の有効活用をはじめとしたエネルギーの地産地消「庄内町モデル」を目指します。

### Data Watch

町内には現在8基の風車が稼動し、1995年オープンのウィンドーム立川は次世代エネパの中核施設です。同年には、国内初の民間企業6社による風力発電売電会社（株）山形風力発電研究所も設立。

**8**

## おすすめ見学コース

**風車村（ウィンドーム立川）で庄内町の概要を知った後、田んぼにたたずむ風車群の見学、産直施設を楽しむコース。風にちなんだ町づくりに触れてみてください。**

### ❶ ウィンドーム立川

次世代エネパの中核施設。風車について学ぶことができます。大型木製遊具やバッテリーカー施設、庄内平野が一望できる展望塔があり、子ども連れで楽しめます。6月下旬には併設のラベンダー畑が見頃になります。

### ❷ 立川ウィンドファーム

田んぼの中に風車群がそびえたつ日本では珍しい光景が広がります。1999年稼動の風車をはじめ、2018年稼動の風車と、3種類の風車が同じ風景に収まる風車の歴史を知るにはもってこいのスポットです。

### ❸ 道の駅しょうない「風車市場」

町内で採れる新鮮な野菜や山菜など地場産農産物の販売コーナーと、地元食材をふんだんに使った主婦レストラン「いろどり」がメインの道の駅です。電気自動車の急速充電施設も併設しています。

### 詳しい施設情報はこちら

庄内町環境防災課 新エネルギー係
TEL：0234-56-3396
http://www.town.shonai.lg.jp/windome/shinenergy/index.html

平成23年度認定

太陽光発電　バイオマス　水力発電　地中熱　雪氷熱利用

# 尾花沢市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 再生可能エネルギーを地域活性と観光の力に

雪氷熱を活用した市役所庁舎の雪冷房システムや名産のそばを保存する雪蔵、大正時代に築堤された人造湖「徳良湖」での水力発電設備などの施設を、江戸時代に銀山として栄えた「銀山温泉」にちなみ、「大正ロマン再生可能エネルギーパーク」と称して紹介しています。雪氷熱利用を中心に、奥羽山脈から流れる豊かな水資源を活用した水力発電設備や地中熱を利用した融雪設備、徳良湖畔にあるバイオマス熱を活用した花畑など、豊かな地域資源を活用し、市民をはじめ観光客の方々にも再エネ利活用の啓蒙・啓発を図っていきます。

**Data Watch**

1904（明治37）～2016（平成28）年の平均最大積雪深（cm）です。豪雪地でも再エネを行っています。

**170**

## おすすめ見学コース

**「日本三雪」にも数えられる豪雪地ならではの豊富な雪氷資源を、市役所庁舎の冷房や名産のそば「最上早生」の保存に利用。花笠踊りの発祥地「徳良湖」をご覧いただいた後は、名湯「銀山温泉」でおくつろぎください。**

### ① 明友庵雪蔵

「そば処『明友庵』」の敷地内にある雪蔵には、地元尾花沢産の玄そば「最上早生」が保管されており、雪蔵貯蔵の玄そばを使った料理はお客さまにも好評を頂いています。

### ② 尾花沢市役所（エネルギー棟）

夏は雪室に貯蔵した雪を冷房として活用。冬は木質ペレットボイラーと灯油ボイラーを併用し暖房として利用。また、庁舎屋上には地中熱を利用した融雪装置が設置してあります。

### ③ 文化体育施設サルナート大地熱利用融雪設備

10～30m程度の浅井戸（地下水）から熱だけを採り、ヒートポンプで加温した不凍液循環により融雪を図る「無揚水型地下水熱利用融雪システム」です。

### ④ 徳良湖マイクロ水力発電設備

花笠踊りの発祥地である徳良湖の水資源を有効活用した、徳良湖湖面と排水面の高低差によるサイフォン取水型のマイクロ水力発電設備です。

### 詳しい施設情報はこちら

尾花沢市環境整備課 生活環境係
TEL：0237-22-1111　FAX：0237-24-0323
MAIL：Kankyo_s@city.obanazawa.yamagata.jp
http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/3749.html

平成21年度認定

太陽光発電　小水力発電　地中熱　バイオマス

# 宮城県次世代エネルギーパーク

パンフレット（1）　パンフレット（2）　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 自然の力を生かせる多種多様な施設が県内各地に点在

豊かな自然や地域の特性を有効利用した次世代エネルギー施設が数多く存在する宮城県。日本でも古い歴史を持つ水力発電所、地熱発電所、森林資源の豊富な地域や製紙工場・合板工場などでのバイオマスエネルギー利用など、その種類は多岐にわたっています。さらに近年では太陽光発電所の建設も各地で進んでおり、沿岸部でも津波被災地を活用したメガソーラーの建設や、屋根貸し事業として復興住宅への太陽光発電システム整備を行うなど、再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮したエコタウンづくりが進められつつあります。

**Data Watch**

**47**

県で作成している『みやぎエコタウンガイドブック』（令和2年2月発行）に掲載している施設数です。

## おすすめ見学コース

**東日本大震災で被災した沿岸部を中心に1周するコースです。エネルギー種別も太陽光や小水力、地中熱、バイオマス、エネルギーマネジメントとさまざま。併せて、ぜひ宮城県内の観光をお楽しみください。**

### ① 馬越石水力発電所（仙台市）

県が水道施設を事業者に貸し付け、発電事業を実施。仙南・仙塩広域水道の高区調整池内に設置され、浄水場との落差を利用して発電します。年間発電電力量は一般家庭約550世帯の年間使用電力量に相当します。

### ② 南三陸役場新庁舎（南三陸町）

南三陸町役場では、FSC認証済みの町産木材が豊富に使用されており、さらにエネルギーの地産地消を目指し、地中熱ヒートポンプを活用した空調システムや木質バイオマスボイラーによる床暖房システムを導入しています。

### ③ 東松島市スマート防災エコタウン

太陽光発電電力を、自営線により災害公営住宅85戸と周辺の4つの病院や公共施設にCEMSで最適制御しながら供給する地産地消システムです。系統電力が遮断した場合にも、最低3日間は通常の電力供給が可能です。

### ④ いわぬま臨空メガソーラー発電所（岩沼市）

東日本大震災の津波による塩害と地盤沈下により農作の再開が困難になっていた農地を有効活用するため、市が発電事業者を公募しました。年間発電量は123万kWで、一般家庭約350世帯の年間使用量に相当します。

### 詳しい施設情報はこちら

宮城県環境生活部再生可能エネルギー室 省エネルギー推進班
TEL：022-211-2655　FAX：022-211-2669
MAIL：saisei@pref.miyagi.lg.jp
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/saisei/h30energyparkguidebook.html

平成27年度認定

太陽光発電　バイオマス　小水力発電　地熱発電

# 福島市次世代エネルギーパーク

パンフレット（表面）　パンフレット（裏面）　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

▲土湯温泉16号源泉バイナリー発電所

## 地域資源を活用し、地域特性に合った再エネを推進

「福島市次世代エネルギーパーク」では、地域資源を活用した小水力発電や地熱バイナリー発電など市内に立地する代表的な再生可能エネルギー発電設備や関連施設を連携させ、再生可能エネルギーの普及啓発を図っています。

**Data Watch**

福島市次世代エネルギーパーク計画関連施設が7つあります。

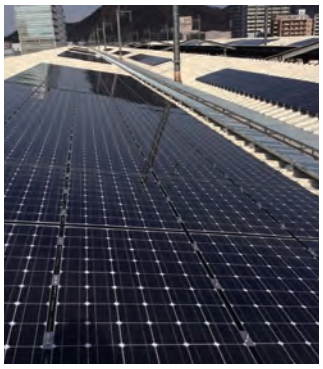
**7**

## おすすめ見学コース

**JR福島駅を起点に、市内各地に立地する代表的な再生可能エネルギー発電設備や関連施設を、自然景観や温泉など観光を楽しみながら巡ることができるコースです。**

### ① JR福島駅

福島駅は、JR東日本による再生可能エネルギーや省エネルギーなど、さまざまな環境保全技術を駅に導入する「エコステ」のモデル駅。太陽光発電設備や地中熱ヒートポンプ、LED照明など、再エネ・省エネ設備が導入されています。


▲東北新幹線ホーム屋根の軽量型太陽光パネル

### ② ふくしまさいえねパーク

太陽光発電所と学習施設（見学学習館）が併設されており、再生可能エネルギーの仕組みを解説したパネルなどを展示しています。また、同一敷地内では再生可能エネルギーを利用した水素を供給する移動式水素ステーションの営業も行っています。

▲移動式水素ステーション

### ③ 四季の里小水力発電設備

地元企業の技術と地域資源を活用した小水力発電設備を設置するとともに、展示コーナーを開設し、小水力発電の仕組みや利点、小水力発電ができる場所や水車の種類などについて、パネル展示などで解説しています。

▲下掛け水車と水車小屋

### ④ 土湯温泉東鴉川水力発電所と土湯温泉16号源泉バイナリー発電所

土湯温泉町には、砂防堰堤を利用した小水力発電所と既存の源泉を使った東北初の地熱バイナリー発電所があります。それぞれの発電所には遊歩道や展望台が整備され、発電の仕組みを一元的に学習できます。

▲東鴉川第３砂防堰堤

### 詳しい施設情報はこちら

福島市環境部環境課 再生可能エネルギー推進係
TEL：024-535-1111（内線3718）
http://www.city.fukushima.fukushima.jp/kankyo-energy/machizukuri/shizenkankyo/saiseenergy/energynokatsuyo/16041301.html

令和2年度認定

太陽光発電　小水力発電　バイオマス　・地中熱 ・水素

# 郡山市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 安積疏水、次世代エネルギー技術による発展

郡山市は、2016年4月、未来を拓いた「一本の水路」～大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代～という名称の下「日本遺産」の認定を受けているように、安積疏水によって水力発電などと共に発展してきた街です。「郡山市次世代エネルギーパーク計画」では、本市全体を1つのエネルギーパークと見立て、市内の関連施設との連携により、次世代エネルギーについて実際に見て触れる場や本市発展の歴史を学ぶ機会を提供し、さらなる理解と再エネ導入を促進します。

**Data Watch**

2030年は「郡山市気候変動対策総合戦略」の中期目標年度で、温室効果ガス排出量30%削減や再生可能エネルギー導入割合50%を目指しています。

**2030**

## おすすめ見学コース

**郡山市役所を起点に、市の中心あり各種再生可能エネルギー設備を有する中央公民館や郡山市の発展に貢献した水力発電所など、福島県次世代エネルギーパークと連携して自然景観を楽しみながら見学できます。**

### ① 郡山市役所

敷地内に太陽光発電設備や小型水素ステーションなどがあり、太陽光発電設備の発電量などを表示するデジタルサイネージや小型水素ステーションの説明看板を設置しており、次世代エネルギーの発信拠点となっています。

### ② 中央公民館

太陽光発電や蓄電池、太陽熱、風力・太陽光発電街路灯、地中熱利用空調など、次世代エネルギーが複数導入されている施設です。屋上にある展望デッキでは、太陽光発電設備とともに、郡山市内を一望できます。

### ③ 沼上発電所

明治32（1899）年に、安積疏水の沼上瀑布を利用し運転を開始した水力発電所で、当時の技術を駆使した特別高圧長距離送電により、絹糸紡績など郡山市の発展に大きく貢献しました。

※個人による所内見学は不可。

**詳しい施設情報はこちら**

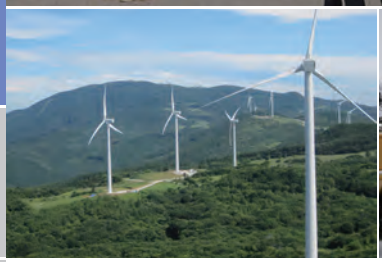
郡山市生活環境部環境政策課 環境・エネルギー係
TEL：024-924-2731
https://www.city.koriyama.lg.jp/index.html

平成24年度認定

太陽光発電　風力発電　水力発電　地熱発電　バイオマス　雪氷熱利用

# 福島県次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード



## 体験型再エネ学習施設を巡り、再エネを身近なものに

全国で３番目の面積を持つ福島県。南から北へ連なる阿武隈高地と奥羽山脈によって中通り・会津・浜通りの３つの地方に分けられ、気候や風土も異なります。多様な地域特性を生かした太陽光や風力、水力、地熱など県内各地に点在する再エネ施設を巡り、「再生可能エネルギー先駆けの地」を目指す福島県を実感してみませんか。再エネを身近に感じ、理解を深めていただくため、発電所の巡視点検などの体験学習を開催している施設もあり、エネルギーパークがより一層充実しています。教育旅行にもぜひご活用ください。

### Data Watch

県内の2019年度末時点の再生可能エネルギー導入量は県内電力消費（需要）量との比較で80.5%に相当します。

**80.5**

## おすすめ見学コース

**バラエティーに富んだ再生可能エネルギーの現場はどれも大迫力。
再生可能エネルギーを体験しながら、豊かな自然や歴史の魅力にも触れられる旅へ、
皆さん、足を運んでみてはいかがでしょう。**

### ❶ 南相馬ソーラー・アグリパーク

津波被災地（市有地）を活用し、太陽光発電所とオリジナルの体験装置を建設し、子どもたちの「自ら考えて行動する力」を伸ばす体験学習を行っています。大学生、企業の方向けに、通常の見学案内も実施しています。

### ❷ 福島空港メガソーラー

福島県における再生可能エネルギー推進のシンボル。産業技術総合研究所と連携し、30種類のパネルの発電状況や架台の経年劣化などの長期的な評価・研究を行っています。普及啓発や体験学習の場としても活用されています。

### ❸ 郡山布引高原風力発電所

猪苗代湖や磐梯山を望む布引高原に設置された、国内最大級（約66MW）の風力発電所。季節の花が咲く花畑と、高さ100mの風車が33基立ち並ぶ壮大な風景は観光名所として知られています。

### ❹ 柳津西山地熱発電所

マグマによる熱水を利用した30MWの地熱発電所。熱のミュージアム「PR館」では、発電設備や仕組み、マグマや地底の様子が学べます。大規模な水力発電所が連続する只見川も近く、日本有数の再エネ発電地域となっています。

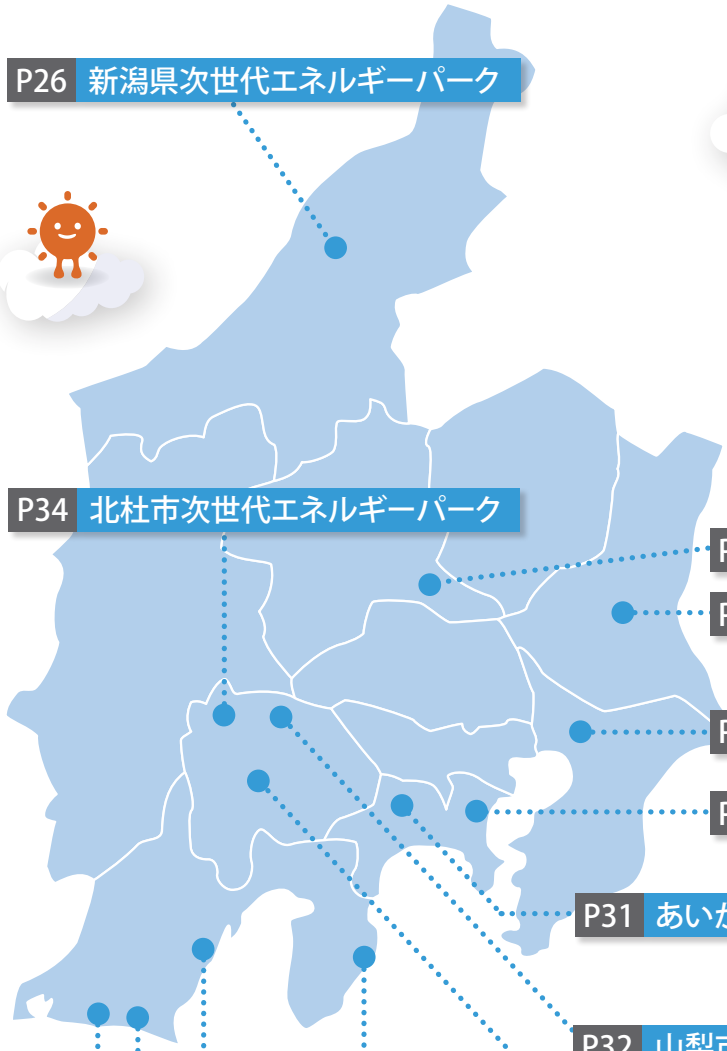
### 詳しい施設情報はこちら

福島県企画調整部 エネルギー課
TEL：024-521-8417　FAX：024-521-7912
MAIL：energy@pref.fukushima.lg.jp
http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/

# 3 地方別エネパ紹介

## 関東甲信越地方

13カ所



P26 新潟県次世代エネルギーパーク
P34 北杜市次世代エネルギーパーク
P27 太田市次世代エネルギーパーク
P28 茨城県次世代エネルギーパーク
P29 千葉県次世代エネルギーパーク
P30 CCかわさきエネルギーパーク
P31 あいかわ・つくい次世代エネルギーパーク
P32 山梨市次世代エネルギーパーク
P33 富士の国やまなし次世代エネルギーパーク
P35 ふじのくにしずおか次世代エネルギーパーク
P36 静岡市次世代エネルギーパーク
P37 いわた次世代エネルギーパーク
P38 浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク

県全体が、バラエティーに富んだ
エネルギーの学びの場

平成22年度認定

太陽光発電　風力発電　水力発電　雪氷熱利用

# 新潟県次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 地域特性を生かし、エネルギー供給基地「新潟」をPR

古くから石油・天然ガスの開発が行われてきた新潟県には、豊富な水資源を活用した水力発電所も多く、また世界最大の原子力発電所も立地。さらに、全国初の太陽電池による商業用発電設備「新潟雪国型メガソーラー」をはじめ、風力発電所、全国有数の豪雪地という地域特性を生かした雪氷熱導入施設があります。多種多様なエネルギーへの理解を深められるパークとして、メガソーラーなどのエネルギー関連施設と自然科学系の博物館の両輪で、エネルギー供給基地「新潟」を PR していきます。

### Data Watch

新潟県が、2024年までに再生可能エネルギーの導入目標としている、県内需要電力量に対する再生可能エネルギー発電電力量の割合です。

**52**

## おすすめ見学コース

**再生可能エネルギーを見学するルートです。**
**太陽光発電所や風力発電所の施設見学を行うことができます。**

### ① 紫雲寺風力発電所

日本海特有の風を利用した、新潟県内最大級の風力発電所です（最大出力1,920kW）。子どもたちへの環境教育をはじめ、自然エネルギーへの理解を深めることができる施設です。

### ② 新潟雪国型メガソーラー

日本初の商業用メガソーラー発電所として、昭和シェル石油（株）の旧製油所跡地に設置されました。一般住宅約300軒分に相当する1MWの発電能力があります。見学施設があり、太陽光発電全般について学ぶことができます。

### ③ 新潟東部太陽光発電所

電気事業として自治体が設置する全国初のメガソーラー（1～3号系列：最大出力17MW）には、可変式架台、落雪を考慮した架台高さ、太陽を自動追尾する設備といった特徴があります。発電所内の一部が見学できる他、隣接する高台「風の丘公園」から発電所全景を一望することができます。

### 詳しい施設情報はこちら

新潟県産業労働部産業振興課 新エネルギー資源開発室
TEL：025-280-5257　FAX：025-280-5508
MAIL：ngt050030@pref.niigata.lg.jp
https://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1314223226519.html

「まちごとエネルギーパーク構想」で、
市全体をモデル都市に

平成20年度認定

太陽光発電　風力発電

# 太田市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 「太陽光発電推進のまち おおた」を全国に発信

世界最大級の太陽光発電団地「パルタウン城西の杜」や自治体単独で初の 1.5MW メガソーラー「おおた太陽光発電所」、1.9MW の「おおた緑町太陽光発電所」、1.5MW の「おおた鶴生田町太陽光発電所」など、太陽光発電を中心に再生可能エネルギー情報を全国に向けて発信中。さらに、太陽の動きを追い、エネルギーを収束して発電する集光追尾型太陽光発電システムを導入し、クリーンエネルギーによる自然に優しい都市を目指しています。

### Data Watch

世界最大級の太陽光発電団地「パルタウン城西の杜」には、分譲777区画中553戸に太陽光パネルが設置されています。

**553**

## おすすめ 見学コース

**次世代エネルギーパークの中心施設・太田市エコハウスから、おおた太陽光発電所を巡るコース。エコハウスのある八王子山では、春は芝桜、冬はイルミネーションの美しい風景が楽しめます。**

### ❶ 太田市エコハウス

環境への負荷を低減し、エネルギー消費を抑えながら快適に暮らせる「環境共生型モデル住宅」です。

### ❷ おおた太陽光発電所

発電出力1,500kW。2012年7月1日より再エネ法施行に合わせ発電を開始しました。施設は包括的リース契約により初期投資を軽減させた、自治体による太陽光発電事業のモデルとなっています。

### ❸ 集光追尾型太陽光発電システム

発電モジュールを常に太陽に向け、光をプラスチックレンズで820倍に集めて発電します。2013年3月より発電を開始、発電出力は16.8kW。庁舎で使用する電力として自家消費しています。

### 詳しい施設情報はこちら

太田市役所産業環境部環境政策課 環境企画係
TEL:0276-47-1893　FAX:0276-47-1881
Mail:025600@mx.city.ota.gunma.jp
https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0090-001kankyo-seisaku/index.html

平成19年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス

# 茨城県次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 多様なエネルギー施設を近接観光と併せて楽しく見学

最先端の技術開発を行う研究機関や太陽光・風力・バイオマス発電施設が集まっていることで、県全体を“エネルギーパーク”としており、バラエティーに富んだエネルギー施設が見学できます。県内には、次世代エネルギー研究の最先端に触れることができる「県南・県西地区」、液化天然ガスや太陽光発電など多様なエネルギー施設がある「県北・県央地区」、太陽光・風力・バイオマス発電施設が密集する「鹿行地区」の３つのエリアがあり、近接観光と併せた見学のコーディネートが可能です。

### Data Watch

茨城県全体がエネルギーパークに指定されており、県内3地区にまたがって見学施設が集積しています。

**3**

## おすすめ見学コース

**「県北・県央地区」では、液化天然ガスや太陽光・風力・バイオマス発電施設を中心に、エネルギー利用の全体像を把握できます。**

### ❶ （株）日立パワーソリューションズ大沼工場

環境配慮型の高効率オフィスとして、さまざまな省エネ設備が設置されています。施設内では風力・太陽光発電設備の実機を間近で見ることができ、太陽光パネルが設置された屋上からは太平洋の水平線が一望できます。

### ❷ 東京ガス（株）日立LNG基地

天然ガスの環境性について、映像やLNGの冷熱実験を交えながら楽しく学ぶことができます。また、高さ約60mの世界最大級のLNGタンクを間近でご覧いただけます。運が良ければ、LNGタンカー船に出合えるかもしれません。

### ❸ 北越コーポレーション（株）バイオマス発電施設

木質、ペーパースラッジなどのバイオマス燃料を有効活用するバイオマス発電設備が見学することができます。また、古紙のリサイクル処理や抄紙設備もご覧いただけます。

### 詳しい施設情報はこちら

インフォメーションセンター（一般財団法人茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアーオフィス内）
TEL：029-863-6868　FAX：029-859-7525
https://www.ibaraki-energypark.jp/

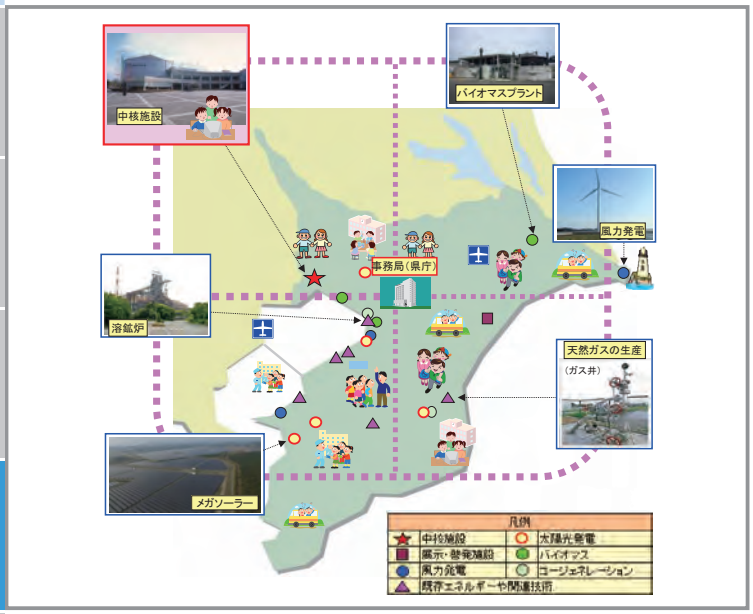
エネルギーの「現在」と「未来」が
1つになる場所

平成22年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス　・コージェネ　・燃料電池

# 千葉県次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード




## エネルギー産業集積地が取り組む、新エネルギー利活用

千葉県は、東京湾臨海部を中心に電力やガス、石油などのエネルギー関連の工場や施設が数多くある、エネルギー産業の集積地です。一方、公共施設や民間施設の工場では、太陽光発電や風力発電、バイオマス利用など、新エネルギーへの取り組みも盛んに行われています。

**Data Watch**

2019年度における千葉県の総発電量は、全国1位の90TWhです。

**90**

## おすすめ見学コース

**エネルギー関連施設をネットワーク化し、新エネルギーはもちろん、既存エネルギーを高度利用する取り組みなどを見学・体験できるのが「千葉県次世代エネルギーパーク」です。**

### ① 千葉県現代産業科学館

「現代産業への歴史」「先端技術への招待」「創造の広場」の3つのコーナーで構成されており、子どもから大人まで誰もが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことのできる科学館です。

※アクセス：JR本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分／京葉道路・京葉市川ICより車で5分

### ② JFEスチール（株）東日本製鉄所（千葉地区）

京葉工業地域の先駆者として、戦後、わが国で初めて建設された銑鋼一貫の臨海製鉄所。製鉄所のシンボルである巨大な溶鉱炉と、赤く焼けた鉄の板が500mの長さを通り抜ける熱間圧延工場をご覧いただけます。

※アクセス：JR蘇我駅より徒歩10分

### ③ グリーンパワー富津太陽光発電所

（株）グリーンパワーインベストメントが運営する関東最大級のメガソーラーです（パネル発電出力：約42MW）。約51.6haの広大な敷地には、約17万枚の太陽光パネルが設置されており、発電所を一望できる展望台もあります。

### 詳しい施設情報はこちら

千葉県商工労働部産業振興課産業・新エネルギー企画室
新エネルギー振興グループ
TEL：043-223-2613　FAX：043-222-4555
Mail：new-energy@mz.pref.chiba.lg.jp
http://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/new-enrgy/ep.html

平成22年度認定

風力発電　バイオマス　水力発電　太陽光発電

# CCかわさきエネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 「産業観光のメッカ」川崎で最先端エネルギーを体感

大規模太陽光発電所や大型風力発電所などの再生可能エネルギーを導入した施設や世界最高効率の天然ガス発電所など、最先端の環境エネルギー技術を持つ施設が市内各地に点在している川崎市。「CC かわさきエネルギーパーク」は、浮島太陽光発電所に隣接する「かわさきエコ暮らし未来館」を中心にこれらの施設を有機的にリンクさせ、市内の優れた環境力を国内外に発信するプロジェクトです。ものづくりの街・川崎の魅力を伝える「産業観光」とも連携し、エネルギーを身近に体験してもらう取り組みを行っています。

### Data Watch

浮島太陽光発電所では、37,926枚の太陽光パネルを使用し、一年間で約3,000軒分の家庭の電気をつくっています。

**37,926**

## おすすめ見学コース

**太陽光パネルで発電を行っている駅前広場など、再開発により再生可能エネルギー導入が進む川崎駅からスタート。高度経済成長を支え、近年はエネルギー拠点の面も併せ持つようになった工場が立ち並ぶ臨海部を巡ります。1日で川崎の環境力を実感できるコースです。**

### ❶ 東芝未来科学館

最先端技術にふれるフューチャーゾーン、東芝の歩みを振り返るヒストリーゾーン、科学の魅力を体験しながら学べるサイエンスゾーン及びサイエンスショー等を通じて、楽しみながら科学技術やスマートコミュニティの未来を体感できます。

### ❷ 川崎生命科学・環境研究センター（LiSE：ライズ）

太陽光発電や太陽熱利用給湯、地中熱を利用した建物です。LiSE内に入居する環境総合研究所は、優れた環境技術を持つ市内企業や大学などの研究機関などと連携しながら、環境に関する総合的な研究を推進しています。

※アクセス：JR川崎駅から川崎臨港バス03浮島バスターミナル行き「キングスカイフロント入口」下車

### ❸ かわさきエコ暮らし未来館

地球温暖化、再生可能エネルギー、資源循環について、見て、聞いて、さわって楽しみながら体験する環境学習施設です。水素エネルギーについて学べる新規展示では、水素シティの中で活躍する自分の姿を見ることができます。

※アクセス：川崎臨港バス03浮島バスターミナル行き終点「浮島バスターミナル」下車

### ❹ 川崎大規模太陽光発電所

全国に先駆けて2011年に稼働を開始したメガソーラーです。隣接する「かわさきエコ暮らし未来館」のガイドツアーに参加すれば、大迫力のメガソーラーを間近で見学することができます。

### 詳しい施設情報はこちら

川崎市環境局地球環境推進室 協働推進担当
TEL：044-200-3871　FAX：044-200-3921
MAIL：30tisui@city.kawasaki.jp
http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000043877.html

再生可能エネルギーを学びながら、
自然と触れ合う

平成24年度認定

太陽光発電　水力発電

# あいかわ・つくい
# 次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## Jリーグのチーム名を冠した発電所がある

中心施設である「湘南ベルマーレ愛川太陽光発電所」は、日本初となるJリーグのチーム名を冠したメガソーラー発電所です。太陽光発電所で発電した電気は、地域の電力会社を通じて地産地消を行っています。併設する「愛川ソーラーパーク」は、地域に開放されたスペースとして展望広場やつつじ庭園を設置。県内山間部の豊富な水資源を生かした水力発電所も含め、バスツアーや見学会などにより、再生可能エネルギーを通じて神奈川県内の自然を広く知っていただく機会を広げています。

**Data Watch**

**8,000**

太陽光モジュールの枚数は、約8,000枚です。

**おすすめ見学コース**

**「宮ヶ瀬湖エリア」は、太陽光発電の他にも宮ヶ瀬湖の水を使って発電する愛川第1発電所があり、お薦めです。また、「宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館」には、水力や太陽光発電の仕組みを体感できるゾーンもあります。**

### ① 湘南ベルマーレ愛川太陽光発電所

横浜スタジアム約2.5個分の広さの敷地に約8,000枚の太陽電池モジュールを敷き詰め、最大1,896kWの出力で一般家庭約520軒分の電気をつくっています。敷地内は自由に見学できます。

### ② 愛川第1発電所

神奈川県の水がめである宮ヶ瀬湖の水を使い、発電する水力発電所です。最大毎秒22㎥の水を使用し、2万4,200kWの出力で発電。宮ヶ瀬ダムの観光放流に合わせて、月1回程度の見学会を実施しています。

### ③ 宮ヶ瀬ダム・宮ヶ瀬湖

首都圏最大のダムである宮ヶ瀬ダムでは、不定期に毎秒30㎥の水量によるダイナミックな観光放流が行われています。ダムの完成により造られた宮ヶ瀬湖には、遊覧船や湖畔を走るロードトレインなどがあります。

### ④ 宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館

館内の電気ゾーンには、水車発電機の模型や発電所バーチャルツアーなど、水力発電について学べるアトラクションの他、実物大の太陽光パネルを使った模型など次世代エネルギーパークに関連する展示があります。

### 詳しい施設情報はこちら

神奈川県企業庁企業局利水電気部発電課 電気技術グループ
TEL：045-210-7294　FAX：045-210-8904
MAIL：kigyo-hatsuden@pref.kanagawa.jp
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/e4b/prk/1804.html

平成20年度認定

風力発電　木質バイオマス　太陽光発電

# 山梨市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 森林整備と果樹栽培で進む木質バイオマスの利活用

面積の８割を森林が占め、国内トップクラスの果樹栽培を誇る山梨市では、間伐材や果樹剪定枝などの木質バイオマス資源を再生可能エネルギーとして活用する取り組みを進めています。果樹の改植から出た伐採木を薪ストーブ利用者に燃料として利用してもらう資源循環事業を実施。また、エコハウスや小中学校などの市内公共施設に設置したストーブや冷暖房の燃料には市内製材所で製造された木質ペレットを利用している他、万力公園ふれあい動物広場では「カピバラの湯」に薪ストーブを採用し、園内の伐採木を有効活用しています。

### Data Watch

山梨市の面積の8割が森林です。
また、この数字には、限りない資源循環と持続可能な社会の実現を目指す「∞（無限）」という思いが込められています。

**8**

## おすすめ見学コース

**山梨市における木質バイオマス資源の生産からエネルギー利用までの工程を順番に見学していただけます。少し足を延ばせば、果物狩りや温泉、ワイナリー巡り、森林セラピー®も楽しむことができます。**

### ① 飯島製材所ペレット製造施設

木質バイオマスの固形燃料「ペレット」の製造装置が見学できます。製材所から出る背板などの端材を原料としており、非常に効率的です。市内公共施設で利用している他、市内外で広く利用されています。

### ② 万力林「カピバラの湯」

万力公園内から出る伐採木を薪ボイラーに利用し、園内で飼育しているカピバラが漬かる温泉のお湯を温めています。他にもさまざまな動物が飼育されており、夏にはホタルが飛び交います。森林セラピー®も体験できます。

### ③ エコハウスやまなし

環境に配慮した住宅の普及を目指したモデルハウスです。太陽の光や熱、自然の風の流れなど、山梨市ならではの自然の恵みを利用した、エネルギーをなるべく使わないための工夫が施されています。

### ④ 街の駅やまなし ペレット冷暖房システム

訪れた人が憩い、交流し、情報発信を行うための拠点施設で、木質ペレットボイラーや太陽光発電を設置し、ボイラーで施設の冷暖房と併設の足湯の温度管理を行っています。レンタサイクルの貸し出しも行っています。

### 詳しい施設情報はこちら

山梨市環境課 新エネルギー推進担当
TEL：0553-22-1111（内線2252～2254）FAX：0553-23-2800
MAIL：kankyo@city.yamanashi.lg.jp
http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/citizen/docs/jisedai_park.html

富士山やアルプス、八ヶ岳などの景観と
クリーンエネルギーとの調和

平成23年度認定

太陽光発電　バイオマス発電　水力発電

# 富士の国やまなし 次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 大自然を楽しみながら、再生可能エネルギーに触れる

明るい日射し、清らかな水とそれを育む緑に恵まれた山梨県は、全県が次世代エネルギーパーク！　内陸部最大規模のメガソーラーに併設する PR 施設「ゆめソーラー館やまなし」を中心に、県内周遊を通じて、豊かな自然と太陽光発電や水力発電など地域特性を生かした再生可能エネルギーが体験できます。日本一の富士山を背景に、おいしい水、澄んだ空気、心身共に温まる温泉や採れたての果実を楽しみながら、再生可能エネルギーについて学んでみませんか。

**Data Watch**

美しい景観を眺めながら、お薦めの見学コースをぐるっと回ると約70km。

**70**

## おすすめ 見学コース

**太陽光、バイオマス、水力と、さまざまなクリーンエネルギーについて体験しながら楽しく学べるコースとなっています。コースの合間にはフルーツ狩りや温泉といった「山梨ならでは」も楽しめる、見どころ満載のコースです。**

### ❶ 山梨県企業局発電総合制御所（クリーンエネルギーセンター）

体験を通して楽しく「水力」「太陽光」「風力」への理解を深めることができます。本物の水車・発電機があり、直接触れることも可能です。

### ❷ 米倉山太陽光発電所PR施設「ゆめソーラー館やまなし」

太陽光、水力などによるエネルギー自給自足型施設。太陽光発電や小水力発電、燃料電池などの再生可能エネルギーなどについて、展示や映像を見たり、クイズマシーンやすごろくで体験しながら楽しく学べる施設です。

### ❸ 街の駅やまなし（山梨市地域交流センター）

「山梨市次世代エネルギーパーク」としても認定されている施設。市内で作られる木質ペレットを利用した冷暖房ペレットボイラーによる足湯（無料）に入れます。

### ❹ 都留市家中川小水力市民発電所「元気くん」

古くから水力発電に利用されてきた家中川に整備された小水力発電所。3つの異なるタイプの水車が稼働しています。全国においても小水力発電の先駆けとなる発電所です。

### 詳しい施設情報はこちら

山梨県森林環境部 環境・エネルギー課 地域エネルギー推進担当
TEL：055-223-1503　FAX：055-223-1781
MAIL：kankyo-ene@pref.yamanashi.lg.jp
https://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-ene/energypark.html

平成22年度認定

太陽光発電　小水力発電

# 北杜市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 市全体を再エネについて楽しく学べるアクションエリアに

自然豊かな北杜市の次世代エネルギーパークは「太陽・水・緑」がコンセプト。その中心「北杜サイト太陽光発電所」は、国内外 9 カ国 29 種類の太陽電池モジュールを集め、発電特性の評価や大容量パワーコンディショナの開発を行い、太陽光発電の普及に貢献する他、環境に負荷を掛けない架台を設置。この他、「世界かんがい施設遺産」に選定された「北杜市村山六ヶ村堰水力発電所」や自然教育施設「オオムラサキセンター」、農村都市交流施設「三分一湧水館」などを中核に、市全体を 1 つのアクションエリアとしています。

**Data Watch**

市内にある主要な再生可能エネルギー施設の発電出力の合計です。その内訳は、北杜サイト太陽光発電所が1,869kW、北杜市村山六ヶ村堰水力発電所が320kW。

**2,189**

## おすすめ見学コース

**「太陽」「水」「緑」「学び」の中核施設を巡るコースです。**
**①オオムラサキセンター→②北杜サイト太陽光発電所→**
**③北杜市村山六ヶ村堰水力発電所→④三分一湧水館**

### ① オオムラサキセンター

国蝶オオムラサキを通じて、自然環境について関心を高めることを目的とした自然教育施設です。ジオラマや世界中の蝶標本、映像室、生態観察施設「ひばりうむ」などがあります。里山体験や木工教室なども楽しめます。

### ② 北杜サイト太陽光発電所

NEDO実証研究施設として建設された約2MWの太陽光発電所で、研究終了後は市営の発電所として運営。引き続き、視察・見学フィールドとして受け入れを行っています。

### ③ 北杜市村山六ヶ村堰水力発電所（クリーンでんでん）

千年以上の歴史を持つ農業用水路を利用した総落差85m、最大出力320kWの流れ込み式の水力発電所。村山六ヶ村堰は「世界かんがい施設遺産」に選定されました。

### ④ 三分一湧水館

ミニ水力発電、風力発電、太陽光発電を設置。八ヶ岳南麓の湧水の仕組みや水質の他、民話や歴史を紹介しています。なお、「三分一湧水」は日本名水百選「八ヶ岳南麓高原湧水群」の一つです。

### 詳しい施設情報はこちら

北杜市環境課 新エネルギー推進担当
TEL：0551-42-1341　FAX：0551-42-1123
MAIL：kankyou@city.hokuto.yamanashi.jp
http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/

県内全域が
次世代エネルギーパーク！

平成25年度認定

太陽光発電　風力発電　水力発電　バイオマス　・温泉熱発電 ・コージェネ

# ふじのくにしずおか 次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 新エネルギーを、地域別・テーマ別により深く体験

静岡県では、恵まれた日照環境と豊かな水、森林資源を生かし、「太陽の都」「水の都」「森林（もり）の都」づくりを進める本県全域をエネルギーパークと位置付けています。地域ごとに特色ある自然資源を有することから、県内を伊豆半島・東部・中部・西部の４つのエリアに区分し、公共施設や民間事業所への導入が進む新エネルギー関連施設を、より身近なものとして見学・体験できるようにしています。また、静岡市や浜松市、磐田市などの市町の次世代エネルギーパークとも連携しながら普及を進めています。

**Data Watch**

**29**

29カ所もの新エネルギー関連施設があります（2020年10月現在）。

## おすすめ見学コース

**かつては南洋にあった火山島や海底火山の集まりで、プレートの北上に伴い、本州と衝突し誕生した伊豆半島エリアでは、ダイナミックな自然が生み出す多様な新エネルギー施設を体感することができます。**

### ❶ 上佐ヶ野公民館小水力発電施設

身近な用水路を活用した小水力発電施設で、2013年3月に整備されました。発電した電気は24時間利用可能で、地域の避難施設である公民館の広場を照らす外灯に利用するとともに、非常時の携帯電話の充電などにも活用できます。

### ❷ 東伊豆町温泉発電施設

伊豆半島ならではの自然エネルギー「温泉熱」を活用した発電設備で、2014年3月、伊豆熱川駅前に設置されました。この発電設備では、温泉の熱で温めた熱水で沸点の低い媒体を沸騰させ、その蒸気でタービンを回して発電。発電した電気は、災害時の非常用電源や熱川温泉観光協会などの一部電源に活用しています。

### ❸ 奥野ダム管理用小水力発電施設

奥野ダムは、洪水調節や水道用水の確保などを目的に造られたロックフィルダムです。ダムの管理機能強化や売電による管理コストの縮減、再生可能エネルギーの利用促進を目的に、2013年に小水力発電施設を設置。また、ダム湖周辺には遊歩道や展望広場などが整備され、市民の憩いの場として多くの人が訪れています。

**詳しい施設情報はこちら**

静岡県経済産業部産業革新局 エネルギー政策課
TEL：054-221-2949　FAX：054-221-2698
MAIL：energy@pref.shizuoka.lg.jp
https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-150/enepark/index.html

悠久の歴史と未来のエネルギーが交差する
共生都市「しずおか」

平成26年度認定

太陽光発電 太陽熱利用　風力発電　バイオマス 熱利用　水力発電 小水力発電　地中熱利用
・コージェネ
・廃棄物発電・熱利用

# 静岡市次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 観光スポットも巡りながら、楽しく再エネを学ぶ！

市内で整備されている 17 の再生可能エネルギー関連施設を盛り込んだ、官民連携による広域型の次世代エネルギーパークです。中心施設「日本平動物園」は、動物の自然な生態を見られる行動展示が充実。そこに太陽光発電や風力発電を導入することで、“動物と環境について学べる環境教育施設”となっています。また、自然豊かな「南アルプスユネスコエコパーク」や世界文化遺産・富士山の構成資産「三保松原」に足を運ぶのもお薦め。周辺にも再エネ関連施設が点在しているので、自然や文化に触れながら体感できます。

**Data Watch**

市内で整備されている17の再生可能エネルギー関連施設を盛り込んだ次世代エネルギーパークです。

**17**

## おすすめ見学コース

**「日本平動物園」を見学したら、日本平山頂の展望施設「日本平夢テラス」でひと休み。富士山や南アルプスの山々、三保半島を眺めたあとは「メガソーラーしみず」へ。最後は、駿河湾を眺めながら「風電君」までシーサイドドライブ。途中で三保松原や久能山東照宮にお立ち寄りを。**

### ❶ 静岡市立日本平動物園

園内には太陽光発電設備や小型風力発電施設が設置されています。また、セルフガイド式の環境学習プログラムにより「動物」と「環境」について、どなたでも楽しく学んでいただける施設です。

### ❷ メガソーラーしみず

太陽光発電の仕組みや現在の発電量などを展望施設で確認できます。天気が良ければ壮大な富士山を仰ぎ見ることができる、8MWのメガソーラー施設です。

### ❸ 静岡市風力発電施設「風電君」

風エネルギーを活用して電気を発電する、環境のランドマーク施設です。海辺に立って風を受ける「風電君」は、風速3.5m／秒から発電できます。近くで見ると、高さ100mにもなるその大きさと迫力に圧倒されます。

### 詳しい施設情報はこちら

静岡市環境局環境創造課 温暖化対策係
TEL：054-221-1077　FAX：054-221-1492
MAIL：kankyousouzou@city.shizuoka.lg.jp
https:// www.city.shizuoka.lg.jp/000_006690.html

平成30年度認定

風力発電　太陽光発電

# いわた次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## コンパクトにまとまった再エネ施設で環境教育を推進

自然豊かな磐田市。海と川に囲まれた公園内に６基の風力発電や太陽光発電施設、小型風力発電があり、園内に風車で発電した電力を供給しています。再エネ施設とキャンプ場、レストハウス、入浴施設、スポーツ施設がある公園はここだけ！　家族連れから校外学習まで、さまざまな利用が可能です。遊びながら環境について見て触れて考えられる施設。また、６基の風車は市の出資する地域新電力会社の地産電源としても活用され、エネルギーの地産地消に貢献しています。

**Data Watch**

**150**

遠州灘と天竜川に囲まれた総合公園で、
エネパ計画面積は150haです。

## おすすめ見学コース

**再エネ施設の見学だけでなく、標高18mの竜洋富士からの眺めは最高です。
見学後は公園内のレストハウスや入浴施設でリフレッシュでき、
昆虫公園では自然と昆虫との触れ合いが体験できます。**

### ❶ いわたエコパーク

8.2haの敷地に出力3,000kWの風力発電が3基、太陽光発電パネルが1万6,500枚設置されています。また、パーク内には往復1.5kmのコースが整備されており、散歩に最適です。

### ❷ 竜洋海洋公園（竜洋富士）

竜洋海洋公園内の竜洋富士（標高18m）に登ると、独立電源型ハイブリッド街路灯が見学できます。山頂からの眺めは最高で、遠州灘や掛塚灯台、水平線も見渡せます。

### ❸ レストハウスしおさい竜洋

見学、散策に疲れたら、公園内にあるレストハウスしおさいで休憩ができます。レストランや売店、入浴施設を完備するとともに、隣にはキャンプ場ランキング2年連続西日本第1位のオートキャンプ場があります。

### ❹ 磐田市竜洋昆虫自然観察公園

昆虫公園では、自然と昆虫に触れ合うことができます。園内を散策しながら環境の学習をしてみては？　ガイドウォークイベントも実施しており、案内する職員は磐田市ではちょっと有名な「こんちゅうクン」と「ファーブルしずま」です。

### 詳しい施設情報はこちら

磐田市都市整備課 公園緑地グループ
TEL：0538-37-4806　FAX：0538-37-8690
MAIL：toshiseibi@city.iwata.lg.jp
https://www.city.iwata.shizuoka.jp/

平成24年度認定

太陽光発電 太陽熱利用　風力発電　バイオマス　水力発電　・コージェネ

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

# 浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク

## 市全域をエネルギーパークに見立てている浜松市

日本トップクラスの日照時間と豊かな自然に恵まれた広大な市域全体をエネルギーパークに位置づけている浜松市。太陽光や太陽熱、風力、水力、バイオマスなど多彩なエネルギーラインナップについて、生活と環境をテーマにした「シーサイドゾーン」、太陽と風をテーマにした「レイクゾーン」、森と水をテーマにした「フォレスト・リバーゾーン」に区分し、地域別・テーマ別に体験・体感・学習することが可能です。多彩なエネルギーポテンシャルを一体的に発信することで、再生可能エネルギーのさらなる導入拡大を推進します。

**Data Watch**

**25**

市内にあるエネルギーパークの数です。

## おすすめ見学コース

**市の中心部から豊かな自然の中へ。国内でも最大級規模を誇る佐久間ダムを中心に、さまざまな施設を1日で見学できるコースです（浜松駅からスタート地点まで車で約2時間30分）。**

### ❶ 佐久間ダム

コンクリート重力式ダムで、1956年に完成。高さ155.5m、貯水容量3億2,685万㎥、発電出力35万kWと、日本最大級の発電量を誇ります。ダムには電力館が併設され、エネルギーについて幅広く学ぶことができます。

### ❷ 佐久間周波数変換所

東日本の50Hzの周波数の電気と西日本の60Hzの周波数の電気をお互いに融通し、日本全体の電力の有効利用を図っています。周波数変換設備出力は30万kWです。

**詳しい施設情報はこちら**

浜松市産業部 エネルギー政策課
TEL：053-457-2503　FAX：050-3730-8104
MAIL：ene@city.hamamatsu.shizuoka.jp
https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/ene-park/index.html

# 4 地方別エネパ紹介

## 中部地方

4カ所

平成23年度認定

太陽光発電　小水力発電　バイオマス　地中熱ヒートポンプ　・温泉熱

# 富山市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 豊かな自然のエネルギーと伝統文化を一度に体験

富山市では、豊富な包蔵量を誇る水力や森林資源から生み出される木質バイオマスをはじめ、太陽光や循環型バイオマス燃料製造など、自然が豊かな地域特性を生かした多様な再生可能エネルギー施設を導入しています。小水力発電所が設置された常西合口用水沿いは桜の名所で、４月上旬には満開の桜と立山連峰を見ることができます。他にも市内には岩瀬地区の歴史的な回船問屋群の街並みや、養蚕や和紙の交易で町人文化を咲かせ、「曳山」などの伝統を伝える八尾など、自然と文化を堪能できるスポットが満載です。

**Data Watch**

富山市次世代エネルギーパークには6つの施設があります。

**6**

## おすすめ見学コース

**木質ペレット製造施設から近接する2カ所の小水力発電施設を巡り、最後は太陽光発電所へ。豊かな自然に恵まれた富山の地域特性を生かしたエネルギー施設を体感できます。**

### ❶ 木質ペレット製造施設

バイオマス資源の有効利用を目的として、2010年3月に建設されました。この施設では、年間1,500tの木質ペレットの生産が可能です。

見学申込：丸新志鷹建設（株）
TEL：076-483-1220

### ❷ 常西公園小水力発電所

粉をひいたり、水をくみ上げたり、わらを打ったりと、日本で昔からなじみの深い水車を再現した「開放型下掛け水車」を回転させて発電する、小水力発電所です。

見学申込：上滝公民館
TEL：076-483-1237

### ❸ 東町・東新町公民館小水力発電所

常西公園小水力発電所の約300m下流に整備されました。「S型チューブラ水車」を使用しており、高効率で発電することが可能です。

見学申込：上滝公民館
TEL：076-483-1237

### ❹ 北陸電力（株）富山太陽光発電所

再生可能エネルギー普及啓発のシンボルとして活用を図るため、北陸電力（株）が富山市有地に建設。隣接するPR館ではエネルギーについて楽しく学べます。

見学申込：北陸電力（株）
富山支店総務部総務地域チーム
TEL：076-405-1251

### 詳しい施設情報はこちら

富山市環境部環境政策課 企画係
TEL：076-443-2053　FAX：076-443-2122
MAIL：kankyousei-01@city.toyama.lg.jp
http://www.city.toyama.toyama.jp/kankyobu/kankyoseisakuka/ondankataisakukikaku/toyamasi-jisedai.html

平成26年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス　水力発電

# かなざわ次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 再生可能エネルギーとともに、美しい街並みを守る

加賀百万石の城下町として栄えた金沢。藩政期から受け継がれた伝統文化と心配りが今なお暮らしの中に息づいており、城下町としての風情と美しさが色濃く残っています。また、豊富な水や森林資源にも恵まれ、大正期に創業した歴史を持つ全国唯一の市営水力発電の他、最近では林地残材をごみ処理施設で混焼するバイオマス発電も行っています。豊かな自然環境や歴史都市ならではの美しい街並みの保全と「金沢らしさ」を生かした再生可能エネルギーの導入を進め、「エネルギー自立都市・金沢」の実現を目指しています。

### Data Watch

金沢市には5カ所の水力発電所があり、年間発電量は約1億4,000万kWhで、「一般家庭4万戸分」の使用電力量を賄うことができます。全国の公営電気事業者の中で唯一の市営電気事業者です。

**40,000**

### おすすめ 見学コース

**①西部環境エネルギーセンター、②城北水質管理センターを見学し、芸術の息吹を肌で感じられる ③金沢市市民芸術村へ。赤レンガの中でのランチの後は、④戸室リサイクルプラザで豊かな自然を満喫してください。**

### ① 西部環境エネルギーセンター

2012年稼動のごみ処理施設。最大7,000kWの発電が可能で、余剰電力は売電し、余熱は近隣の体育施設などで利用しています。「見て・ふれて・学べる」環境学習コーナーを完備した拠点施設です。

### ② 城北水質管理センター

下水処理の工程で発生するメタンガスを利用した消化ガス発電。発電出力は最大200kWで、施設の年間電気使用量の1割以上を賄っています。また、放流工程や施設用地を活用した小水力発電や風力発電を行っています。

### ③ 金沢市市民芸術村（金沢職人大学校）

新しい創造を育む5つの工房の他、伝統技術を守り伝えていく「金沢職人大学校」が併設されています。その実習棟の屋根に太陽光パネルを導入。発電出力は最大10kWで、停電時にも活用できます。

### ④ 戸室リサイクルプラザ

3Rについての映像や展示などで楽しく学習できる施設です。太陽光で発電した電力によって施設の年間電気使用量の約半分を賄っている他、太陽熱給湯で沸かしたお風呂も人気。市民の憩いの場となっています。

### 詳しい施設情報はこちら

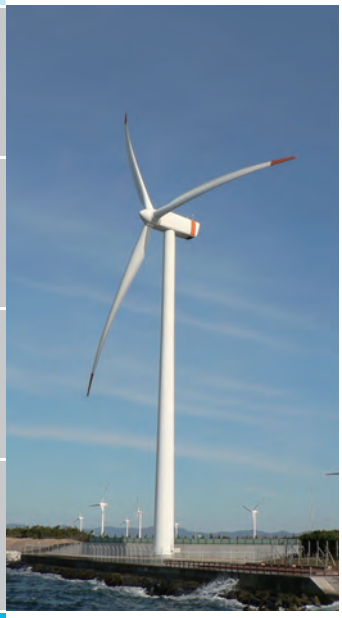
金沢市環境局環境政策課 温暖化対策室
TEL：076-220-2507
http://www4.city.kanazawa.lg.jp/25001/seisaku/ondanka_boushi/saiene-dounyu/saiene-dounyuu.html

平成20年度認定

太陽光発電　風力発電　・コージェネ

# あいち新エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード



## 地域ごとの特色を生かした新エネルギーを学ぶ

「あいち新エネルギーパーク」は、特色ある３地域で構成されています。知多地域は、メガソーラーや風力発電所、水素ステーションなど多くの新エネ関連施設があります。西三河地域は、新エネ技術の実用化を促す「新エネルギー実証研究エリア」を知の拠点あいちに開設。豊田市など世界に誇る自動車産業の集積地として、次世代自動車・交通システムなど低炭素社会実現にも取り組んでいます。風や日射量の豊富な東三河地域は、大規模な風力発電所や国内最大級の太陽光発電所を設置。各地域で多彩な新エネルギーが学べます。

**Data Watch**

**3**

知多、西三河、東三河という特色ある
3つの地域で構成されています。

## おすすめ見学コース

**知多地域の新エネルギー関連施設を巡る見学コースです。**

### ❶ 新舞子マリンパーク風力発電施設

海洋性レクリエーションの拠点である新舞子マリンパーク内に設置された施設。風車を間近で見ることができるため、訪れる人々への環境啓発につながっています。

### ❷ F常滑太陽光発電所「SUNてらす常滑」

公共用地を利用したメガソーラーであり、一般家庭約330世帯分の電力を発電できます。また、地域の停電時に利用できるように、停電対応型設備を備えています。

### ❸ 中部国際空港「セントレア」

環境先進空港として、太陽光発電や天然ガスコージェネレーションなどの設備を導入しています。

〈知多地域〉●セントレア水素ステーション●新舞子マリンパーク風力発電施設●中部国際空港「セントレア」●F常滑太陽光発電所●ソーラーパーク新舞子〈西三河地域〉●新エネルギー実証研究エリア●とよたEcoful Town●FCフォークリフト用再エネ水素充填施設〈東三河地域〉●ソーラーファームとよはし●田原臨海風力発電所●田原リサイクルセンター風力発電所●たはらソーラー・ウインド発電所●蔵王山展望台

### 詳しい施設情報はこちら

愛知県経済産業局産業部産業科学技術課
新エネルギー産業グループ
TEL：052-954-6350　FAX：052-954-6977
MAIL：jisedai-ene@pref.aichi.lg.jp
https://www.pref.aichi.jp/soshiki/san-kagi/aichi-enepa.html

平成21年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス　・水素

# 三重県次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 多様な新エネルギー事業者と協働して環境教育を推進

太陽の日射量に恵まれ、風況も良く、また森林が県土の３分の２を占めるなど、三重県は新エネルギーの資源が豊富であり、それらの資源を有効にエネルギー利用した施設や、水素社会の実現に向けて先進的な取り組みをしている事業者がたくさんあります。三重県では、そうした事業者が所有する新エネルギー施設を「三重県次世代エネルギーパーク」として位置付け、連携を推進していきます。

**Data Watch**

三重県には、現在、次世代エネルギーパークが24カ所あります。

**24**

## おすすめ見学コース

**県内にある新エネルギー施設のうち、24カ所が三重県次世代エネルギーパークとして登録されています。その中の、代表的な風力、バイオマス熱利用、水素供給の各施設を見学できるコースです。**

### ❶ 川越電力館テラ46／㈱JERA

さまざまなエネルギーと環境について見て・触れて、テーマパークのように楽しみながら学ぶことができる電力館です。

### ❷ みえ水素ステーション四日市／みえ水素ステーション（同）

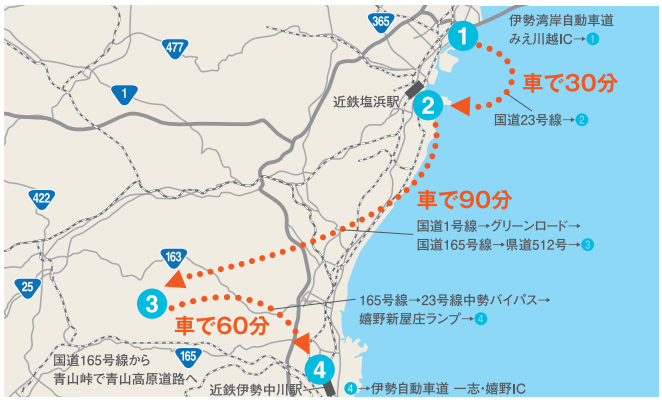
みえ水素ステーション四日市に併設した普及啓発施設です。パネルや燃料電池の仕組み模型、移動式水素ステーションの実際の機材を見ながら説明を聞くことができます。

### ❸ 青山高原風力発電施設／（株）シーテック、（株）青山高原ウインドファーム

標高800mの青山高原に設置された風力発電施設（2,000kW×67基、750kW×24基）です。山上からの景色は素晴らしく、春のツツジ、秋のススキなどで親しまれています。

### ❹ バイオマスボイラー施設／松阪木質バイオマス熱利用協同組合

不要となった木材をチップ化してボイラーで燃焼させ、発生する熱蒸気熱量（25万5,000GJ／年）を近くの工場へ供給しています。



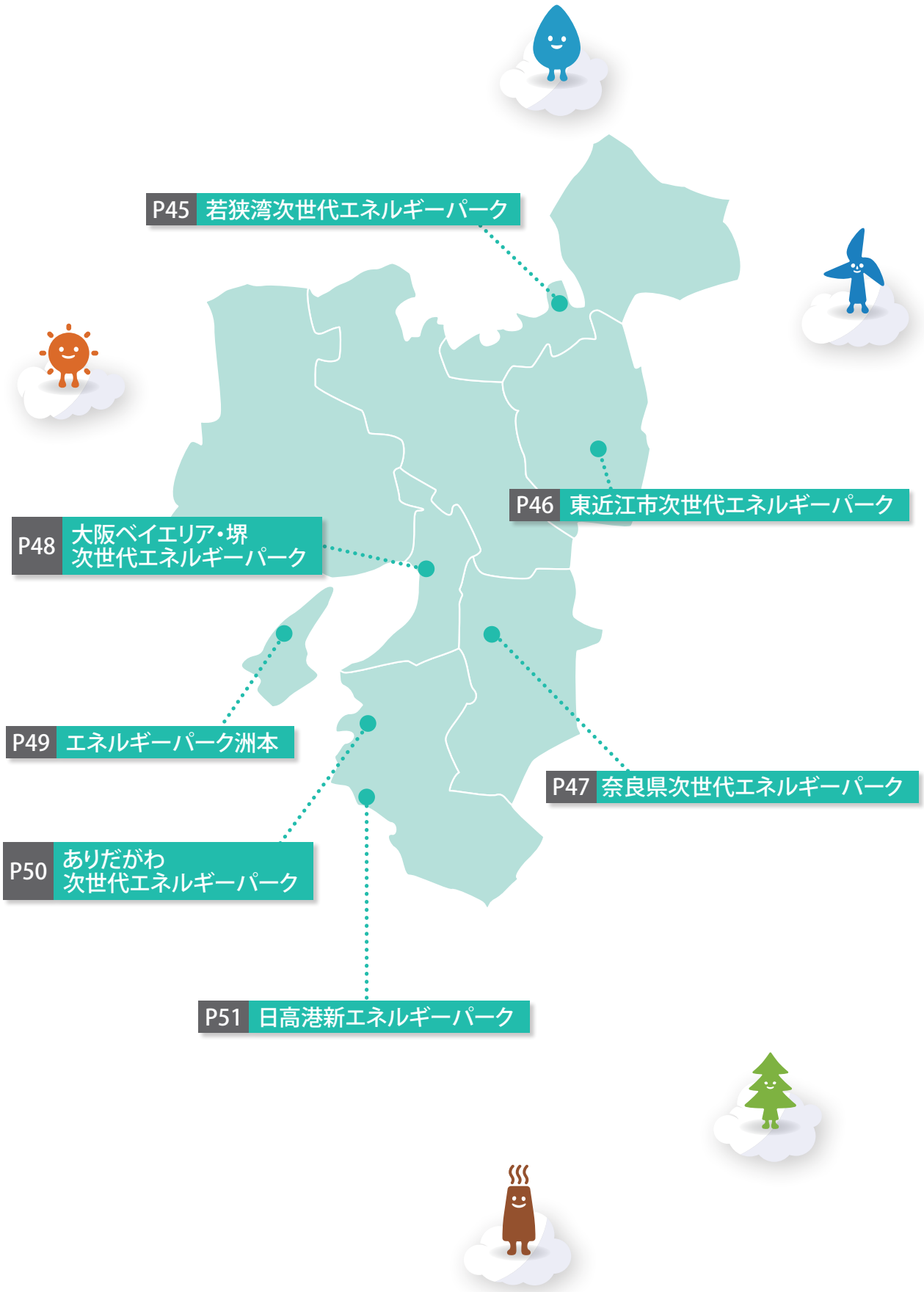

### 詳しい施設情報はこちら

三重県雇用経済部 ものづくり産業振興課
TEL：059-224-2316
http://www.pref.mie.lg.jp/ENERGY/HP/enepark/

# 5 地方別エネパ紹介

## 近畿地方

7カ所



令和2年度認定

太陽光発電　バイオマス　・水素利用

# 若狭湾次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 脱炭素化に向けた多様なエネルギーの活用を、見て・触れて・学ぶ

福井県の嶺南地域では、自然エネルギーを利用した水素製造や、IoT を活用して電力の需給調整を行う VPP（仮想発電所）、EV（電気自動車）のシェアリングなど、「スマート」にエネルギーを利用する先進的な取り組みを進めています。こうした次世代エネルギーや原子力などの $CO_2$ フリーエネルギーについて、体験型施設で楽しく学んでいただけます。若狭湾の美しい自然や食、歴史などの観光資源と組み合わせて、ぜひ足を運んでみてください。

### Data Watch

若狭湾に面する6つの市町で構成される「嶺南地域」―敦賀市、美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町―にスポットを当てています。

**6**

## おすすめ見学コース

**水素ステーションやバイオマス発電所などの先駆的なエネルギー施設を巡るとともに、「あっとほうむ」や「きいぱす」などの体験型施設で楽しく学ぶコースです。**

### ❶ 原子力の科学館「あっとほうむ」

「あっと」驚き、「はっと」気づく体験ができる学習遊園地です。原子力をはじめ、さまざまなエネルギーや発電方法について、大人から子どもまでゲーム感覚で遊びながら楽しく学ぶことができます。

### ❷ 敦賀グリーンパワー発電所

木質チップを燃料に発電しています。木質チップの年間使用料は28万t、出力3.7万kWと、日本でもトップクラスのバイオマス発電所です。地元の間伐材を使った燃料の活用にも取り組んでいます。

### ❸ 再エネ由来水素ステーション敦賀

敷地内の太陽光パネルで発電した電気を使い、水を電気分解して水素を製造しています。水素は、燃料電池車（FCV）へ充てんしてそのままエネルギーとして使用しているほか、燃料電池（FC）で発電し、近隣の市場への供給やEVへの充電を行っています。

### ❹ 美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」

エネルギー環境教育に関わるさまざまな体験を通して、エネルギーや地球の環境問題について自ら考え判断する力を養うことを目的とする体験型の施設です。組み立てブロック体験やVR仮想体験なども楽しめます。

### 詳しい施設情報はこちら

福井県地域戦略部電源地域振興課 嶺南Eコースト計画室
TEL：0776-20-0230　FAX：0776-20-0624
MAIL：dengen@pref.fukui.lg.jp
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/dengen/ecoast/epark.html

平成21年度認定

太陽光発電　バイオマス

# 東近江市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 次世代に美しい自然を引き継ぐために協働・体感・発信

栽培した菜の花から菜種油を製造し、使用済みの食用油をバイオディーゼル燃料にリサイクルする「菜の花エコプロジェクト」に取り組んでいます。また、八日市商工会議所と東近江市商工会が、環境推進と経済循環により地域力向上を図る「東近江市 Sun 讃プロジェクト」を立ち上げ、市民共同発電所を設置。売電益を地域商品券で還元するため、地域経済の好循環につながっています。市民と「協働」して、資源の活用や地域経済の循環を「体感」し、その取り組みを全国に「発信」することで、さらなる地域活性化を図ります。

**Data Watch**

市内から使用済みの食用油2万6,000ℓを回収し、バイオディーゼル燃料にリサイクルしています。

**26,000**

## おすすめ見学コース

**再生可能エネルギーを体感できるだけでなく、菜の花を鑑賞したり、平和について学ぶことができます。「あいとうふくしモール」では、新鮮な地域の野菜などを使った料理を楽しむことができます。**

### ❶ あいとうエコプラザ菜の花館

「菜の花エコプロジェクト」の拠点として、バイオディーゼル燃料の精製やもみ殻の炭化を行う施設。見て触れて体感できる、体験型の学習を進めています。

### ❷ 滋賀県平和祈念館

県民の戦争体験を語り継ぎ、戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、平和を願う心を育むための拠点となる施設。屋根には、東近江市Sun讃プロジェクトにより「ひがしおうみ市民共同発電所3号機」が設置されています。

### ❸ あいとうふくしモール

食・ケア・エネルギーの自給を目指し、安心して暮らせる拠点づくりに取り組んでいます。農家レストランや障害者の働く施設、デイサービス・訪問看護を行う施設があり、太陽光発電や薪ストーブも設置しています。

### 詳しい施設情報はこちら

東近江市市民環境部環境政策課 環境政策係
TEL：0748-24-5633　FAX：0748-24-5692
MAIL：kankyo@city.higashiomi.lg.jp
http://www.city.higashiomi.shiga.jp/0000000905.html

平成26年度認定

太陽光発電　小水力発電　木質バイオマス

# 奈良県次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 地域に適した再エネ利用の推進

南北に長く、地形や気候も変化に富む奈良県。北部では水道施設を利用した小水力発電や廃棄物の焼却熱によるバイオマス発電、南部では広大な土地を生かしたメガソーラーや地元木材を活用した木質バイオマス発電など、地域に適した再エネ利用を進めています。また、自治体や企業だけでなく、市民共同出資による NPO 法人や地域活性を推進する地元の協議会など、多様な運営者の参加を実現。さらに、災害などの停電時に周辺地域へ電気を供給する取り組みや住民参加による地域おこしへの利用など、多様な形で役立てられています。

**Data Watch**

**18**

奈良県次世代エネルギーパークに参加している自治体・企業などの数です。

## おすすめ見学コース

**県南部地区から中部地区にまたがる見学コース。太陽光発電、小水力発電およびバイオマス発電という3種類の再エネ施設を1日で見学することができます。**

### ❶ 近鉄花吉野ソーラー発電所

2014年に設置された、設備容量3MWの太陽光発電。災害などによる大規模な停電が起きたときには、併設した電気自動車用急速充電器を通じて太陽光で発電した電気を地域に供給します。

### ❷ （株）クリーンエナジー奈良 吉野発電所

2015年に完成した設備容量6,500kWの木質バイオマス発電所。林業は県南部の主要産業であり、伐採後、山に残っている間伐材などを利用して発電を行っています。

### ❸ 奈良県桜井浄水場

接合井と原水貯留池の標高差を利用した小水力発電を行っています。設備容量197kWで、発電した電気は施設運営の電源として使用しています。

### 詳しい施設情報はこちら

奈良県水循環・森林・景観環境部水資源政策課
エネルギー政策係
TEL：0742-27-8016　FAX：0742-27-6395
http://www.pref.nara.jp/39282.htm

世界有数の次世代エネルギーを
大阪で丸ごと体感！

平成22年度認定

太陽光発電　バイオマス　水力発電
・燃料電池
・コージェネ
・トリジェネ

# 大阪ベイエリア・堺 次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 世界最先端の技術と人材を誇る、次世代エネルギー施設が集積

大阪は、世界最先端の「技術と人材」を誇る太陽電池やリチウムイオン電池などの関連企業や研究機関が集まるエリア。さまざまな次世代エネルギーの供給・開発施設を体感できます。こうした施設が集積する堺市内をはじめ、大阪府全体を1つの次世代エネルギーパークとし、「新エネルギーといえば大阪」というブランドイメージの確立を目指します。

**Data Watch**

**18**

対象施設の数です。さまざまな次世代エネルギー施設があります。

## おすすめ見学コース

**「大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク」には、メガソーラー発電所や安全で効率的な未来の農業を研究する大学など、エネルギーと地球環境について学べる場所がいっぱいあります。大阪・堺で新しい発見をしましょう！**

### ❶ 関西電力（株）堺港発電所

天然ガスを燃料とした高効率コンバインドサイクル方式（ガスタービンと蒸気タービンの両方で発電）の火力発電所で、発電出力は200万kW。熱効率が約58%と高水準です。

### ❷ 関西電力（株）堺太陽光発電所

大規模な太陽光発電施設。発電出力は太陽光パネル約7万4千枚分に相当する10,000kW。面積は甲子園球場約5個分の約21万㎡。発電電力量は約1,100万kWh／年と、一般家庭約3,000世帯の年間電気使用量に相当します。

### ❸ 大阪ガス（株）泉北製造所

都市ガスの製造・供給を行う大阪ガス（株）の主力工場。LNGのマイナス160℃の冷熱をランキンサイクル方式の冷熱発電や、空気液化分離などに利用。高効率のガスタービンコンバインドサイクル大型発電所も運用中です。

### ❹ 大阪府立大学 植物工場研究センター

大阪府立大学の植物工場研究センターは、人工光型植物工場に特化しました国内有数の最先端の研究拠点です。2棟の研究棟（要素技術開発研究棟、実証栽培研究棟）と「新世代植物工場」で構成されています。

### 詳しい施設情報はこちら

大阪府商工労働部成長産業振興室産業創造課
新エネルギー産業グループ
TEL：06-6210-9269　FAX：06-6210-9296
MAIL：shinenesangyo@sbox.pref.osaka.lg.jp
http://www.pref.osaka.lg.jp/energy/beieria-enerugi-pa-k/index.html

堺市環境局環境都市推進部 環境エネルギー課
TEL：072－228-7548　FAX：072-228-7063
MAIL：kanene@city.sakai.lg.jp
http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/ondanka/energy_park/energypark.html

人気のレジャースポットで
再生可能エネルギーを学ぶ

平成21年度認定

太陽光発電　風力発電　水力発電　バイオマス

# エネルギーパーク洲本

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## ウェルネスパーク五色で、食べて、遊び、学ぶ

エネルギーパーク洲本は、循環型社会を目指す取り組み「菜の花・ひまわりエコプロジェクト」関連施設が整備されている「ウェルネスパーク五色」を拠点として、バイオマスや風力発電、太陽光発電といった複数の再生可能エネルギー施設を見学することができます。「ウェルネスパーク五色」は、宿泊施設や温泉施設、レストラン、オートキャンプ場、ログハウス、スポーツ施設、遊具広場、体験工房などを備える複合レジャー施設。京阪神方面を中心に多くの方々にご利用いただいています。

### Data Watch

市を代表する再エネの取り組み「菜の花・ひまわりエコプロジェクト」によって栽培される「菜の花（787）」。春には満開となって一面を黄色に染め、見る人に元気を与える市のシンボルです。

**787**

### おすすめ見学コース

**「ウェルネスパーク五色」とその周辺では、菜種油を製造する工場や廃食用油をバイオ燃料にリサイクルする施設、竹を燃料とするボイラー、大型風力発電、ため池に浮かぶ太陽光発電など、多様な再エネ施設が見学できます。**

#### ❶ 菜種搾油施設

市内で栽培収穫した菜の花やひまわりの種を原料として、無添加一番搾り製法により風味豊かな食用油を製造しています。天ぷら油としてはもちろん、オリーブオイルのようにご利用いただくこともできます。

#### ❷ 酵素触媒法BDF精製プラント

市内から分別回収した廃食用油を、軽油の代わりに使えるバイオ燃料（BDF）にリサイクルしています。全国でも珍しい「酵素触媒法」によって、高品質な燃料を安定して製造することができます。製造能力は約200ℓ／日。

#### ❸ 竹チップ焚きバイオマスボイラー

島内で急速に拡大し問題となっている竹林を資源化によって適正管理するため、伐採しチップ化した竹を燃料として大量に消費できるバイオマスボイラーを設置。温泉水の加温に利用しています。

#### ❹ クリーンエネルギー五色風力発電施設

タワーの高さが65m、ブレードの長さが35mにもなる、出力1,500kWの大型風力発電施設1基が、淡路島西海岸を吹き抜ける風を受け、勢いよく回転しています。一般家庭約900戸分の電気を生み出します。

### 詳しい施設情報はこちら

洲本市企画情報部企画課 政策調整係
TEL：0799-24-7614　FAX：0799-23-2340
https://www.city.sumoto.lg.jp/site/enepa/

平成28年度認定

太陽光発電　風力発電　水力発電

# ありだがわ次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 地域づくりへの貢献を目指し、再エネ事業が進化中

町営の小水力発電所の建設から、住宅などへの太陽光・太陽熱利用設備の補助制度など、地域で創り出す再エネ事業へ。有田川町の取り組みは、地域に生かされるものへとシフトしています。次世代エネルギーパークでは、町民はじめ多くの人々が再エネを身近に体験・体感する機会を増やし、より一層の導入促進や啓蒙啓発を図るとともに、再エネ先進都市を目指す有田川町の姿を広く PR。みんなが暮らしたい「ありだがわというエコのまち」実現に向け、住民・事業者・行政が一体となって取り組んでいます。

**Data Watch**

**1,300,000**

町営二川小水力発電所の年間発電量は130万kWhです。

## おすすめ見学コース

**町営二川小水力発電所を起点に、再生可能エネルギー発電設備を導入している渓谷の高台にある温泉や風車のある山脈を巡る、有田川町の再エネ施設見学と名所観光を両立したコースです。**

### ❶ 町営二川小水力発電所

有田川にある二川ダムでは、毎秒約0.7tの維持放流が行われており、このエネルギーを利用しようと町が建設しました。最大出力は200kWで、発電で得た売電益は住民のエコ活動の支援や町再エネ事業に生かしていきます。

### ❷ 中紀ウィンドファーム

白馬山脈の東西約11kmの尾根にわたる合計出力4万8,300kWの風車群です。コスモエコパワー（株）が運営し、一般家庭2万5,800戸分の電力を供給。年間約3万8,000t$CO_2$削減効果が見込まれます。

### ❸ かなや明恵峡温泉

深い山々に囲まれた有田川の渓谷「明恵峡」を望む高台にある温泉です。昼は有田川の清流や山々が、夜は頭上に広がる満天の星空が堪能できる、趣きある立地。屋根には30kWの太陽光発電設備が設置されています。

### ❹ ユーラス有田川ウインドファーム

長峰山脈の尾根に沿った東西約2kmにわたる合計出力1万3,000kWの風車群です。（株）ユーラスエナジー有田川が運営し、一般家庭約7,800世帯相当分の電力を供給。年間2万4,800t$CO_2$削減効果が見込まれます。

### 詳しい施設情報はこちら

有田川町建設環境部 環境衛生課
TEL：0737-52-2111（代） FAX：0737-52-7822
MAIL：kankyoeisei@town.aridagawa.lg.jp
https://www.town.aridagawa.lg.jp/top/kakuka/kibi/2/1/2/1/949.html

多彩な次世代エネルギーを
楽しみながら一度に体感！

平成19年度認定

太陽光発電　水力発電　風力発電

# 日高港新エネルギーパーク
（愛称：EEパーク）

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## ソーラーカードライブで太陽光発電の力を体感

EE パークには太陽光、風力、水力、そして小型ハイブリッド発電設備が設置され、さまざまな次世代エネルギーを体感できます。全長 120 mのソーラーカーコーナーでは、太陽光パネルを装備したカートで、子どもから大人まで安全なソーラーカードライブが楽しめます。「PR 館」では新エネルギーの解説と、御坊市および周辺エリアを紹介。次世代エネルギーの可能性や未来像を見て・学んで・体感することができます。

**Data Watch**

敷地内に全長120mのソーラーカーサーキットがあり、子どもから大人までソーラーカーでのドライブが楽しめます。

**120**

**おすすめ 見学コース**

**日高港新エネルギーパーク内のPR館では、さまざまなエネルギーについて子どもたちにも分かりやすく解説。楽しみながら学習できます。また、敷地内のサーキットではソーラーカーでのドライブが楽しめます。**

### ❶ 日高港新エネルギーパークPR館

自然の力の営みや新エネルギーの原理を用いた未来の街のイメージを、ジオラマオブジェで表現した「ネイチャーエナジータウン」を展示。新エネルギーについてゲーム感覚で学べるクイズコーナーもあります。

### ❷ ソーラーカー

全長120mのソーラーカーコーナーでは、太陽光パネルを装備したカートで、子どもから大人まで安全なソーラーカードライブが楽しめます（天候により利用できない場合があります）。

### ❸ 日高港塩屋緑地（Sioトープ）

EEパークに隣接する日高港塩屋緑地（Sioトープ）は親水池を取り囲む緑地公園となっています。公園内には「水木しげるが描くゲゲゲの鬼太郎と和歌山の妖怪」像が設置され、憩いの空間を創出しています。

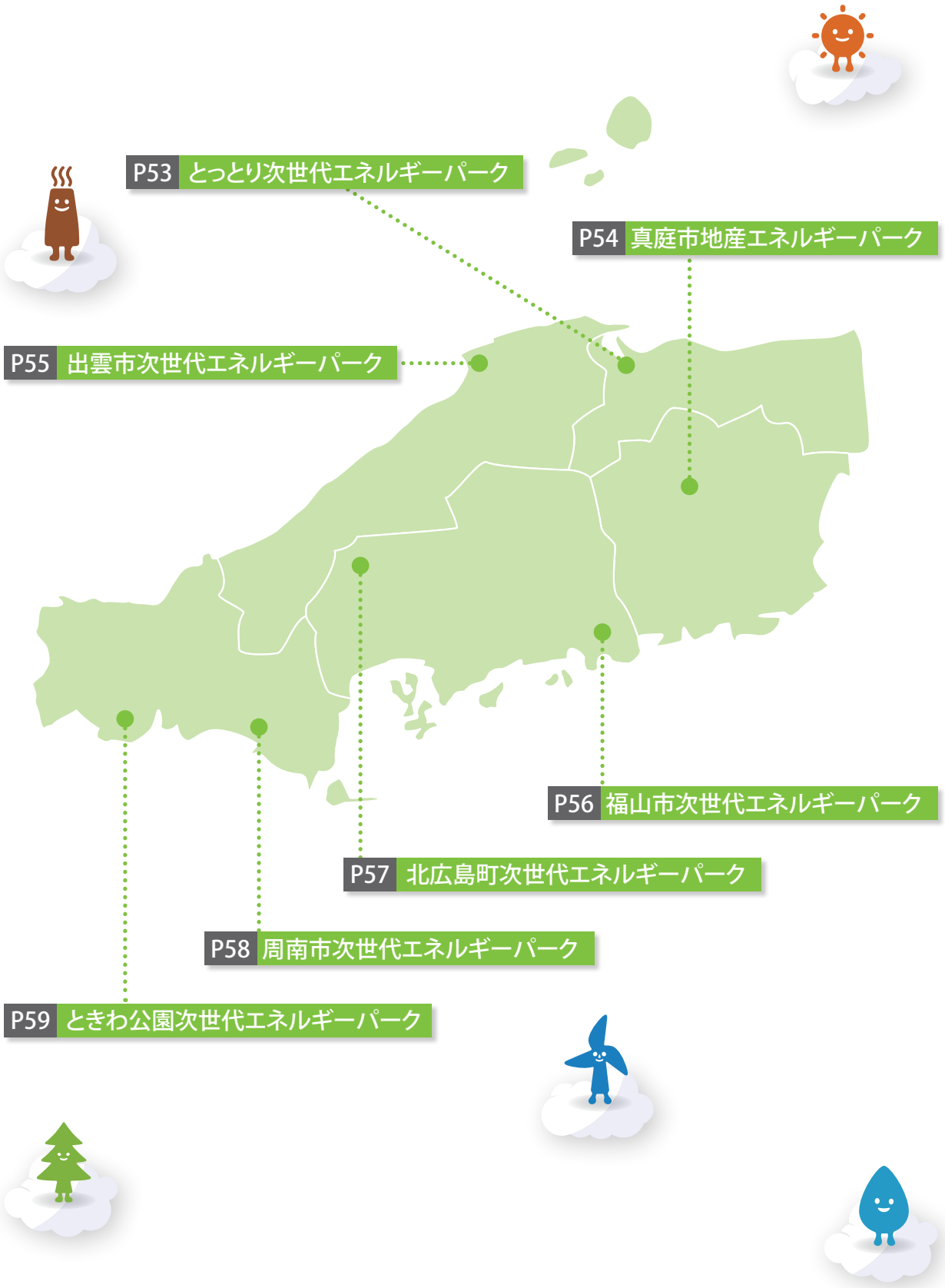
**詳しい施設情報はこちら**

日高港新エネルギーパーク EEパークPR館
TEL：0738-20-9001　FAX：0738-20-9002
http://www.city.gobo.wakayama.jp/kankojoho/manabu/eepark/1395194330221.html

# 6 地方別エネパ紹介

## 中国地方

7カ所



平成25年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス　水力発電　雪氷熱利用　地熱発電
・燃料電池
・地中熱ヒートポンプ

# とっとり次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 再生可能エネルギーと観光資源で、地域を生かす

豊かな自然や変化に富んだ地形は、太陽光や風力、水力、バイオマスなど多種多様な再生可能エネルギーを生み出します。その中核が本州最大級の大規模太陽光発電所「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」のガイダンス施設「とっとり自然環境館」と、水素エネルギーの実証と環境教育の拠点「とっとり水素学びうむ」。県域全体を１つのエネルギーパークと位置付け、再エネの恩恵を県民が自ら認識し、意識を高めます。また、これらのエネルギー施設と豊かな自然や観光資源を連携させた環境学習を行い、地域の活性化を図ります。

### Data Watch

とっとり次世代エネルギーパークの中核施設である「とっとり自然環境館」には年間1万人以上の方が来場し、昨年度、累計来場者数が8万人を突破しました。

**80,000**

## おすすめ 見学コース

**太陽光や風力、バイオマス、地熱などのエネルギー施設と、大山をはじめエネルギーを生み出す鳥取の豊かな自然を実感できます。雄大な「伯耆大山」の眺めや、風車が立ち並ぶ日本海沿いのドライブをお楽しみください。**

### ❶ とっとり自然環境館、ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク

「とっとり自然環境館」では、専門職員が隣接する「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク（42.9MW）」をご案内します。鳥取県の再生可能エネルギーや環境保全活動に関する情報も紹介しています。

### ❷ 日新バイオマス発電所

県内初の本格的な木質バイオマス発電所。燃料となる木材チップは年間８万tを使用し、合板グループ会社の工場で発生する残材と未利用の間伐材で賄います。

### ❸ 北条砂丘風力発電所

日本海と並行して並ぶ９基の風車。その勇壮な姿に目を奪われます。風車に見とれて運転がおろそかにならないように注意しましょう。

### ❹ 協和地建コンサルタント（株）湯梨浜地熱発電所

東郷温泉の約84℃の源泉を利用する、中国地方初の地熱発電所です。沸点の低い不活性ガスを沸騰させタービンを回す「バイナリー方式」で発電した後の熱水は町内の温泉施設に利用しています。

### 詳しい施設情報はこちら

鳥取県生活環境部 低炭素社会推進課
TEL：0857-26-7895　FAX：0857-26-8194
MAIL：teitanso@pref.tottori.lg.jp
https://www.pref.tottori.lg.jp/223773.htm

平成19年度認定

木質バイオマス

# 真庭市地産エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 地域資源の活用やSDGs未来杜市の取り組みを「バイオマスツアー」で体験

中国山地のほぼ中央に位置する真庭市は古くから木材業で栄えた町。地域資源の１つである木材を有効利用し、資源循環型社会の実現だけではく、SDGs 目標達成を組み込んだ地域づくりに取り組んでいます。そんな「バイオマス産業杜市」と「SDGs 未来杜市」の全容を効率よく見学できるのが「バイオマスツアー真庭」です。「A：木質バイオマスコース」はバイオマス発電所の見学をはじめ、森林資源循環の仕組みを紹介。「B：バイオマス循環農業コース」は環境負荷の少ない循環型の真庭の暮らしを紹介しています。

**Data Watch**

**10,000**

真庭バイオマス発電所の発電能力1万kWは、一般家庭約2万2,000世帯分の電力を賄える規模です。

**おすすめ 見学コース**

**真庭市全域のバイオマス活用施設での取り組み全体がエネルギーパークの認定を受けています。市役所担当課による全体概要説明からツアースタート。ツアー中は専門ガイドが同行し、各施設では現場担当者が分かりやすく説明します。見学先も増加し、ますます充実しています。**

### Aコース：木質バイオマスコース（10：30〜16：30）

#### ❶ 真庭バイオマス発電所と真庭バイオマス集積基地

地域の未利用木材や製材端材、樹皮などを主燃料とする1万kWのバイオマス発電施設です。地域木質資源燃料によるバイオマス発電の仕組みをご覧ください。近くに原料の供給拠点もあり、併せて見学できます。

#### ❷ 国内初のCLT工場と銘建工業本社工場新事務所（CLT建築）

中高層建築物を木造で建てられるとされる、将来性のある新たな建築材料CLT（直交集成板）の製造現場とCLT建築物の銘建工業本社新事務所を見学できます。

※毎月第3〜4週の火曜・木曜のみ見学可。見学にはオプション料金1,000円が必要。

### Bコース：バイオマス循環農業コース（10：30〜16：30）

#### ❸ メタン発酵による液肥製造プラント

一般家庭の生ごみを分別回収してメタン発酵させ、消化液肥の製造を行っています。農家の利用も増え、水田や畑などで液肥の利用が進んでいます。

#### ❹ バイオマス肥料の米・野菜生産農家

バイオマス活用の液肥を使用する農家を訪ね、米や野菜への活用についてご説明します。直売所では農作物のお買い物もできます。ツアー終了後は、美人の湯としても名高い湯原温泉へのご宿泊もお薦めです。

### 詳しい施設情報はこちら

一般社団法人真庭観光局
（旅行企画実施：岡山県知事登録旅行業第2-367号）
TEL：0867-44-1100
http://biomass-tour-maniwa.jp/

・1日目／基本：Aコース（木質バイオマスコース）、Bコース（バイオマス循環農業コース）
・2日目／オプション：6コースから選択可能
・料金／日帰り基本コース：8,000円、2日目オプションコース：6,000円（宿泊代別途）。
　※バス代、資料代、昼食代、企画費含む。
・その他／通年実施（平日のみ）、最少催行人員10名

真庭市キャラクター

神話のふるさと出雲で
新（神）エネルギーを体感！

平成20年度認定

風力発電　太陽光発電　バイオマス

# 出雲市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 神話の国の新エネルギー、新（神）エネのパワーを体感

出雲は日本海からの強い「風」、さんさんと大地に降り注ぐ「光」、山々に豊かに茂る「木」など、多くの自然エネルギーに恵まれた地域です。その自然の恵みから電気や熱をつくり出す施設が市内には多く点在。日本海を臨む日本最大級の風力発電所「ユーラス新出雲ウインドファーム」や木質チップボイラーを利用した出雲須佐温泉「ゆかり館」などの見どころに加え、理科学習の拠点「出雲科学館」など、科学や環境について学べる施設も充実。神話の国の「新（神）エネ」を体感できるエネパへぜひお越しください。

### Data Watch

出雲市の世帯数である約6万3,000世帯の電力を賄うことを目標に再生可能エネルギーの導入を進めています。

**63,000**

## おすすめ 見学コース

**日本海に面した風光明媚な場所に立つ2つの風力発電所と木質チップボイラーで焚く温浴施設を巡り、最後は日本遺産に認定された神聖で美しい夕日で心洗われる「新（神）エネルギー」体感ツアー。**

### ① キララトゥーリマキ風力発電所

市が運営するこの風力発電所は、友好姉妹都市があるフィンランド風の外観の道の駅「キララ多伎」に隣接して立っています。冬の日本海の厳しい風に向かってたくましく回る姿は、出雲の西玄関の風物詩です。

### ② 出雲須佐温泉「ゆかり館」 木質チップボイラー

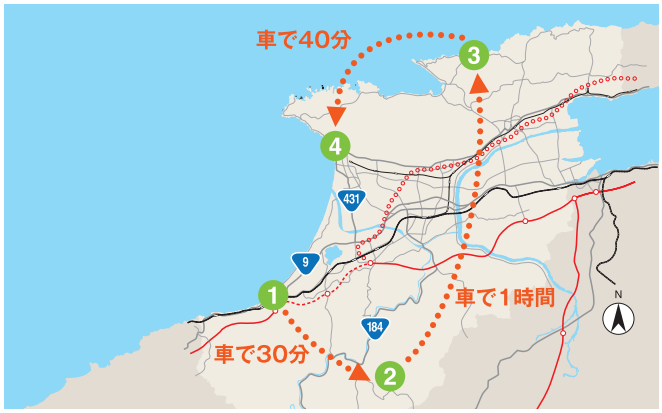
市の南部に位置する佐田町にある出雲須佐温泉「ゆかり館」には、地元産の林地残材から作るチップを燃料に用いる木質チップボイラーを設置しています。隣接する須佐神社は日本有数のパワースポットとして有名です。

### ③ ユーラス新出雲ウインドファーム

青い日本海を臨む26基の風車群は、日本最大級の合計出力7万8,000kWを誇ります。十六島（うっぷるい）風車公園から市道十六島釜浦線を通ると、力強く回る風車を間近で体感できます。

### ④ 出雲日御碕灯台

出雲神話の舞台となった「稲佐の浜」や「日御碕」などのスポットから眺める夕日は絶景です。文化庁から「日が沈む聖地出雲」として日本遺産に認定された、神聖で美しい夕日は旅の締めくくりに最適です。




### 詳しい施設情報はこちら

出雲市経済環境部産業政策課 産業企画係
TEL：0853-21-6549　FAX：0853-21-6838
MAIL：sangyou@city.izumo.shimane.jp
http://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1544168384783/index.html

平成23年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス

# 福山市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

福山市箕沖町周辺（出典：（一財）広島県環境保全公社）

## 地球環境と調和する社会を観光で学ぶ

環境学習の拠点施設である「福山市リサイクルプラザ」でのecoちゃれんじ講座や、太陽光・風力発電施設、リサイクル施設などの見学によって、地球環境と調和した低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を体感。気軽にできる環境に優しい行動を学ぶことができます。また、これらを観光資源として広く周知して誘客を図り、観光を通じて環境の保全と創造を体感できる「環境観光」の取り組みを進めています。

### Data Watch

福山市次世代エネルギーパークを構成する施設の数です。なお、福山市内の全域が対象エリアとなっています。

**16**

## おすすめ見学コース

**資源は無限ではありません。福山市のエネルギーパークでは、ごみをエネルギー資源として再利用できること、自然の恵みをエネルギーに変えることを「見て、触れて、実感する」ことで環境への関心を深め、エコな学習ができます。**

### ❶ 福山市リサイクルプラザ、リサイクル工場

「低炭素」「循環型」「自然共生」の3テーマを体験しながら学べる環境学習の拠点施設。隣接するリサイクル工場では、容器包装プラスチックからの高純度なベール品の生産、ならびに不燃・粗大ごみの処理工程が見学できます。

### ❷ 福山市ごみ固形燃料工場、福山リサイクル発電所

家庭から出された燃やせるごみを破砕・乾燥し、ごみ固形燃料（RDF）を製造する工程が見学できます。また、隣接する福山リサイクル発電所では、RDFをガス化・燃焼・溶融し、高効率発電を行っています。

### ❸ 中国電力（株）福山太陽光発電所

中国地方初のメガソーラー（3,000kW）。太陽電池パネル1万6,544枚で、一般家庭約1,000世帯の年間使用量に相当する電力を発電しています。道路沿いの見学展望台から自由に見学できます。

### ❹ （株）エフピコ 福山リサイクル工場

簡易食品容器のメーカーとして独自のリサイクルシステム「トレー to トレー」の循環型リサイクルを確立しました。工場では食品トレーのリサイクル全容と透明容器の選別工程が見学できます。

### 詳しい施設情報はこちら

福山市経済環境局環境部 環境啓発課
TEL：084－954-2619
http://fukuyama-energypark.com/

平成21年度認定

太陽光発電　バイオマス発電　水力発電

# 北広島町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 四季折々の風景の中で次世代エネルギーを体験！

2009年6月1日に「新エネ百選」に選定された庁舎太陽光発電システムと川小田小水力発電をはじめとする、豊かな自然を生かした施設が中心。その他にも、家庭から出る廃油を使ったバイオディーゼル燃料や地元木材を熱利用する「せどやま再生事業」など、民間事業者の取り組みと合わせて、町ぐるみでエネルギーパークを構成しています。「自然を生かす環境づくり」「新エネルギーを活用する環境づくり」「みんなで生かすECOエネルギーづくり」の3本柱で、誰もが楽しく学べる場を創出しています。

**Data Watch**

北広島町役場本庁舎屋上に100kW、壁面に58kW、合計158kWの発電能力を持つパネルを設置しています。

**158**

## おすすめ見学コース

**地域が育んできた森や清流、里山、田畑などの豊かな自然の恵み。
それを町づくりの貴重な財産として、将来にわたって継承することができるよう、
地域ごとに特色のある自然エネルギーの活用に取り組んでいます。**

### ❶ 庁舎太陽光発電

二酸化炭素の削減、庁舎光熱費の削減、新エネルギーの普及啓発を目的に、庁舎屋上へ100kW、壁面へ58kWの発電能力を持つパネルを設置。パネルのデザインには「未来へ羽ばたく」という意味が込められています。

### ❷ わさ環境公園

バイオディーゼル燃料の製造を行っています。町内各地に廃食油回収ステーションを設置し、回収した廃食油からバイオディーゼル燃料（BDF）を製造。

### ❸ せどやま再生事業

裏山整備で搬出された木を薪に加工し、ストーブなどの燃料に利用しています。流通には地域通貨を活用。山林の景観および生態系の保全、地域経済の活性化、エネルギーの自給自足を目指すプロジェクトです。

### ❹ 川小田小水力発電所

この地域に存在する豊富な水資源や急峻な地形を生かして、最大出力720kWの小水力発電を2003年に建設。電力は地元温泉施設などで利用し、農業振興や都市農村交流を推進しています。

**詳しい施設情報はこちら**

北広島町町民課 環境管理係
TEL：050-5812-2111　FAX：0826-72-5242
MAIL：kankyo@kitahiroshima.lg.jp
https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/7/1318.html

平成22年度認定

太陽光発電
太陽熱利用
風力発電

# 周南市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 動物と次世代エネルギーを見る、地球環境がテーマの動物園

豊かな自然を次代に引き継ぎ、地球に負担を掛けない環境に優しい街を目指す周南市。その観光拠点である徳山動物園では、テーマパーク型動物園への全面リニューアルに着手。コンパクトな街中の動物園として生態系の素晴らしさや人間社会との関わりを再現する「動物展示」と、次世代エネルギー装置などの「エコロジー展示」を組み合わせ、地球環境から身近な暮らしまで「エネルギー」という１つのテーマの下に展開します。また、水素先進市として液化水素ステーションを設置し、環境への理解を深める機会を提供していきます。

**Data Watch**

**5**

アニマルエコランドの面積は5haです。

**おすすめ 見学コース**

**2頭のスリランカ象を展示する「徳山動物園」、リサイクル施設「ペガサス」、自然エネルギーで回る「ゆめ風車」などを見学するコースです。この他、周南市では、産業環境ツアーや周南コンビナート夜景ツアーも開催。**

### ① 徳山動物園

飼育動物の数が多い本格的な動物園でありながらコンパクな広さになっており、小さな子どもたちでも無理なく見て回れます。狭くても間近で動物本来の迫力ある行動が観察できるよう工夫した施設整備を行っています。

### ② 周南リサイクルプラザ「ペガサス」

資源循環型社会を推進するための施設。資源ごみは機械選別や手選別を経て圧縮梱包などの中間処理を行います。また、燃やせないごみ、不燃性粗大ごみからも資源物を回収し、再資源化に取り組んでいます。

### ③ ゆめ風車

姉妹都市のオランダ風車をモデルに建設した、実際に粉がひける本格的な八角形のバルコニー付き風車です。風車守が羽根を風上に向けることで羽根が回転。その力が上部の歯車から主軸の歯車へと伝わり、石臼が回転する仕組みです。

**詳しい施設情報はこちら**

周南市徳山動物園
TEL：0834-22-8640
http://www.city.shunan.lg.jp/site/zoo/

平成24年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス熱利用

# ときわ公園次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## エネルギーの歴史を伝え、目指すべき未来を体験

ときわ公園は、「環境・芸術・スポーツ・福祉」の融合した先進的なモデル公園を目指し、さまざまな取り組みを行っています。その１つが次世代エネルギーパークです。古くは炭鉱で知られた宇部市。宇部炭発祥の地である常盤湖畔には、日本で初めての石炭記念館があります。そこで、新たに整備した再生可能エネルギー施設を連携させ、石炭から再生可能エネルギーへ「目で見て触れて、学び、遊べるエコパーク化」を推進しています。

**Data Watch**

**40**

ときわ公園の広さは、東京ドーム40個分です。

**おすすめ見学コース**

**主要施設に太陽光発電を設置している他、施設の用途・特徴に応じて風力発電、木質ペレットボイラーを整備しており、その稼働状況はモニター画面などで確認できます。電気自動車やBDF清掃車は公園の管理車両として活躍しています。**

### ❶ ときわ湖水ホール

常盤湖畔に立つカルチャーホール。400名収容のイベントホールや会議室、レストランを備えています。併設のアートギャラリーでは定期的に企画展を開催しています。

### ❷ 石炭記念館

館内には約3,000点の機材と資料が展示され、地下には採炭場を再現したモデル坑道もあります。また、地上37mの展望台からは眼下に常盤湖や瀬戸内海、九州、四国の山々が眺望できます。

### ❸ ときわ動物園

グランドオープンした動物園は、生息地の環境を再現した「生息環境展示」という展示手法を採用。来園者が、あたかもアジアや中南米、アフリカを旅行して動物と出合い、観察できるような空間としています。

### ❹ ときわミュージアム

季節ごとに違った表情を見せる植物と彫刻を備えた複合博物館。原産地の植生を意識した展示の世界を旅する植物館や国際的な野外彫刻コンクールが開催されるUBEビエンナーレ彫刻の丘などが併設されています。

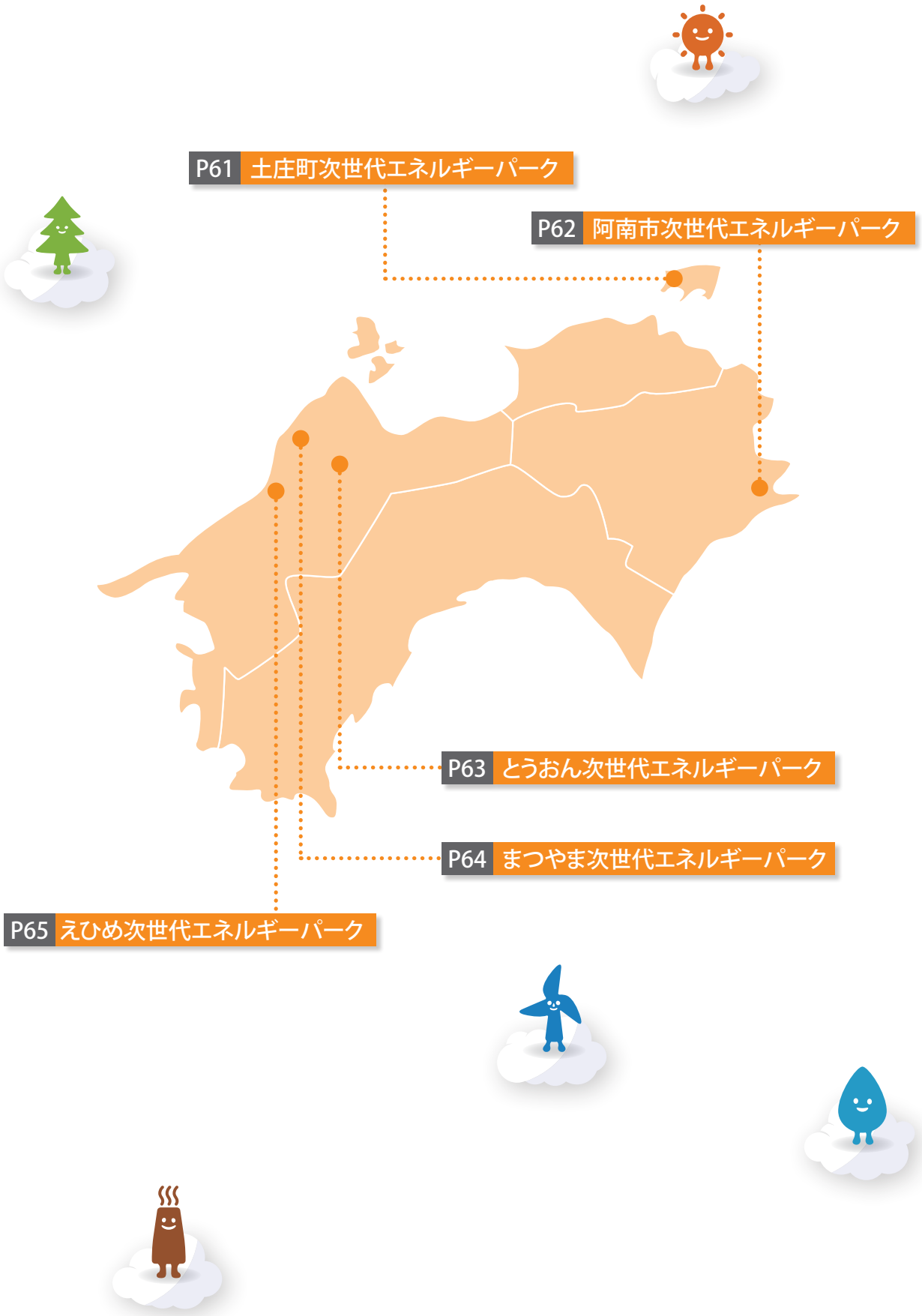
**詳しい施設情報はこちら**

宇部市観光・シティプロモーション推進部 ときわ公園課
TEL：0836-51-7252　FAX：0836-51-7205
MAIL：tokiwakouen@city.ube.yamaguchi.jp
https://www.tokiwapark.jp/etc/energypark.html

# 7 地方別エネパ紹介

## 四国地方

5カ所



平成21年度認定

バイオマス　小型風力発電　太陽光発電

# 土庄町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 小豆島と豊島に新エネルギーを導入し、環境との調和を考える

小豆島の西北部と豊島を含む土庄町には人々を魅了する美しい自然が数多くあり、また多くの島嶼と相まって瀬戸内海国立公園にふさわしい内海美、多島美を眺めることができます。この香川県を代表する観光地である小豆島と豊島に新エネルギーを導入し、町民および来島者に対し、効果的に普及啓発する計画です。土庄町は環境に配慮する町づくりを進め、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方について、理解の増進を図っていきます。

### Data Watch

平成21年に小型風力・太陽光ハイブリッド発電システムを設置。また、21世紀にふさわしい環境に配慮する町づくりや地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方について理解を促進します。

**21**

## おすすめ見学コース

**自然あふれる土庄町は温暖で、穏やかな海、気候に恵まれ、人も自然も温かい癒しと和みの町です。環境との調和を目指している土庄町の町並みを巡るお薦めのコースです。**

### ❶ 土庄町立土庄中学校

2009（平成21）年に小型風力・太陽光ハイブリッド発電システムを設置し、環境学習拠点として自然エネルギーなどについて授業を行っています。

### ❷ 土渕（どふち）海峡

「世界で一番狭い海峡」として1996年ギネスに認定。前島（土庄地区）と本島（渕崎地区）の間を流れる全長2,500mの海峡で、一番狭いところは9.93mしかありません。

### ❸ 迷路のまち

本町に残る複雑な迷路のような入り組んだ路地は、約680年前に南北両朝の戦いで攻防戦に備えた名残。全国に現存する数少ない迷路の１つです。

### ❹ エンジェルロード（天使の散歩道）

潮の満ち引きで現れたり消えたりする不思議な砂の道。その神秘的な現象から、大切な人と手をつないで渡ると、願いがかなうといわれています。

### 詳しい施設情報はこちら

土庄町 企画課
TEL：0879-62-7014
MAIL：kikaku@town.tonosho.lg.jp
http://www.town.tonosho.kagawa.jp/

平成20年度認定

太陽光発電 太陽熱利用　風力発電　バイオマス

# 阿南市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 市内の7施設を拠点に「市民参画型パーク」を目指す

阿南市次世代エネルギーパークの７施設とは次のものです。①省 $CO_2$、エコ設計の新庁舎「阿南市役所」、②高効率ごみ発電を行う処理施設「エコパーク阿南」、③エネルギー教室などを実施する「阿南市科学センター」、④太陽熱利用設備を整備予定の「道の駅・公方の郷なかがわ」、⑤コスト改善を実現した新エネルギー導入事例「王子製紙（株）富岡工場」、⑥年間６万人以上が来園する電気と科学の体験学習施設「Wa ンダーランド」、⑦風力発電で海風と共生、年間４万人が利用する「かもだ岬温泉保養センター」。

**Data Watch**

**7**

阿南市内の新エネルギー関連施設数です。

**おすすめ 見学コース**

**新しいごみ処理施設「エコパーク阿南」と隣接する「Waンダーランド」では、循環型社会への取り組みを工場見学や環境学習設備などで分かりやすく説明。体験型の設備も多く、1日中楽しみながら学べると好評です。**

### ❶ エコパーク阿南

2014年より稼働した新ごみ処理施設「エコパーク阿南」では、環境型社会の形成を目指し、高効率ごみ発電システム、太陽光発電・風力発電の設置、溶融スラグのリサイクル、環境学習設備による啓発活動に取り組んでいます。

### ❷ Waンダーランド

体験型公園施設である「Waンダーランド」では、発電の仕組みや科学の不思議をさまざまな施設や展示で紹介。エネルギーがどのようにつくられ、家庭に届くかをさまざまな体験型展示施設で学ぶことができます。芝生の公園や屋内ホールも併設され、1日中楽しめます。

**詳しい施設情報はこちら**

阿南市産業部 企業振興課
TEL：0884-22-3401
MAIL：kigyou@anan.i-tokushima.jp
http://www.city.anan.tokushima.jp/

平成25年度認定

太陽光発電　バイオマス

# とうおん次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 再生可能エネルギーを、テーマ別により深く体験

東温市は「環境と健康」を最重要施策とし、持続可能な循環型社会と位置付ける「東温市環のまちづくりプロジェクト」を推進しています。その一部である「とうおん次世代エネルギーパーク」は、東温市役所を中心に市内全域がそのフィールド。「環境」と「防災」の視点から市内全域に整備された再生可能エネルギー設備を見学するとともに、それを有効活用することにより創成されつつある循環型取り組みが学べます。こうした経験から地球環境に優しい次世代エネルギーの在り方を多くの人に感じてもらうことを目指しています。

### Data Watch

「とうおん次世代エネルギーパーク」には大規模な施設はないけれど、ユニークな取り組みでオンリー1！

**1**

## おすすめ 見学コース

**環境に優しい自転車で巡るコースです。太陽光や木質バイオマス、BDF（バイオディーゼル燃料）など、多様な再生可能エネルギーの活用が見学できます。自転車がない方は、駅近くのレンタサイクルショップをご利用ください。**

### ❶ 防災センター（消防署に併設）

「環境」と「防災」の視点から再生可能エネルギー設備を見学するための出発点です。消防署には太陽光発電設備（容量10kW）の他、雨水利用システムや高効率照明器具が採用され、環境に配慮しています。

### ❷ ジャパン アグリ コスモ／（株）コスモ精機

ビニールハウス内は自動空調となっており、$CO_2$対策としてエコボイラを導入。環境に優しい農業への取り組みにより、みずみずしいマンゴーが伸び伸びと育っています。

### ❸ いよてつ東温ソーラー発電所／（株）伊予鉄グループ

年間に発電する電力量は約120万kWh。これは一般家庭約300軒分となり、（株）伊予鉄グループの運営する路面電車の消費電力量の約40%に相当します（見学は外観のみ可能）。

### ❹ 学校給食センター

2007年4月から、市内の学校などに約3,500食の給食を提供しています。調理にはBDFボイラを利用している他、太陽光発電設備（容量10kW）やペレットストーブを設置するなど、環境に優しい施設です。

### 詳しい施設情報はこちら

東温市市民福祉部環境保全課 新エネ推進係
TEL：089-964-4415　FAX：089-964-4447
MAIL：kankyohozen@city.toon.ehime.jp
https://www.city.toon.ehime.jp/soshiki/10/1215.html

平成22年度認定

太陽光発電　水力発電　バイオマス

# まつやま次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 地域一丸で再エネの理解と環境保全を目指す

松山市では、太陽エネルギーの活用を中心に「脱温暖化」と「産業創出」を目指しています。市内各地に設置された公共の太陽光発電だけでなく、太陽電池の製造とパネルのメンテナンスなどに関わる民間工場をルートに加えることにより、官民一体となった、太陽光発電の生産から活用までの一連の流れが理解できます。また、再エネや環境保全について理解を深められるよう、環境について楽しく学べる体験活動への参加や、太陽光発電だけでなく、小水力発電などの再エネ設備やごみ発電を行うごみの焼却施設も見学できます。

**Data Watch**

**2,000**

松山市の年間日照時間です。

**おすすめ 見学コース**

**公共施設に設置された太陽光発電システムやソーラー関連企業の工場などの施設を見学できます。また、「中央浄化センター」に設置されたマイクロ水力発電設備やごみ焼却施設である「南クリーンセンター」の見学も可能です。**

### ❶ 松山市南クリーンセンター

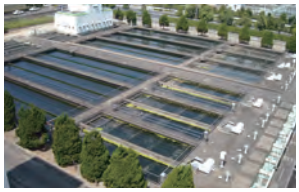
ごみ焼却炉、粗大ごみ破砕機を備えています。ごみを焼却する際に出る排熱で蒸気をつくり、冷暖房や発電、温水プールに利用し、発電した電気の余剰分は電力会社に売電しています。施設内の見学が可能です。

### ❷ まつやまRe・再来館（りっくる）

太陽光発電システムを設置している松山市の施設です。再エネ・省エネだけでなく、ごみ減量やリサイクルなど、環境についてみんなで楽しく考え、体験できる他、リサイクル家具の展示販売なども行っています。

### ❸ 松山中央浄化センター

センター内に、下水処理水を利用した「マイクロ水力発電」、処理過程で発生する消化ガスを利用した「消化ガス発電」設備を設置しています。発電設備と併せてセンター内の見学もできます。



### ❹ （株）エヌ・ピー・シー 松山工場

太陽電池製造装置のトップメーカーであり、パネルの検査やリユース・リサイクルサービスも提供。工場に設置されている国内太陽電池メーカー9社のパネルや、パネルのリサイクル用解体ラインの見学ができます。

**詳しい施設情報はこちら**

松山市環境部 環境モデル都市推進課
TEL：089-948-6960　FAX：089-934-1861
MAIL：ondankataisaku@city.matsuyama.ehime.jp
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

平成23年度認定

風力発電　バイオマス　太陽光発電

# えひめ次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 再生可能エネルギーの有効利用について学ぶ

愛媛県では、EV に蓄電した電力を家庭の設備で使用できる「V2H（Vehicle to Home）」システムを、体験型環境学習センター「えひめエコ・ハウス」に設置しています。このエコ・ハウスの EV は太陽光発電で充電しているので、充電・走行にかかる $CO_2$ の排出がなく、更に災害時には移動する非常用電源として活躍します。県内では、エコ・ハウスで再エネや環境について学習できる他にも、廃食用油からバイオディーゼル燃料を製造している工場を見学できます。おすすめの見学コースの移動は車で 1 時間半以内と見学しやすいのも特徴です。

### Data Watch

えひめエコ・ハウスのEV（愛称：エコッピー）は太陽光発電で充電しているので、$CO_2$を排出しないゼロ・エミッション・ビークルです。

**0**

## おすすめ見学コース

**松山市を中心に、メガソーラー発電所やバイオ燃料製造施設などを車で回るコース。最初に「えひめエコ・ハウス」でエネルギー全般について学んだ後、各施設を見学。効果的に再生可能エネルギーが体験・学習できます。**

### ❶ えひめエコ・ハウス

体験型環境学習センター「えひめエコ・ハウス」には太陽光発電や太陽光熱利用システム、「V2H」システム、マイクロ風力発電施設を設置。スタッフがご案内します。

### ❷ ダイキアクシス D・OiL松山事業所

一般家庭や飲食店、食品加工工場から出る廃食用油を原料にして生み出されるバイオディーゼル燃料「D・OiL」を製造しています。本施設は西日本有数のバイオディーゼル燃料の製造工場です。

### ❸ 四国電力松山太陽光発電所

出力2,042kW、海沿いのメガソーラー発電所です。

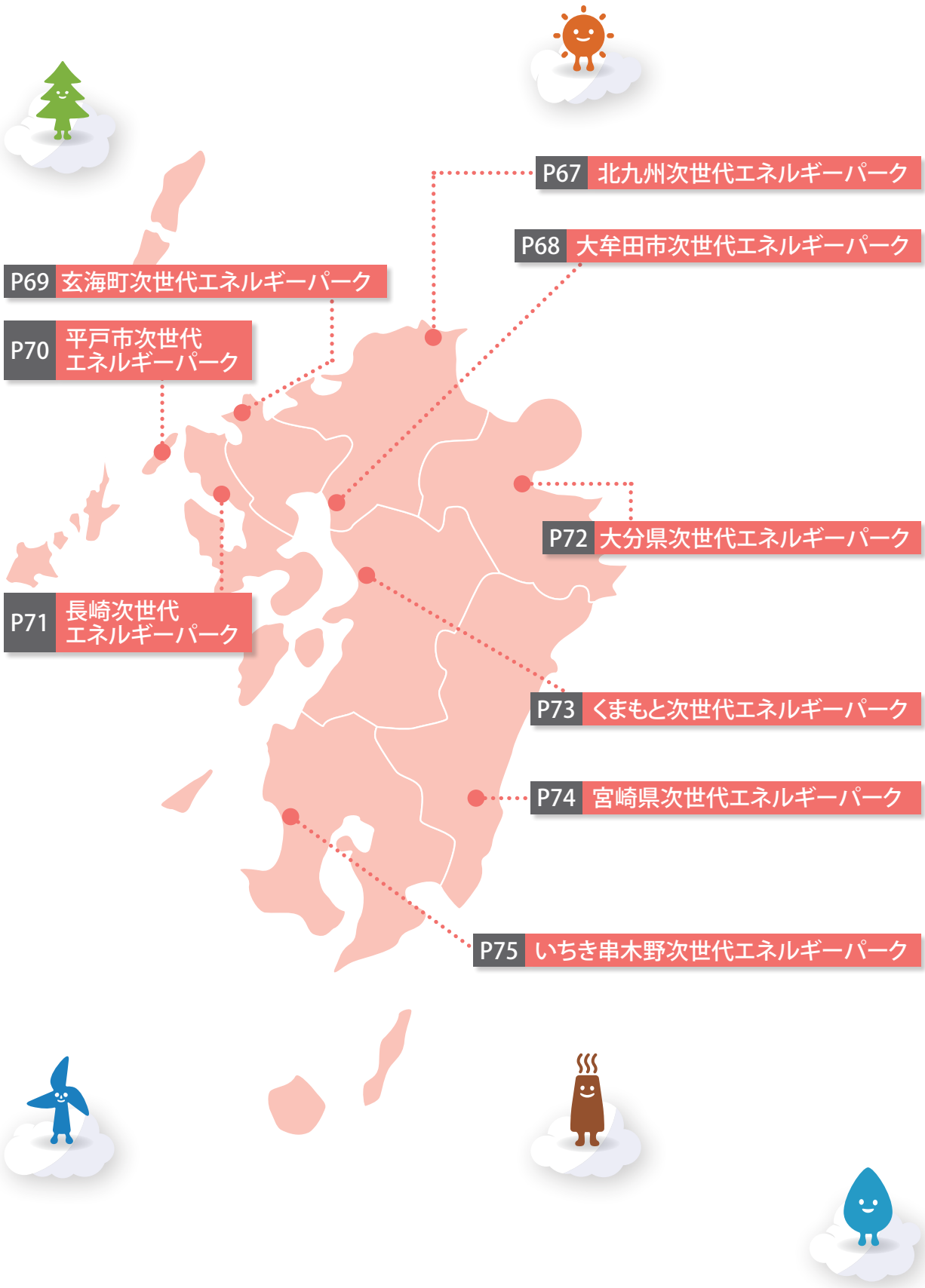
### 詳しい施設情報はこちら

愛媛県環境政策課 温暖化対策グループ
TEL：089-912-2349　FAX：089-912-2344
MAIL：kankyou@pref.ehime.lg.jp
https://www.pref.ehime.jp/h15600/h15600.html

# 8 地方別エネパ紹介

## 九州地方

9カ所



平成19年度認定

太陽光発電　風力発電（陸上・洋上）　バイオマス　小水力発電

# 北九州次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 多様なエネルギー供給が見学できる総合ショールーム

北九州市若松区響灘地区では、「低炭素次世代エネルギーパーク」「資源循環（北九州エコタウン）」「自然共生（ビオトープ）」の３要素が連携した環境拠点「響灘エコフロンティアパーク」を展開。低炭素を担う次世代エネルギーパークには、多種多様なエネルギー関連施設が集積しています。暮らしを支えるエネルギー供給基地や太陽光・風力発電などの再生可能エネルギー施設、さらに新たにバイオマス・石炭混焼発電が始まるなど、さまざまなエネルギー関連施設を見学し、楽しく学ぶことができます。

**Data Watch**

**1**

エネルギーパーク第1号に認定されました。

**おすすめ見学コース**

**「北九州市エコタウンセンター」でエネルギーについて体験しながら学習した後は、迫力満点な10基の陸上風力発電施設や巨大な太陽光発電施設を間近で見学。他にも、石油について学べる白島展示館など見どころいっぱいです。**

### ❶ 北九州市エコタウンセンター

見学窓口となる施設。別館展示コーナーでは、市内の再生可能エネルギーの紹介など、次世代エネルギーパークの全体像を学ぶことができます。

### ❷ 響灘風力発電所「（株）エヌエスウインドパワーひびき」

風況が良い響灘地区は、風力発電の適地。海岸沿いに並ぶ10基の風力発電施設は真下まで行くことができ、力強く回るその迫力に驚きます。また、そこから響灘を望むと洋上風力発電施設も見ることができます。

### ❸ 北九州市市民太陽光発電所

市制50周年事業の一環として、市民公募債や寄付金で建設された太陽光発電施設。発電によって得られた収入の一部で市民還元事業（緑化事業など）を実施している全国的にも例のない公設公営のメガソーラーです。

### ❹ 白島展示館

白島国家石油備蓄基地では、石油が輸入できなくなったときや、災害により国内の特定地域への石油供給が困難になったときのために、日本の石油消費量の約10日分を備蓄。白島展示館では、基地や石油について学べます。

**詳しい施設情報はこちら**

北九州市環境局環境国際経済部 地域エネルギー推進課
TEL：093-582-2238　FAX：093-582-2196
MAIL：kan-chiikienergy@city.kitakyushu.lg.jp
http://www.kitaq-ecotown.com/enepa/

過去から未来のエネルギーを
総合的に体験・学習できる地域拠点

平成21年度認定

太陽光発電　バイオマス

# 大牟田市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 時代を超えて受け継がれる、エネルギーのまちづくり

石炭で日本の近代化をエネルギー面から支えてきた大牟田市。それを象徴する、三池炭鉱宮原坑をはじめとした「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が 2015 年 7 月、世界文化遺産に登録されました。大牟田市次世代エネルギーパークは、石炭の歴史から、太陽光発電やバイオマス発電といった新エネルギーまで、過去から未来のエネルギーについて体験・学習できる地域拠点を目指しています。

### Data Watch

ユネスコの世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のエリア7の構成施設として、大牟田市には宮原坑、三池炭鉱専用鉄道敷跡、三池港があります。

**7**

## おすすめ見学コース

**大牟田市エコサンクセンターで環境やリサイクルについて学んだ後、バイオマス発電の大牟田リサイクル発電所や石炭産業科学館、大牟田メガソーラー発電所を見学。過去から未来のエネルギーについて体験・学習します。**

### ① 大牟田市エコサンクセンター

環境やリサイクルについて、見て、触れて、考える体験を通じて、楽しみながら学習できる施設です。スペースシップゴミダス号に乗って、地球に優しい暮らし方を学べます。

### ② 大牟田リサイクル発電所

家庭から排出される燃やすごみを破砕・乾燥・選別・圧縮成形したRDF（ごみ固形化燃料）を焼却し、その熱を利用して発電を行うバイオマス発電施設です。

### ③ 大牟田市石炭産業科学館

石炭を掘り出す採炭用カッターや石炭を運搬する電気機関車など、迫力ある石炭の採掘現場を体験できます。石炭・炭鉱や大牟田市の歴史を学べる施設です。

### ④ 大牟田メガソーラー発電所

約1万4,000枚の太陽光パネルを使って、最大で1,990kWを発電することができます。1年間の発電電力量は約280万kWhで、これは一般家庭約930戸の年間使用電力量に相当します。

### 詳しい施設情報はこちら

大牟田市産業経済部 産業振興課
TEL：0944-41-2724　FAX：0944-41-2751
MAIL：e-sangyoushinkou01@city.omuta.fukuoka.jp
http://www.city.omuta.lg.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=590

平成19年度認定

太陽光発電　風力発電

# 玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 小中学生に向けたエネルギーと地域に関する「学びの場」

「玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ」が目指すのは、次世代を担う子どもたちが次世代エネルギーを見て、触れて、直接体験できる学習の場であると同時に、地域を活性化する場としての機能を発揮すること。小中学生を中心とする子どもとそのご家族に向け、日々のエネルギーのある暮らしや地域とのつながりに気付き、理解できる「学びの場」を創出していきます。「あすぴあ」は、体験型の展示や双方向型のアクティビティーを中心に構成。体を使って遊び、感じることで好奇心や疑問が膨らみ、確かな学びにつながります。

### Data Watch

「あすぴあ」のオリジナルキャラクターは4体。太陽エネルギーの妖精・そーらりん、水力エネルギーの妖精・うぉった、風力エネルギーの妖精・ふうたん、バイオマスエネルギーの妖精・もりーん。

**4**

## おすすめ見学コース

**自然あふれる玄海町には、心と体が元気になる心地よい場所がいっぱいです。「あすぴあ」で思う存分遊んだ後は、「玄海海上温泉パレア」や「浜野浦の棚田」などで癒しのひと時を過ごしてみませんか？**

### ① 玄海町薬用植物栽培研究所

さまざまな薬や化粧品の原料として使われる薬用植物の栽培・研究の拠点として運営しています。薬用植物はその効能だけでなく花も美しく、所内の薬用植物見本園はどなたにもお楽しみいただけます。

### ② 浜野浦の棚田

日本棚田百選に選ばれた棚田。青い海から段々に駆け上がるその美しさはまさに絶景！　特に春の田植期（4月中旬～5月上旬）の夕方は、辺りが黄金に染まり幻想的な世界に。ゆっくり眺めるだけでも癒し効果抜群です。

### ③ 玄海海上温泉「パレア」

仮屋湾の絶景が広がる最高のロケーションを満喫しながら、ゆったり温泉が楽しめる「パレア」。柔らかく心地よい泉質の湯は子どもからお年寄りまで安心して入浴でき、湯上がりには新鮮な海の幸に舌鼓。1日の疲れが癒されます。

### ④ ふるさと発想館

町内の主婦グループが主体となり玄海町のさまざまなおいしいものを販売する直売所。朝採れの新鮮野菜や果物はもちろん、主婦の皆さんが自由な発想で作った愛情いっぱいの漬け物や惣菜なども並びます。

### 詳しい施設情報はこちら

玄海町役場 防災安全課
TEL：0955-52-2115　FAX：0955-52-5008
MAIL：bousaianzen@town.genkai.lg.jp
玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ
TEL：0955-51-3080
https://www.asupia.com/

平成23年度認定

太陽光発電　風力発電

# 平戸市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 歴史散策を楽しみながら再生可能エネルギーを学ぼう

平戸市は、本土最西端に位置し、平戸島、生月島、的山（あづち）大島など約 40 の島と北松浦半島の一部で構成され、世界文化遺産（平戸の聖地と集落）の構成資産があり、優れた景観や歴史的な観光資源が豊富にある地域です。なお、本市自治体（第 3 セクター）の風力発電の発電規模は国内最大となっています（2011〈平成 23〉年当時）。

**Data Watch**

離島・的山大島の風力発電所から、約15km離れた九州電力田平変電所まで海底ケーブルで送電。離島の風力発電では日本初の試みでした（2011〈平成23〉年当時）。

**15**

**おすすめ見学コース**

**たびら昆虫自然園→平戸城下旧町地区→平戸港（フェリー）→的山大島風力発電所（島内は車移動）**

※途中に観光施設などに立ち寄るのもおすすめ（春日の棚田や島の館など）。
車での移動推奨。申し訳ありませんが、公共交通機関（バスなど）の移動はかなり不便です。

### ❶ たびら昆虫自然園（有料）

平戸市直営の昆虫自然園です。太陽光発電による当日発電量などを施設内のモニターで見ることができます。また、園内には3,000種類以上の昆虫が生息しており、お子さまが楽しむことができます。

### ❷ 平戸城下旧町地区

大航海時代の城下町。山の斜面には教会の塔が高くそびえ、その麓には3つの寺院が立ち並びます。寺院と教会が重なって見える、異国文化の溶け合う街並みを散策してみませんか。

### ❸ 的山（あづち）大島風力発電所

**●自社専用海底ケーブルによる送電実績**

的山大島風力発電所（第3セクター）は離島初のウインドファームで、約15.4kmの自社専用の海底ケーブルで本土に系統連係を行っている、国内唯一の発電所です（2011〈平成23〉年当時）。

**詳しい施設情報はこちら**

平戸市文化観光商工部 商工物産課
https://www.city.hirado.nagasaki.jp/

平成19年度認定

太陽光発電 ・コージェネ

# 長崎次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

© ハウステンボス/J-18803

## テーマパークでエネルギーの「地産地消」を目指す

コージェネレーションシステムなどの見学を通じて、エネルギーの「地産地消」を楽しく学ぶことができるのはテーマパークだからこそ。他にも空気を汚さない太陽光発電パネルを園内各所に設置し、年間で一般家庭の約 100 戸分に相当する電気を自家消費しています。排気ガスと二酸化炭素を出さない電気バスを導入する他、天然ガスのエネルギーを有効に使うコージェネレーションシステムは、発電時の熱をお湯や暖房などに役立てています。ハウステンボスには自然に優しい工夫がいっぱいです。

### Data Watch

園内消費（自家消費）している太陽光発電は約300kW。約100戸分の家庭の電力を賄っています（1戸＝3kWの場合）。

**100**

## おすすめ見学コース

**新エネや環境保全活動を見たり触れたりしながら学べる、それがハウステンボスが取り組む「自然にやさしい街づくり」。入国広場の太陽光発電システムや場内を走る電気自動車、コージェネレーションシステムのエコ発電などの仕組みを知ることができます。**

### ❶ コージェネレーションシステム

発電時に生じる熱蒸気も大事なエネルギーです。多くの発電所では捨ててしまう熱蒸気を園内に張り巡らされた共同溝を通じて届け、2次活用しています。
※本施設は園外にあります（見学は有料、要予約）。

### ❷ 太陽光発電システム

入国広場にある太陽光発電システム。電気を身の回りで作って使う、エネルギーの地産地消を学べます（見学自由）。

### 詳しい施設情報はこちら

長崎次世代エネルギーパーク運営協議会事務局
（長崎県新産業創造課内）
TEL：095-895-2695（ダイヤルイン）
https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kankyoene/nagaenepark/

ハウステンボス総合案内ナビダイヤル
TEL：0570-064-110
https://www.huistenbosch.co.jp/

平成21年度認定

太陽光発電　風力発電　水力発電　地熱発電　バイオマス

# 大分県次世代エネルギーパーク

パンフレット（表面）　パンフレット（中面）　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 恵まれた再生可能エネルギーを官民一体で活用

大分県は、日本一の発電規模を誇る地熱発電や豊富な森林資源を使ったバイオマス、農業用水路などを利用した小水力、太陽光、風力など、さまざまな再生可能エネルギーに恵まれています。そこで、これらの再生可能エネルギーを活用している県内の企業や自治体とネットワークを構築。県全体を公園に見立て、エネルギーパークと位置付けています。官民が一体となって再生可能エネルギーに触れる機会を提供していきます。

**Data Watch**

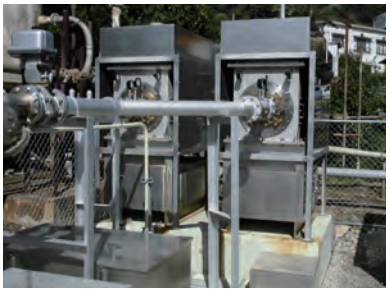
再生可能エネルギー自給率日本一　**No.1**

**おすすめ 見学コース**

**地熱や水、特産品の味噌など、大分ならではの資源を活用して誕生した新しい再生可能エネルギー施設の他、温泉の恵みを活用した「地獄蒸し」などのグルメも楽しめます。**

### ① 大分県農林水産研究指導センター 農業研究部花きグループ発電所（湯けむり発電システム）

温泉の熱水と蒸気のエネルギーを最大限に活用する世界初のトータルフロー発電方式として商業運転に成功。県内地場企業が研究開発した発電設備です。



### ② 五湯苑地熱発電所

大地より湧き上がる146℃の噴気をエネルギーにしてバイナリー発電機を運転。天候に関係なく、安定した発電を行うことができます。

### ③ 小水力野畑発電所

県内初となる、民間事業者が取り組む農業用水路を使った小水力発電所。地場企業が設計・製作したプロペラ式水車を採用し、3.5mという低落差での商用発電を実現しました。

### ④ 二豊味噌協業組合バイオマス発電所

味噌製造工程からの排水を嫌気処理する際、発生するメタンガスを燃料に発電し、同時に排熱を回収するコージェネレーション装置。廃棄物の減量化とエネルギーの有効利用を両立します。

**詳しい施設情報はこちら**

大分県 新産業振興室
TEL：097-506-3263
http://www.pref.oita.jp/soshiki/14240/enepa.html

平成21年度認定

太陽光発電

# くまもと次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## ソーラーをはじめとする新エネルギーなどへの取り組み

熊本県では、2012 年に「熊本県総合エネルギー計画」を策定し、新エネルギーの導入加速化などを行っています。その中でも、ソーラーの導入促進に早くから積極的に取り組んでおり、住宅用太陽光発電普及率は全国 2 位（2020 年 3 月末現在）、さらに 102 件のメガソーラーの立地協定を締結しています（2020 年 9 月現在）。

### Data Watch

都道府県別住宅用太陽光発電普及率で、熊本県は全国2位です（2017年3月末現在）。

**2**

## おすすめ見学コース

**「グランメッセ熊本」の太陽光発電をはじめ、阿蘇くまもと空港に隣接した地産地消型の「くまもと臨空メガソーラー」や長洲町の「LIXIL有明SOLAR POWER」など、県内には多くの太陽光発電が導入されています。**

### ❶ グランメッセ熊本

ソーラー関連企業や熊本大学工学部、地元ものづくり製造企業と連携し、環境に優しい太陽光発電の普及啓発と学生などに向けた教育プログラムを兼ねた広報活動を行っています。

▶ http://www.grandmesse.jp/

### ❷ くまもと臨空メガソーラー

阿蘇くまもと空港の北側に設置されている「くまもと臨空メガソーラー」。その設備や工事に当たっては、県内企業製品などをできる限り活用した地産地消型のメガソーラーとなっています。

▶ http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1001

### ❸ LIXIL有明SOLAR POWER

2011年1月の完成当時、国内初となる500kWのパワーコンディショナーを導入し、国内最大級となる3.75MWの発電出力を実現しました。

▶ https://www.town.nagasu.lg.jp/kiji0033597/index.html

### 詳しい施設情報はこちら

熊本県商工観光労働部新産業振興局エネルギー政策課 エネルギー班
TEL：096-333-2320　FAX：096-384-1760
MAIL：eneseisaku@pref.kumamoto.lg.jp
https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/67/

平成25年度認定

太陽光発電 太陽熱利用　バイオマス　水力発電　風力発電

# 宮崎県次世代エネルギーパーク

パンフレット（中面）　パンフレット（外面）　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

綾第二発電所（水力発電所）

中九州大仁田山風力発電所

中国木材バイオマス発電所（日向工場）

## 再エネと産業、観光資源を融合し、地域特性をアピール

日射条件や降水量、木材・肉用牛・豚・ブロイラーの生産量が全国トップクラスで、豊富な再生可能エネルギー資源に恵まれる宮崎県。再生可能エネルギーと地元の農畜産業・林業・食産業などを融合させた見学・体験メニューを考案し、実際に見て触れることを通して、県内各地の地域特性について学ぶことができる次世代エネルギーパークを形成していきます。中心施設である「宮崎県環境情報センター」を窓口として、次世代エネルギーパークや県内の環境に関する情報などを発信していきます。

**Data Watch**

見学できる施設は28施設。県内各地でさまざまな種類のエネルギーについて見て、触れて、学ぶことができます。

**28**

## おすすめ見学コース

**「日本のひなた」である宮崎県を象徴する太陽光や太陽熱を利用した大規模な研究施設、焼酎粕や芋くずを再利用したバイオガス発電など、さまざまな種類のエネルギー施設が見学できるコースです。**

### ① 宮崎県環境情報センター

宮崎県次世代エネルギーパークの中心施設および見学申し込み窓口です。宮崎県の環境に関する情報の収集・提供および環境教育の拠点として県が設置しています。職員が常駐し、子どもから大人まで幅広く活用されています。

### ② 宮崎大学ビームダウン式太陽集光装置

ビームダウン式では国内最大級で、88基のヘリオスタット（1基当たり10枚の凹面反射鏡）で太陽光を反射して高さ16mの中央タワー上部の楕円鏡に集め、そこから再び下方へ反射させ集光します。

### ③ 宮崎大学集光型太陽光発電システム

国内では宮崎大学にしかない太陽光発電施設で、最適な角度で日光を受けられるよう太陽を追尾してパネルを動かす機能を持っています。パネルの大きさは縦7m、横10mで集光型のシステムとしては国内最大です。

### ④ 霧島酒造（株）焼酎粕リサイクルプラントおよび発電施設

焼酎生産工程から発生する焼酎粕・芋くずをメタン発酵させ、1日に約3万4,000㎥発生するバイオガスを回収して、焼酎製造用のボイラー燃料と発電の燃料として利用している施設です。

### 詳しい施設情報はこちら

宮崎県 環境情報センター
TEL：0985-23-0322　FAX：0985-26-4720
MAIL：kankyojyoho@coral.ocn.ne.jp
http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/earth_warm/enepark/

平成24年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス熱利用

# いちき串木野
# 次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 次世代エネルギーと食文化の融合したエコツアー

「次世代エネルギーをベースとした環境維新のまちづくりと食文化」をテーマに、焼酎・さつま揚げなどの「食のまち」を支えてきた西薩中核工業団地の企業が連携。企業経営に再エネを取り入れながら、スマートコミュニティへの展開と環境負荷の日本一少ない工業団地を目指しています。また、エネルギーの過去・現在・未来がギュッと集まった工業団地を核に、地域の食文化と次世代エネルギーの融合が体験できるエコツアーをご提案。地域文化発信型のエネパとして、食と環境のつながりの大切さを共感していただけるでしょう。

**Data Watch**

100%再生可能エネルギーによる日本一環境負荷の少ない工業団地を目指しています。

**100**

## おすすめ見学コース

**2013年度新エネ大賞「経済産業大臣賞」を受賞した（同）さつま自然エネルギーによる、持続可能な食とエネルギーの産業化を目指す環境維新のまちをご案内します。**

### ① 西薩中核工業団地

焼酎・さつま揚げなどの地場企業が「環境維新のまちづくりと食文化」をテーマに次世代エネルギーを取り入れた企業経営を推進。100%再生可能エネルギーによる日本一環境負荷の少ない工業団地を目指しています。

### ② ちかび展示館

日本の原油使用料3日分の原油175万kℓを地下岩盤タンクに貯蔵する、串木野国家石油備蓄基地。その岩盤タンク掘削に使用した作業用トンネルを有効活用し、備蓄の仕組みなどが分かる展示館です。

### ③ 薩摩藩英国留学生記念館

1865年、鎖国中の幕末に決死の覚悟で英国に渡り、持ち帰った先進的な制度や機械によって近代日本の礎を築いた薩摩藩英国留学生を顕彰する記念館。日本初の水力発電を磯庭園に設置した、電気のふるさとでもあります。

### ④ 串木野れいめい風力発電所

2,000kW×10基の風力発電所。風車の間を縫うように山沿いを走るルートからの眺めは圧巻。隣接の薩摩川内市にある川内原子力発電所展示館まで足を延ばしてみては？

### 詳しい施設情報はこちら

いちき串木野市政策課 企業立地係
TEL：0996-33-5628　FAX：0996-32-3124
MAIL：seisaku2@city.ichikikushikino.lg.jp
http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/seisaku2/sangyo/yuchi/energy/jisedai.html

# 9 地方別エネパ紹介

## 沖縄地方

2カ所

平成21年度認定

バイオマス

# 糸満市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書
ダウンロード

## 浄化センターを拠点に周遊コースを開発

浄化センターを拠点に、市内全域をエネパとして周遊コースを開発しています。同センターでは、温室効果ガスの削減による地球温暖化防止と地域産業の活性化を目指し、民間事業者が実施する再生可能エネルギーを活用した発電事業に対し、本市がバイオガス資源であるバイオガス（消化ガス）を供給し、官民が連携して再エネを有効活用する事業を実施。これは県内市町村単位としては初となる事業です。その他、市内では公共施設や防犯灯への LED 照明設置、公用車として電気自動車の導入など eco な活動を推進しています。

### Data Watch

次世代エネルギーパーク内において、再生可能エネルギーや省エネルギーの設備を設置した公共施設などの数です。

**49**

## おすすめ見学コース

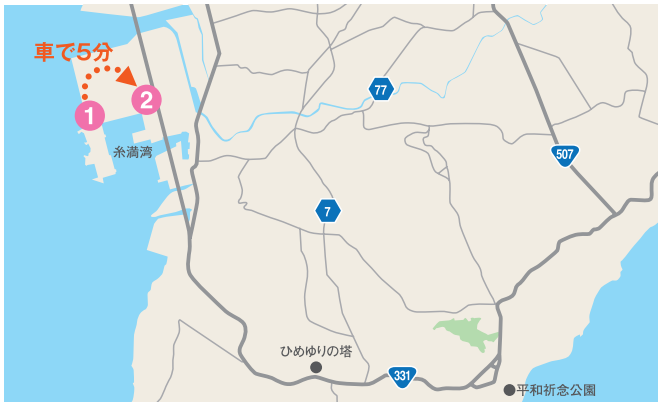
**浄化センターのバイオガス発電施設を拠点に、糸満市丸ごとスマート化を推進します。
日本最南端で最大規模の道の駅いとまんでは、
糸満市ならではのグルメや特産品をお楽しみください。**

### ① 糸満市浄化センター

同センターを軸に、下水処理工程で発生するバイオガスを燃料としたコージェネレーションシステム（CGS）を用いて発電。発電した電気を再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）を活用して売電する事業を行っています。

### ② 道の駅いとまん

観光情報を発信する案内カウンター、特産品が買える遊食楽（ゆくら）、電気自動車の急速充電器など、観光客にうれしい施設が充実。ファーマーズマーケットやお魚センターは、連日地元の人や観光客でにぎわっています。




### 詳しい施設情報はこちら

糸満市浄化センター（水道部下水道係）
TEL：098-840-8145
http://www.city.itoman.lg.jp/

島全体で体感する
再生可能エネルギーのテーマパーク

平成21年度認定

太陽光発電　風力発電　バイオマス

# 宮古島次世代エネルギーパーク

パンフレット　エネルギーパーク全体計画書ダウンロード

## 貴重な水資源を循環社会・再生可能エネルギーで守る

宮古島には太陽光発電や風力発電、バガスやメタンの利用など、さまざまな再生可能エネルギー施設が点在しています。また、基幹作物のサトウキビの他、マンゴーや島野菜などの農作物は、地下ダムのおかげで水不足の心配も減りました。その地下水を守るため、循環型社会構築やエネルギー地産地消への取り組みも盛ん。「見て、触れて、学ぶ」をキーワードに、島全体を「次世代エネルギーパーク」と位置付け、観光で訪れた方々にも宮古島の青い海や青い空を後世に残すためのさまざまな取り組みに触れていただくことができます。

**Data Watch**

**385**

宮古（385）島全体がエネルギーパークです。

**おすすめ見学コース**

**再生可能エネルギー関係など、島内に点在するエコ施設や実証事業などを分かりやすくご紹介する「宮古島市エコアイランドPR館（愛称：エコパーク宮古）」を拠点としたエコツアーがお薦め！**

### ① エコパーク宮古

エコツアーの拠点施設となる「宮古島市エコアイランドPR館（愛称：エコパーク宮古）」は、エコアイランド宮古島がスタートした概要や島内のエコ施設、エコな取り組みなどを映像やパネルを使って紹介しています。

### ② 宮古島市資源リサイクルセンター

「資源リサイクルセンター」は家畜ふん尿、生ゴミ、剪定枝などを堆肥化して農地に還元し、地力の向上を図り農産物の品質向上や食の安全に資するとともに、地下水の保全、環境改善を図ることを目的に整備された施設です。

### ③ 宮古島市地下ダム資料館

水なし農業からの脱却を成し遂げた宮古島。その根源となったのが地下ダムです。エコアイランド宮古島の取り組みも、水を守ることにより自然環境への負荷を減らし、住み良い島を未来へ残すことからスタートしました。

### ④ 来間島竜宮城展望台

来間島では、小学校をはじめ多くの民家に太陽光発電設備が設置されており、来間島竜宮城展望台からその様子を見ることができます。令和2年度から「来間島における地域マイクログリッド構築事業」がスタートし、再エネと蓄電池を活用した災害時に強い自立した電力供給体制の島を目指しています。

**詳しい施設情報はこちら**

宮古島市企画政策部 エコアイランド推進課
TEL：0980-73-0950　FAX：0980-73-1081
MAIL：ts.ecotown@city.miyakojima.lg.jp
https://www.city.miyakojima.lg.jp/gyosei/ecoisland/index.html

MEMO

## 再生可能エネルギー導入促進についてのお問い合わせ窓口


経済産業省資源エネルギー庁 新エネルギー課 再生可能エネルギー推進室

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1

**03-3501-1511**（内線 4455）


なっとく! 再生可能エネルギー
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/index.html

■北海道

北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒060-0808 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎
011-709-2311（内線 2638）

■青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

東北経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒980-8403 仙台市青葉区本町3-3-1
022-221-4932

■茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・新潟県・静岡県

関東経済産業局 資源エネルギー環境部 新エネルギー対策課
〒330-9715 さいたま市中央区新都心1-1 合同庁舎1号館
048-600-0361

■富山県・石川県・岐阜県・愛知県・三重県

中部経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒460-8510 名古屋市中区三の丸2-5-2
052-951-2775

■福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 新エネルギー推進室
〒540-8535 大阪市中央区大手前1-5-44
06-6966-6043

■鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒730-8531 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館
082-224-5818

■徳島県・香川県・愛媛県・高知県

四国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒760-8512 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎
087-811-8535

■福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県

九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2-11-1
092-482-5475

■沖縄県

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー対策課
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2-1-1 那覇第二地方合同庁舎2号館
098-866-1759

別冊

次世代エネルギーパークガイドブック

# 次世代エネパカード集


1.次世代エネパカードとは …… 01

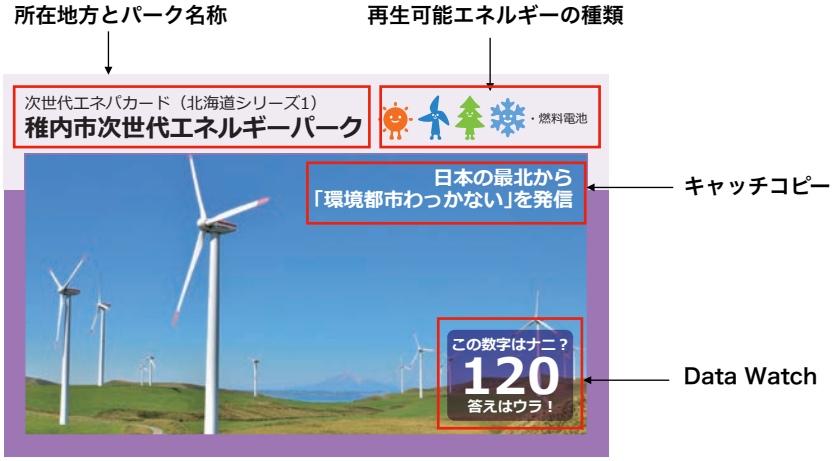
2.次世代エネパカード一覧
北海道地方（7カ所） …… 02
東北地方（12カ所） …… 04
関東甲信越地方（13カ所） …… 07
中部地方（4カ所） …… 11
近畿地方（7カ所） …… 12
中国地方（7カ所） …… 14
四国地方（5カ所） …… 16
九州地方（9カ所） …… 18
沖縄地方（2カ所） …… 20


2021年3月作成

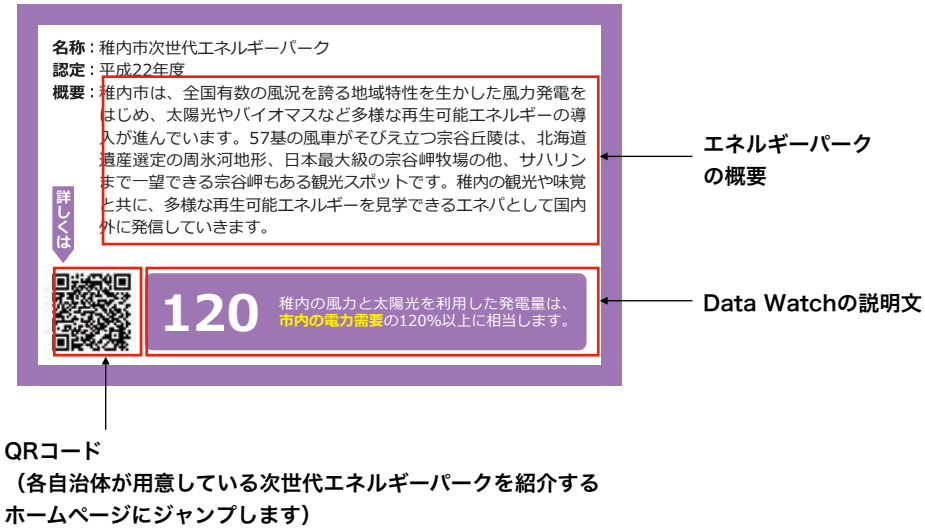
# 1.次世代エネパカードとは

「次世代エネパカード」は、「次世代エネルギーパークガイドブック」の当該施設の内容から要素を抽出して作成しています。カードのベース色は、各地方毎に色を変えています。

**（表面）**




**（裏面）**



# 2.次世代エネパカード一覧

北海道地方（7カ所）

## 稚内市次世代エネルギーパーク

**名称**：稚内市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成22年度
**概要**：稚内市は、全国有数の風況を誇る地域特性を生かした風力発電をはじめ、太陽光やバイオマスなど多様な再生可能エネルギーの導入が進んでいます。57基の風車がそびえ立つ宗谷丘陵は、北海道遺産選定の周氷河地形、日本最大級の宗谷岬牧場の他、サハリンまで一望できる宗谷岬もある観光スポットです。稚内の観光や味覚と共に、多様な再生可能エネルギーを見学できるエネパとして国内外に発信していきます。

詳しくは

**120** 稚内の風力と太陽光を利用した発電量は、**市内の電力需要**の120%以上に相当します。

## 下川町次世代エネルギーパーク

**名称**：下川町次世代エネルギーパーク
**認定**：平成25年度
**概要**：下川町次世代エネルギーパークでは、町全体で林業・林産業・住宅利用が一体となった木質バイオマスの利活用が視察できます。各公共施設の木質バイオマスボイラーだけでなく、木質原料製造施設（木くず燃料の製造施設）、集住化住宅と一体的に整備されている地域熱供給システムなど、積雪寒冷地である北海道ならではの、国内では珍しい熱供給設備がそろっています。

詳しくは

**70** 公共施設全体の**熱需要量**の70%をバイオマスエネルギーに転換。

## 滝川市次世代エネルギーパーク

**名称**：滝川市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成27年度
**概要**：滝川市の面積は115.9㎢で、北海道の中ではそれほど広くはありません。このコンパクトな町の中にさまざまな種類の再エネ設備があり、各施設は車で最大30分の距離にあるので、１日で見て回ることができます。また、町へのアクセスも札幌から車で約1時間、旭川市からであれば約30分（いずれも高速道路利用時）。アクセスも非常に良く、気軽に再生可能エネルギーに触れていただけます。

詳しくは

**113** 1983～2017年の**最深積雪の平均**が113cmである滝川市は国の特別豪雪地帯に指定されている、道内有数の豪雪地帯。そんな厳しい環境でも、さまざまな再エネ設備が活躍しています。

## 札幌市次世代エネルギーパーク

**名称**：札幌市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成20年度
**概要**：札幌市円山動物園に展開する札幌市次世代エネルギーパークは、動物たちとの触れ合いを楽しみながら、地球に生きる生命と私たちが使うエネルギーについて、環境というキーワードを通して考える施設です。園内には太陽光発電、太陽熱温水器、木質ペレットボイラーをはじめ、雪冷熱利用による冷房など地域特性を生かしたさまざまな再生可能エネルギー設備を配置しています。

詳しくは

**13** 歩いて回れるエネルギーパーク・動物園内の13施設に**再生可能エネルギー機器**が大集合しています。

## 伊達市次世代エネルギーパーク

**名称**：伊達市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成23年度
**概要**：伊達市の中心部に位置する道の駅だて歴史の杜「伊達市観光物産館」を中核施設として位置付け、豊かな森林資源を活用した木質ペレット製造施設や市内に建設されている太陽光発電、風力発電などの自然エネルギー関連施設を「伊達市次世代エネルギーパーク」として環境学習の場として活用。同時に、学校教育、観光など関連分野とも連携した次世代エネルギーの普及啓発を推進することで「環境にやさしいまち・伊達」を目指しています。

詳しくは

**1917** 市史によると1917年12月に**「市街地に初めて電灯がともる」**とあります。約100年前の出来事ですが、今ではLEDや太陽光発電パネルが普通に。100年前の市民が見たらきっと驚くでしょう。

## 芽室町次世代エネルギーパーク

**名称**：芽室町次世代エネルギーパーク
**認定**：平成23年度
**概要**：芽室町では、町内各所のペレットボイラーや太陽光発電、地中熱ヒートポンプなどの再生可能エネルギー関連施設と組み合わせて、「エネルギーの地産地消」の取り組みを推進しています。また、町内の観光施設などと連携し、主産業である「農業」、および「食」と共に、エネルギーの地産地消を広くPRしています。

詳しくは

**25** 毎年、約25tの**ペレットを製造**しています。

## 足寄町次世代エネルギーパーク

**名称**：足寄町次世代エネルギーパーク
**認定**：平成24年度
**概要**：北海道東部の林業地帯ではカラマツが盛んに植えられており、その利用拡大が期待されていますが、足寄町では全国に先駆けてカラマツ集成材を活用した役場庁舎を建設したのを皮切りに公共施設の多くがカラマツ木造建築となっています。また、これに伴って発生する残材は木質ペレットに加工し、暖房用燃料として利用し、バイオマス資源を無駄なく利用する地域システムが確立されています。農業分野では、畜産が盛んなことからバイオガスプラントの導入が進められ、エネルギー自立化と共に産業のさらなる活性化が期待されます。

詳しくは

**0** 見学コースのメインとなる役場庁舎では、暖房に関して化石燃料を使用していません。**使用量**0です。

## 六ヶ所村次世代エネルギーパーク

**名称**：六ヶ所村次世代エネルギーパーク
**認定**：平成20年度
**概要**：六ヶ所村は、原子燃料サイクル関連施設をはじめ、核融合エネルギー研究センターや風力発電施設、太陽光発電施設など、多くのエネルギー施設が集積する全国でも珍しい地域です。

詳しくは

**3** 六ヶ所村次世代エネルギーパークの3つの**コンセプト**、①体験型情報発信、②旧・今・新のエネルギー、③自立×協調型の事業運営を表しています。

## のしろ次世代エネルギーパーク

**名称**：のしろ次世代エネルギーパーク
**認定**：平成25年度
**概要**：学校教育や生涯学習との連携を図り、能代市の持つ多様な再エネポテンシャルを見学・体感できるようなプログラムを盛り込んでいます。また、市域にある再生可能エネルギー設備と能代火力発電所付属施設（PR館：能代エナジアムパーク）を周遊コースによって結び付け、さまざまなエネルギーが体験できるパークづくりを目指します。

詳しくは

**62,660** 市内風力発電所の**導入量（kW）**です。

## 男鹿市次世代エネルギーパーク

**名称**：男鹿市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成25年度
**概要**：悠久の時が育んだ男鹿の豊かな自然は、地層・地質・埋蔵資源として太古からの「大地の物語」を伝え、資源を活用し営んできた「ひとの物語」は独自の文化を育みました。大地の成り立ちを知り、地球と自然を学ぶ「男鹿半島・大潟ジオパーク」である男鹿市では、今、新たな自然の恵み、次世代エネルギー施設が整いつつあります。こうした機会を捉え、自然・文化とエネルギー双方の学習と啓発を推進するため、地域の現在を見学しながら過去を学習し、未来の姿を考える、自然環境と融合した次世代エネルギーパークを目指します。

詳しくは

**3** 三方を海に開かれている男鹿市は、「石油」「太陽光」「風力」の3種の大規模施設を有し、ジオパークによる取り組みを通じて、現在・過去・未来の**3つの時代**のエネルギーを学ぶことができます。

## あきた次世代エネルギーパーク

**名称**：あきた次世代エネルギーパーク
**認定**：平成26年度
**概要**：秋田市には、恵まれた森林資源を活用した木質バイオマス発電所、豊かな風況を生かした風力発電施設の他、地中熱利用施設や最終処分場跡地を活用した太陽光発電所など多種多様な再生可能エネルギー施設が集積しています。「あきた次世代エネルギーパーク」では、施設を一体として気軽に見学できるよう、専用の受付窓口を開設し、見学コースの紹介や複数施設の予約を一括して行うとともに、地球温暖化についてや見学施設の概要を説明する説明員を無料で派遣しています。

詳しくは

**42** **見学対象施設**が42施設あります。風力が20、太陽光が7、バイオマス利用が8、地中熱利用が5、廃棄物発電が2の計42施設です。

## にかほエネルギーパーク

**名称**：にかほエネルギーパーク
**認定**：平成25年度
**概要**：風力発電が集中する仁賀保高原のひばり荘では、市内の再生可能エネルギーが、どのように消費されるかが分かるように展示。また、市内で実際に発電している施設を巡ることができる見学コースも用意しています。

詳しくは

**35,000** 市の世帯数約9,500世帯、その約3倍である3万5,000世帯分の**発電量**を誇ります。

## もりおかエネルギーパーク

**名称**：もりおかエネルギーパーク
**認定**：平成27年度
**概要**：日本二百名山・姫神山を市内に抱き、清らかな水に恵まれる盛岡市は、盛岡城の城下町に始まる400年以上の歴史や市街を流れる幾つもの清流、四季が見せる豊かな表情から「みちのくの小京都」とも称されます。再エネに目を向けると、清流の1つ、北上川の水系には半世紀以上にわたる水力発電の実績があり、姫神山の連なりでは、自然に配慮した太陽光・風力発電の設置や木質バイオマスの利用が進んでいます。「もりおかエネルギーパーク」で、歴史と自然の中に溶け込む再エネを体感してみませんか。

詳しくは

**3** 中心施設であるエコアス広場は、エコロジーの「エコ」、中心の「コア」、明日・未来の「明日」という**3つの言葉**をつなげたものです。エコを中心に明日を築くことを学ぶ広場として利用されています。

## 庄内町次世代エネルギーパーク

**名称**：庄内町次世代エネルギーパーク
**認定**：平成24年度
**概要**：風力エネルギーの利用にいち早く取り組んできた庄内町では、再生可能エネルギーと省エネルギーを車の両輪のようなものとして捉え、合わせて次世代エネルギーの普及を推進しています。今後は、町内の約3分の2を占める森林資源の有効活用をはじめとしたエネルギーの地産地消「庄内町モデル」を目指します。

詳しくは

**8** 町内には現在8基の**風車が稼動**し、1995年オープンのウィンドーム立川は次世代エネパの中核施設です。同年には、国内初の民間企業6社による風力発電売電会社（株）山形風力発電研究所も設立。

## 尾花沢市次世代エネルギーパーク

**名称**：尾花沢市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成23年度
**概要**：雪氷熱を活用した市役所庁舎の雪冷房システムや名産のそばを保存する雪蔵、大正時代に築堤された人造湖「徳良湖」での水力発電設備などの施設を、江戸時代に銀山として栄えた「銀山温泉」にちなみ、「大正ロマン再生可能エネルギーパーク」と称して紹介しています。雪氷熱利用を中心に、奥羽山脈から流れる豊かな水資源を活用した水力発電設備や地中熱を利用した融雪設備、徳良湖畔にあるバイオマス熱を活用した花畑など、豊かな地域資源を活用し、市民をはじめ観光客の方々にも再エネ利活用の啓蒙・啓発を図っていきます。

詳しくは

**170** 1904（明治37）～2016（平成28）年の**平均最大積雪深（cm）**です。豪雪地でも再エネを行っています。

## 宮城県次世代エネルギーパーク

**名称**：宮城県次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：豊かな自然や地域の特性を有効利用した次世代エネルギー施設が数多く存在する宮城県。日本でも古い歴史を持つ水力発電所、地熱発電所、森林資源の豊富な地域や製紙工場・合板工場などでのバイオマスエネルギー利用など、その種類は多岐にわたっています。さらに近年では太陽光発電所の建設も各地で進んでおり、沿岸部でも津波被災地を活用したメガソーラーの建設や、屋根貸し事業として復興住宅への太陽光発電システム整備を行うなど、再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮したエコタウンづくりが進められつつあります。

詳しくは

**47** 県で作成している『みやぎ復興エネルギーパークガイドブック』（令和2年2月発行）に**掲載している施設数**です。

## 福島市次世代エネルギーパーク

**名称**：福島市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成27年度
**概要**：「福島市次世代エネルギーパーク」では、地域資源を活用した小水力発電や地熱バイナリー発電など市内に立地する代表的な再生可能エネルギー発電設備や関連施設を連携させ、再生可能エネルギーの普及啓発を図っています。

詳しくは

**7** 福島市次世代エネルギーパーク計画**関連施設**が7つあります。

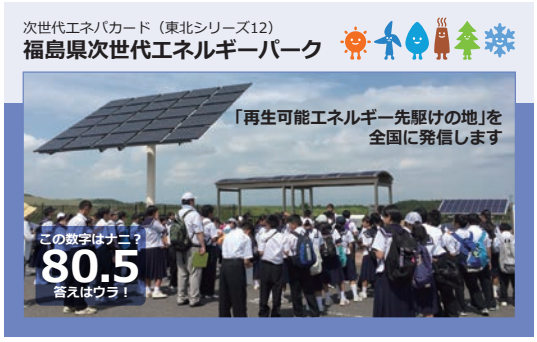
## 郡山市次世代エネルギーパーク

**名称**：郡山市次世代エネルギーパーク
**認定**：令和2年度
**概要**：郡山市は、2016 年4月、未来を拓いた「一本の水路」～大久保利通“最期の夢” と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代～という名称の下「日本遺産」の認定を受けているように、安積疏水によって水力発電などと共に発展してきた街です。「郡山市次世代エネルギーパーク計画」では、本市全体を1つのエネルギーパークと見立て、市内の関連施設との連携により、次世代エネルギーについて実際に見て触れる場や本市発展の歴史を学ぶ機会を提供し、さらなる理解と再エネ導入を促進します。

詳しくは

**2030** 2030年は「郡山市気候変動対策総合戦略」の**中期目標年度**で、温室効果ガス排出量30%削減や再生可能エネルギー導入割合50%を目指しています。

## 福島県次世代エネルギーパーク




**名称**：福島県次世代エネルギーパーク
**認定**：平成24年度
**概要**：全国で3番目の面積を持つ福島県。南から北へ連なる阿武隈高地と奥羽山脈によって中通り・会津・浜通りの3つの地方に分けられ、気候や風土も異なります。多様な地域特性を生かした太陽光や風力、水力、地熱など県内各地に点在する再エネ施設を巡り、「再生可能エネルギー先駆けの地」を目指す福島県を実感してみませんか。再エネを身近に感じ、理解を深めていただくため、発電所の巡視点検などの体験学習を開催している施設もあり、エネルギーパークがより一層充実しています。教育旅行にもぜひご活用ください。

詳しくは

**80.5** 県内の2019年度末時点の**再生可能エネルギー導入量**は県内電力消費（需要）量との比較で80.5%に相当します。

## 新潟県次世代エネルギーパーク

**名称**：新潟県次世代エネルギーパーク
**認定**：平成22年度
**概要**：古くから石油・天然ガスの開発が行われてきた新潟県には、豊富な水資源を活用した水力発電所も多く、また世界最大の原子力発電所も立地。さらに、全国初の太陽電池による商業用発電設備「新潟雪国型メガソーラー」をはじめ、風力発電所、全国有数の豪雪地という地域特性を生かした雪氷熱導入施設があります。多種多様なエネルギーへの理解を深められるパークとして、メガソーラーなどのエネルギー関連施設と自然科学系の博物館の両輪で、エネルギー供給基地「新潟」をPRしていきます。

詳しくは

**52** 新潟県が、2024年までに再生可能エネルギーの導入目標としている、県内需要電力量に対する**再生可能エネルギー発電電力量の割合**です。

## 太田市次世代エネルギーパーク

**名称**：太田市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成20年度
**概要**：世界最大級の太陽光発電団地「パルタウン城西の杜」や自治体単独で初の1.5MWメガソーラー「おおた太陽光発電所」、1.9MWの「おおた緑町太陽光発電所」、1.5MWの「おおた鶴生田町太陽光発電所」など、太陽光発電を中心に再生可能エネルギー情報を全国に向けて発信中。さらに、太陽の動きを追い、エネルギーを収束して発電する集光追尾型太陽光発電システムを導入し、クリーンエネルギーによる自然に優しい都市を目指しています。

詳しくは

**553** 世界最大級の太陽光発電団地「パルタウン城西の杜」には、分譲777区画中553戸に**太陽光パネルが設置**されています。

## 茨城県次世代エネルギーパーク

**名称**：茨城県次世代エネルギーパーク
**認定**：平成19年度
**概要**：最先端の技術開発を行う研究機関や太陽光・風力・バイオマス発電施設が集まっていることで、県全体を“エネルギーパーク”としており、バラエティーに富んだエネルギー施設が見学できます。県内には、次世代エネルギー研究の最先端に触れることができる「県南・県西地区」、液化天然ガスや太陽光発電など多様なエネルギー施設がある「県北・県央地区」、太陽光・風力・バイオマス発電施設が密集する「鹿行地区」の3つのエリアがあり、近接観光と併せた見学のコーディネートが可能です。

詳しくは

**3** 茨城県全体がエネルギーパークに指定されており、県内3地区にまたがって**見学施設が集積**しています。

## 千葉県次世代エネルギーパーク

**名称**：千葉県次世代エネルギーパーク
**認定**：平成22年度
**概要**：千葉県は、東京湾臨海部を中心に電力やガス、石油などのエネルギー関連の工場や施設が数多くある、エネルギー産業の集積地です。一方、公共施設や民間施設の工場では、太陽光発電や風力発電、バイオマス利用など、新エネルギーへの取り組みも盛んに行われています。

詳しくは

**90** 2019年度における千葉県の**総発電量**は、全国1位の90TWhです。

## CCかわさきエネルギーパーク

**名称**：CCかわさきエネルギーパーク
**認定**：平成22年度
**概要**：大規模太陽光発電所や大型風力発電所などの再生可能エネルギーを導入した施設や世界最高効率の天然ガス発電所など、最先端の環境エネルギー技術を持つ施設が市内各地に点在している川崎市。「CCかわさきエネルギーパーク」は、浮島太陽光発電所に隣接する「かわさきエコ暮らし未来館」を中心にこれらの施設を有機的にリンクさせ、市内の優れた環境力を国内外に発信するプロジェクトです。ものづくりの街・川崎の魅力を伝える「産業観光」とも連携し、エネルギーを身近に体験してもらう取り組みを行っています。

詳しくは

**37,926** 浮島太陽光発電所では、37,926枚の**太陽光パネル**を使用し、一年間で約3,000軒分の家庭の電気をつくっています。

## あいかわ・つくい次世代エネルギーパーク

**名称**：あいかわ・つくい次世代エネルギーパーク
**認定**：平成24年度
**概要**：中心施設である「湘南ベルマーレ愛川太陽光発電所」は、日本初となるJリーグのチーム名を冠したメガソーラー発電所です。太陽光発電所で発電した電気は、地域の電力会社を通じて地産地消を行っています。併設する「愛川ソーラーパーク」は、地域に開放されたスペースとして展望広場やつつじ庭園を設置。県内山間部の豊富な水資源を生かした水力発電所も含め、バスツアーや見学会などにより、再生可能エネルギーを通じて神奈川県内の自然を広く知っていただく機会を広げています。

詳しくは

**8,000** **太陽光モジュールの枚数**は、約8,000枚です。

## 山梨市次世代エネルギーパーク

**名称**：山梨市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成20年度
**概要**：面積の8割を森林が占め、国内トップクラスの果樹栽培を誇る山梨市では、間伐材や果樹剪定枝などの木質バイオマス資源を再生可能エネルギーとして活用する取り組みを進めています。果樹の改植から出た伐採木を薪ストーブ利用者に燃料として利用してもらう資源循環事業を実施。また、エコハウスや小中学校などの市内公共施設に設置したストーブや冷暖房の燃料には市内製材所で製造された木質ペレットを利用している他、万力公園ふれあい動物広場では「カピバラの湯」に薪ストーブを採用し、園内の伐採木を有効活用しています。

詳しくは

**8** 山梨市の面積の8割が**森林**です。また、この数字には、限りない資源循環と持続可能な社会の実現を目指す「∞（無限）」という思いが込められています。

## 富士の国やまなし次世代エネルギーパーク

**名称**：富士の国やまなし次世代エネルギーパーク
**認定**：平成23年度
**概要**：明るい日射し、清らかな水とそれを育む緑に恵まれた山梨県は、全県が次世代エネルギーパーク！　内陸部最大規模のメガソーラーに併設するPR施設「ゆめソーラー館やまなし」を中心に、県内周遊を通じて、豊かな自然と太陽光発電や水力発電など地域特性を生かした再生可能エネルギーが体験できます。日本一の富士山を背景に、おいしい水、澄んだ空気、心身共に温まる温泉や採れたての果実を楽しみながら、再生可能エネルギーについて学んでみませんか。

詳しくは

**70** 美しい景観を眺めながら、お薦めの**見学コース**をぐるっと回ると約70km。

## 北杜市次世代エネルギーパーク

**名称**：北杜市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成22年度
**概要**：自然豊かな北杜市の次世代エネルギーパークは「太陽・水・緑」がコンセプト。その中心「北杜サイト太陽光発電所」は、国内外9カ国29種類の太陽電池モジュールを集め、発電特性の評価や大容量パワーコンディショナの開発を行い、太陽光発電の普及に貢献する他、環境に負荷を掛けない架台を設置。この他、「世界かんがい施設遺産」に選定された「北杜市村山六ヶ村堰水力発電所」や自然教育施設「オオムラサキセンター」、農村都市交流施設「三分一湧水館」などを中核に、市全体を1つのアクションエリアとしています。

詳しくは

**2,189** 市内にある主要な再生可能エネルギー施設の**発電出力の合計**です。その内訳は、北杜サイト太陽光発電所が1，869kW、北杜市村山六ヶ村堰水力発電所が320kW。

## ふじのくにしずおか次世代エネルギーパーク

**名称**：ふじのくにしずおか次世代エネルギーパーク
**認定**：平成25年度
**概要**：静岡県では、恵まれた日照環境と豊かな水、森林資源を生かし、「太陽の都」「水の都」「森林（もり）の都」づくりを進める本県全域をエネルギーパークと位置付けています。地域ごとに特色ある自然資源を有することから、県内を伊豆半島・東部・中部・西部の４つのエリアに区分し、公共施設や民間事業所への導入が進む新エネルギー関連施設を、より身近なものとして見学・体験できるようにしています。また、静岡市や浜松市、磐田市などの市町の次世代エネルギーパークとも連携しながら普及を進めています。

詳しくは

**29** 29カ所もの**新エネルギー関連施設**があります（2020年10月現在）。

## 静岡市次世代エネルギーパーク

**名称**：静岡市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成26年度
**概要**：市内で整備されている17の再生可能エネルギー関連施設を盛り込んだ、官民連携による広域型の次世代エネルギーパークです。中心施設「日本平動物園」は、動物の自然な生態を見られる行動展示が充実。そこに太陽光発電や風力発電を導入することで、“動物と環境について学べる環境教育施設”となっています。また、自然豊かな「南アルプスユネスコエコパーク」や世界文化遺産・富士山の構成資産「三保松原」に足を運ぶのもお薦め。周辺にも再エネ関連施設が点在しているので、自然や文化に触れながら体感できます。

詳しくは

**17** 市内で整備されている17の**再生可能エネルギー関連施設**を盛り込んだ次世代エネルギーパークです。

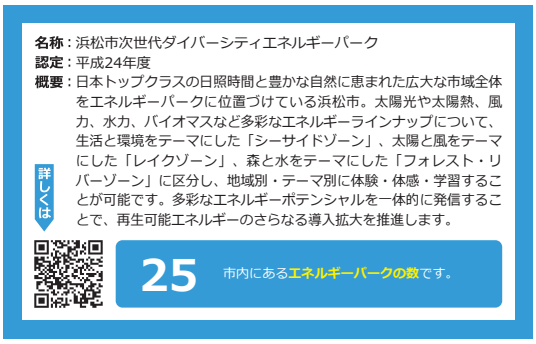
## いわた次世代エネルギーパーク

**名称**：いわた次世代エネルギーパーク
**認定**：平成30年度
**概要**：自然豊かな磐田市。海と川に囲まれた公園内に6基の風力発電や太陽光発電施設、小型風力発電があり、園内に風車で発電した電力を供給しています。再エネ施設とキャンプ場、レストハウス、入浴施設、スポーツ施設がある公園はここだけ！　家族連れから校外学習まで、さまざまな利用が可能です。遊びながら環境について見て触れて考えられる施設。また、6基の風車は市の出資する地域新電力会社の地産電源としても活用され、エネルギーの地産地消に貢献しています。

詳しくは

**150** 遠州灘と天竜川に囲まれた総合公園で、**エネパ計画面積**は150haです。

## 浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク



## 富山市次世代エネルギーパーク

**名称**：富山市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成23年度
**概要**：富山市では、豊富な包蔵量を誇る水力や森林資源から生み出される木質バイオマスをはじめ、太陽光や循環型バイオマス燃料製造など、自然が豊かな地域特性を生かした多様な再生可能エネルギー施設を導入しています。小水力発電所が設置された常西合口用水沿いは桜の名所で、4月上旬には満開の桜と立山連峰を見ることができます。他にも市内には岩瀬地区の歴史的な回船問屋群の街並みや、養蚕や和紙の交易で町人文化を咲かせ、「曳山」などの伝統を伝える八尾など、自然と文化を堪能できるスポットが満載です。

詳しくは

**6** 富山市次世代エネルギーパークには6つの施設があります。

## かなざわ次世代エネルギーパーク

**名称**：かなざわ次世代エネルギーパーク
**認定**：平成26年度
**概要**：加賀百万石の城下町として栄えた金沢。藩政期から受け継がれた伝統文化と心配りが今なお暮らしの中に息づいており、城下町としての風情と美しさが色濃く残っています。また、豊富な水や森林資源にも恵まれ、大正期に創業した歴史を持つ全国唯一の市営水力発電の他、最近では林地残材をごみ処理施設で混焼するバイオマス発電も行っています。豊かな自然環境や歴史都市ならではの美しい街並みの保全と「金沢らしさ」を生かした再生可能エネルギーの導入を進め、「エネルギー自立都市・金沢」の実現を目指しています。

詳しくは

**40,000** 金沢市には5カ所の水力発電所があり、年間発電量は約1億4,000万kWhで、「一般家庭4万戸分」の使用電力量を賄うことができます。全国の公営電気事業者の中で唯一の市営電気事業者です。

## あいち新エネルギーパーク

**名称**：あいち新エネルギーパーク
**認定**：平成20年度
**概要**：「あいち新エネルギーパーク」は、特色ある3地域で構成されています。知多地域は、メガソーラーや風力発電所、水素ステーションなど多くの新エネ関連施設があります。西三河地域は、新エネ技術の実用化を促す「新エネルギー実証研究エリア」を知の拠点あいちに開設。豊田市など世界に誇る自動車産業の集積地として、次世代自動車・交通システムなど低炭素社会実現にも取り組んでいます。風や日射量の豊富な東三河地域は、大規模な風力発電所や国内最大級の太陽光発電所を設置。各地域で多彩な新エネルギーが学べます。

詳しくは

**3** 知多、西三河、東三河という特色ある3つの地域で構成されています。

## 三重県次世代エネルギーパーク

**名称**：三重県次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：太陽の日射量に恵まれ、風況も良く、また森林が県土の3分の2を占めるなど、三重県は新エネルギーの資源が豊富であり、それらの資源を有効にエネルギー利用した施設や、水素社会の実現に向けて先進的な取り組みをしている事業者がたくさんあります。三重県では、そうした事業者が所有する新エネルギー施設を「三重県次世代エネルギーパーク」として位置付け、連携を推進していきます。

詳しくは

**24** 三重県には、現在、次世代エネルギーパークが24カ所あります。

## 若狭湾次世代エネルギーパーク

**名称**：若狭湾次世代エネルギーパーク
**認定**：令和2年度
**概要**：福井県の嶺南地域では、自然エネルギーを利用した水素製造や、IoTを活用して電力の需給調整を行うVPP（仮想発電所）、EV（電気自動車）のシェアリングなど、「スマート」にエネルギーを利用する先進的な取り組みを進めています。こうした次世代エネルギーや原子力などの$CO_2$フリーエネルギーについて、体験型施設で楽しく学んでいただけます。若狭湾の美しい自然や食、歴史などの観光資源と組み合わせて、ぜひ足を運んでみてください。

詳しくは

**6** 若狭湾に面する**6つの市町**で構成される「嶺南地域」―敦賀市、美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町―にスポットを当てています。

## 東近江市次世代エネルギーパーク

**名称**：東近江市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：栽培した菜の花から菜種油を製造し、使用済みの食用油をバイオディーゼル燃料にリサイクルする「菜の花エコプロジェクト」に取り組んでいます。また、八日市商工会議所と東近江市商工会が、環境推進と経済循環により地域力向上を図る「東近江市Sun讃プロジェクト」を立ち上げ、市民共同発電所を設置。売電益を地域商品券で還元するため、地域経済の好循環につながっています。市民と「協働」して、資源の活用や地域経済の循環を「体感」し、その取り組みを全国に「発信」することで、さらなる地域活性化を図ります。

詳しくは

**26,000** 市内から**使用済みの食用油**2万6,000ℓを回収し、バイオディーゼル燃料にリサイクルしています。

## 奈良県次世代エネルギーパーク

**名称**：奈良県次世代エネルギーパーク
**認定**：平成26年度
**概要**：南北に長く、地形や気候も変化に富む奈良県。北部では水道施設を利用した小水力発電や廃棄物の焼却熱によるバイオマス発電、南部では広大な土地を生かしたメガソーラーや地元木材を活用した木質バイオマス発電など、地域に適した再エネ利用を進めています。また、自治体や企業だけでなく、市民共同出資によるNPO法人や地域活性を推進する地元の協議会など、多様な運営者の参加を実現。さらに、災害などの停電時に周辺地域へ電気を供給する取り組みや住民参加による地域おこしへの利用など、多様な形で役立てられています。

詳しくは

**18** 奈良県次世代エネルギーパークに参加している**自治体・企業などの数**です。

## 大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク

**名称**：大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク
**認定**：平成22年度
**概要**：大阪は、世界最先端の「技術と人材」を誇る太陽電池やリチウムイオン電池などの関連企業や研究機関が集まるエリア。さまざまな次世代エネルギーの供給・開発施設を体感できます。こうした施設が集積する堺市内をはじめ、大阪府全体を1つの次世代エネルギーパークとし、「新エネルギーといえば大阪」というブランドイメージの確立を目指します。

詳しくは

大阪　堺

**18** **対象施設**の数です。さまざまな次世代エネルギー施設があります。

## エネルギーパーク洲本

**名称**：エネルギーパーク洲本
**認定**：平成21年度
**概要**：エネルギーパーク洲本は、循環型社会を目指す取り組み「菜の花・ひまわりエコプロジェクト」関連施設が整備されている「ウェルネスパーク五色」を拠点として、バイオマスや風力発電、太陽光発電といった複数の再生可能エネルギー施設を見学することができます。「ウェルネスパーク五色」は、宿泊施設や温泉施設、レストラン、オートキャンプ場、ログハウス、スポーツ施設、遊具広場、体験工房などを備える複合レジャー施設。京阪神方面を中心に多くの方々にご利用いただいています。

詳しくは

**787** 市を代表する再エネの取り組み「菜の花・ひまわりエコプロジェクト」によって栽培される**「菜の花（787）」**。春には満開となって一面を黄色に染め、見る人に元気を与える市のシンボルです。

## ありだがわ次世代エネルギーパーク

**名称**：ありだがわ次世代エネルギーパーク
**認定**：平成28年度
**概要**：町営の小水力発電所の建設から、住宅などへの太陽光・太陽熱利用設備の補助制度など、地域で創り出す再エネ事業へ。有田川町の取り組みは、地域に生かされるものへとシフトしています。次世代エネルギーパークでは、町民はじめ多くの人々が再エネを身近に体験・体感する機会を増やし、より一層の導入促進や啓蒙啓発を図るとともに、再エネ先進都市を目指す有田川町の姿を広くPR。みんなが暮らしたい「ありだがわというエコのまち」実現に向け、住民・事業者・行政が一体となって取り組んでいます。

詳しくは

**1,300,000** 町営二川小水力発電所の**年間発電量**は130万kWhです。

## 日高港新エネルギーパーク

**名称**：日高港新エネルギーパーク（愛称：EEパーク）
**認定**：平成19年度
**概要**：EEパークには太陽光、風力、水力、そして小型ハイブリッド発電設備が設置され、さまざまな次世代エネルギーを体感できます。全長120mのソーラーカーコーナーでは、太陽光パネルを装備したカートで、子どもから大人まで安全なソーラーカードライブが楽しめます。「PR館」では新エネルギーの解説と、御坊市および周辺エリアを紹介。次世代エネルギーの可能性や未来像を見て・学んで・体感することができます。

詳しくは

**120** 敷地内に全長120mの**ソーラーカーサーキット**があり、子どもから大人までソーラーカーでのドライブが楽しめます。

## とっとり次世代エネルギーパーク

**名称**：とっとり次世代エネルギーパーク
**認定**：平成25年度
**概要**：豊かな自然や変化に富んだ地形は、太陽光や風力、水力、バイオマスなど多種多様な再生可能エネルギーを生み出します。その中核が本州最大級の大規模太陽光発電所「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」のガイダンス施設「とっとり自然環境館」と、水素エネルギーの実証と環境教育の拠点「とっとり水素学びうむ」。県域全体を1つのエネルギーパークと位置付け、再エネの恩恵を県民が自ら認識し、意識を高めます。また、これらのエネルギー施設と豊かな自然や観光資源を連携させた環境学習を行い、地域の活性化を図ります。

詳しくは

**80,000** とっとり次世代エネルギーパークの中核施設である「とっとり自然環境館」には年間1万人以上の方が来場し、昨年度、**累計来場者数**が8万人を突破しました。

## 真庭市地産エネルギーパーク

**名称**：真庭市地産エネルギーパーク
**認定**：平成19年度
**概要**：中国山地のほぼ中央に位置する真庭市は古くから木材業で栄えた町。地域資源の1つである木材を有効利用し、資源循環型社会の実現だけではく、SDGs目標達成を組み込んだ地域づくりに取り組んでいます。そんな「バイオマス産業杜市」と「SDGs未来杜市」の全容を効率よく見学できるのが「バイオマスツアー真庭」です。「A：木質バイオマスコース」はバイオマス発電所の見学をはじめ、森林資源循環の仕組みを紹介。「B：バイオマス循環農業コース」は環境負荷の少ない循環型の真庭の暮らしを紹介しています。

詳しくは

**10,000** 真庭バイオマス発電所の**発電能力**1万kWは、一般家庭約2万2,000世帯分の電力を賄える規模です。

## 出雲市次世代エネルギーパーク

**名称**：出雲市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成20年度
**概要**：出雲は日本海からの強い「風」、さんさんと大地に降り注ぐ「光」、山々に豊かに茂る「木」など、多くの自然エネルギーに恵まれた地域です。その自然の恵みから電気や熱をつくり出す施設が市内には多く点在。日本海を臨む日本最大級の風力発電所「ユーラス新出雲ウインドファーム」や木質チップボイラーを利用した出雲須佐温泉「ゆかり館」などの見どころに加え、理科学習の拠点「出雲科学館」など、科学や環境について学べる施設も充実。神話の国の「新（神）エネ」を体感できるエネパへぜひお越しください。

詳しくは

**63,000** **出雲市の世帯数**である約6万3,000世帯の電力を賄うことを目標に再生可能エネルギーの導入を進めています。

## 福山市次世代エネルギーパーク

**名称**：福山市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成23年度
**概要**：環境学習の拠点施設である「福山市リサイクルプラザ」でのecoちゃれんじ講座や、太陽光・風力発電施設、リサイクル施設などの見学によって、地球環境と調和した低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を体感。気軽にできる環境に優しい行動を学ぶことができます。また、これらを観光資源として広く周知して誘客を図り、観光を通じて環境の保全と創造を体感できる「環境観光」の取り組みを進めています。

詳しくは

**16** 福山市次世代エネルギーパークを構成する**施設の数**です。なお、福山市内の全域が対象エリアとなっています。

## 北広島町次世代エネルギーパーク

**名称**：北広島町次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：2009年6月1日に「新エネ百選」に選定された庁舎太陽光発電システムと川小田小水力発電をはじめとする、豊かな自然を生かした施設が中心。その他にも、家庭から出る廃油を使ったバイオディーゼル燃料や地元木材を熱利用する「せどやま再生事業」など、民間事業者の取り組みと合わせて、町ぐるみでエネルギーパークを構成しています。「自然を生かす環境づくり」「新エネルギーを活用する環境づくり」「みんなで生かすECOエネルギーづくり」の3本柱で、誰もが楽しく学べる場を創出しています。

詳しくは

**158** 北広島町役場本庁舎屋上に100kW、壁面に58kW、合計158kWの**発電能力**を持つパネルを設置しています。

## 周南市次世代エネルギーパーク

**名称**：周南市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成22年度
**概要**：豊かな自然を次代に引き継ぎ、地球に負担を掛けない環境に優しい街を目指す周南市。その観光拠点である徳山動物園では、テーマパーク型動物園への全面リニューアルに着手。コンパクトな街中の動物園として生態系の素晴らしさや人間社会との関わりを再現する「動物展示」と、次世代エネルギー装置などの「エコロジー展示」を組み合わせ、地球環境から身近な暮らしまで「エネルギー」という1つのテーマの下に展開します。また、水素先進市として液化水素ステーションを設置し、環境への理解を深める機会を提供していきます。

詳しくは

**5** **アニマルエコランドの面積**は5haです。

## ときわ公園次世代エネルギーパーク

**名称**：ときわ公園次世代エネルギーパーク
**認定**：平成24年度
**概要**：ときわ公園は、「環境・芸術・スポーツ・福祉」の融合した先進的なモデル公園を目指し、さまざまな取り組みを行っています。その1つが次世代エネルギーパークです。古くは炭鉱で知られた宇部市。宇部炭発祥の地である常盤湖畔には、日本で初めての石炭記念館があります。そこで、新たに整備した再生可能エネルギー施設を連携させ、石炭から再生可能エネルギーへ「目で見て触れて、学び、遊べるエコパーク化」を推進しています。

詳しくは

**40** **ときわ公園の広さ**は、東京ドーム40個分です。

## 土庄町次世代エネルギーパーク

**名称**：土庄町次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：小豆島の西北部と豊島を含む土庄町には人々を魅了する美しい自然が数多くあり、また多くの島嶼と相まって瀬戸内海国立公園にふさわしい内海美、多島美を眺めることができます。この香川県を代表する観光地である小豆島と豊島に新エネルギーを導入し、町民および来島者に対し、効果的に普及啓発する計画です。土庄町は環境に配慮する町づくりを進め、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方について、理解の増進を図っていきます。

詳しくは

**21** 平成21年に小型風力・太陽光ハイブリッド発電システムを設置。また、21世紀にふさわしい環境に配慮する町づくりや地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方について理解を促進します。

## 阿南市次世代エネルギーパーク

**名称**：阿南市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成20年度
**概要**：阿南市次世代エネルギーパークの７施設とは次のものです。①省$CO_2$、エコ設計の新庁舎「阿南市役所」、②高効率ごみ発電を行う処理施設「エコパーク阿南」、③エネルギー教室などを実施する「阿南市科学センター」、④太陽熱利用設備を整備予定の「道の駅・公方の郷なかがわ」、⑤コスト改善を実現した新エネルギー導入事例「王子製紙（株）富岡工場」、⑥年間６万人以上が来園する電気と科学の体験学習施設「Waンダーランド」、⑦風力発電で海風と共生、年間４万人が利用する「かもだ岬温泉保養センター」。

詳しくは

**7** 阿南市内の新エネルギー関連施設数です。

## とうおん次世代エネルギーパーク

**名称**：とうおん次世代エネルギーパーク
**認定**：平成25年度
**概要**：東温市は「環境と健康」を最重要施策とし、持続可能な循環型社会と位置付ける「東温市環のまちづくりプロジェクト」を推進しています。その一部である「とうおん次世代エネルギーパーク」は、東温市役所を中心に市内全域がそのフィールド。「環境」と「防災」の視点から市内全域に整備された再生可能エネルギー設備を見学するとともに、それを有効活用することにより創成されつつある循環型取り組みが学べます。こうした経験から地球環境に優しい次世代エネルギーの在り方を多くの人に感じてもらうことを目指しています。

詳しくは

**1** 「とうおん次世代エネルギーパーク」には大規模な施設はないけれど、ユニークな取り組みでオンリー１！

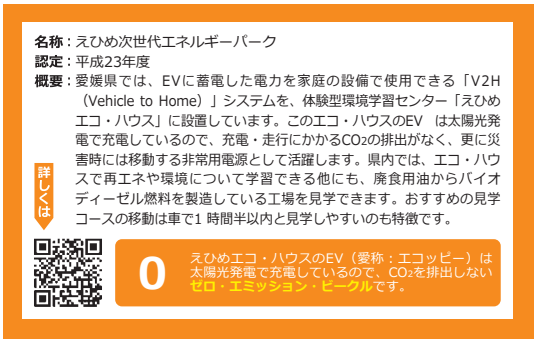
## まつやま次世代エネルギーパーク

**名称**：まつやま次世代エネルギーパーク
**認定**：平成22年度
**概要**：松山市では、太陽エネルギーの活用を中心に「脱温暖化」と「産業創出」を目指しています。市内各地に設置された公共の太陽光発電だけでなく、太陽電池の製造とパネルのメンテナンスなどに関わる民間工場をルートに加えることにより、官民一体となった、太陽光発電の生産から活用までの一連の流れが理解できます。また、再エネや環境保全について理解を深められるよう、環境について楽しく学べる体験活動への参加や、太陽光発電だけでなく、小水力発電などの再エネ設備やごみ発電を行うごみの焼却施設も見学できます。

詳しくは

**2,000** 松山市の年間日照時間です。

## えひめ次世代エネルギーパーク



**名称**：えひめ次世代エネルギーパーク
**認定**：平成23年度
**概要**：愛媛県では、EVに蓄電した電力を家庭の設備で使用できる「V2H（Vehicle to Home）」システムを、体験型環境学習センター「えひめエコ・ハウス」に設置しています。このエコ・ハウスのEV は太陽光発電で充電しているので、充電・走行にかかる$CO_2$の排出がなく、更に災害時には移動する非常用電源として活躍します。県内では、エコ・ハウスで再エネや環境について学習できる他にも、廃食用油からバイオディーゼル燃料を製造している工場を見学できます。おすすめの見学コースの移動は車で1 時間半以内と見学しやすいのも特徴です。

詳しくは

0 えひめエコ・ハウスのEV（愛称：エコッピー）は太陽光発電で充電しているので、$CO_2$を排出しない**ゼロ・エミッション・ビークル**です。

## 北九州次世代エネルギーパーク

**名称**：北九州次世代エネルギーパーク
**認定**：平成19年度
**概要**：北九州市若松区響灘地区では、「低炭素次世代エネルギーパーク」「資源循環（北九州エコタウン）」「自然共生（ビオトープ）」の3要素が連携した環境拠点「響灘エコフロンティアパーク」を展開。低炭素を担う次世代エネルギーパークには、多種多様なエネルギー関連施設が集積しています。暮らしを支えるエネルギー供給基地や太陽光・風力発電などの再生可能エネルギー施設、さらに新たにバイオマス・石炭混焼発電が始まるなど、さまざまなエネルギー関連施設を見学し、楽しく学ぶことができます。

詳しくは

**1** エネルギーパーク**第1号に認定**されました。

## 大牟田市次世代エネルギーパーク

**名称**：大牟田市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：石炭で日本の近代化をエネルギー面から支えてきた大牟田市。それを象徴する、三池炭鉱宮原坑をはじめとした「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が2015年7月、世界文化遺産に登録されました。大牟田市次世代エネルギーパークは、石炭の歴史から、太陽光発電やバイオマス発電といった新エネルギーまで、過去から未来のエネルギーについて体験・学習できる地域拠点を目指しています。

詳しくは

**7** ユネスコの世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産　製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の**エリア7の構成施設**として、大牟田市には宮原坑、三池炭鉱専用鉄道敷跡、三池港があります。

## 玄海町次世代エネルギーパーク

**名称**：玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ
**認定**：平成19年度
**概要**：「玄海町次世代エネルギーパーク　あすぴあ」が目指すのは、次世代を担う子どもたちが次世代エネルギーを見て、触れて、直接体験できる学習の場であると同時に、地域を活性化する場としての機能を発揮すること。小中学生を中心とする子どもとそのご家族に向け、日々のエネルギーのある暮らしや地域とのつながりに気付き、理解できる「学びの場」を創出していきます。「あすぴあ」は、体験型の展示や双方向型のアクティビティーを中心に構成。体を使って遊び、感じることで好奇心や疑問が膨らみ、確かな学びにつながります。

詳しくは

**4** 「あすぴあ」の**オリジナルキャラクター**は4体。太陽エネルギーの妖精・そーらりん、水力エネルギーの妖精・うぉった、風力エネルギーの妖精・ふうたん、バイオマスエネルギーの妖精・もりーん。

## 平戸市次世代エネルギーパーク

**名称**：平戸市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成23年度
**概要**：平戸市は、本土最西端に位置し、平戸島、生月島、的山（あづち）大島など約40の島と北松浦半島の一部で構成され、世界文化遺産（平戸の聖地と集落）の構成資産があり、優れた景観や歴史的な観光資源が豊富にある地域です。なお、本市自治体（第3セクター）の風力発電の発電規模は国内最大となっています（2011〈平成23〉年当時）。

詳しくは

**15** 離島・的山大島の風力発電所から、約15km離れた九州電力田平変電所まで**海底ケーブル**で送電。離島の風力発電では日本初の試みでした（2011〈平成23〉年当時）。

## 長崎次世代エネルギーパーク

**名称**：長崎次世代エネルギーパーク
**認定**：平成19年度
**概要**：コージェネレーションシステムなどの見学を通じて、エネルギーの「地産地消」を楽しく学ぶことができるのはテーマパークだからこそ。他にも空気を汚さない太陽光発電パネルを園内各所に設置し、年間で一般家庭の約100戸分に相当する電気を自家消費しています。排気ガスと二酸化炭素を出さない電気バスを導入する他、天然ガスのエネルギーを有効に使うコージェネレーションシステムは、発電時の熱をお湯や暖房などに役立てています。ハウステンボスには自然に優しい工夫がいっぱいです。

詳しくは

**100** 園内消費（自家消費）している太陽光発電は約300kW。約100戸分の**家庭の電力**を賄っています（1戸＝3kWの場合）。

## 大分県次世代エネルギーパーク

**名称**：大分県次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：大分県は、日本一の発電規模を誇る地熱発電や豊富な森林資源を使ったバイオマス、農業用水路などを利用した小水力、太陽光、風力など、さまざまな再生可能エネルギーに恵まれています。そこで、これらの再生可能エネルギーを活用している県内の企業や自治体とネットワークを構築。県全体を公園に見立て、エネルギーパークと位置付けています。官民が一体となって再生可能エネルギーに触れる機会を提供していきます。

詳しくは

**No.1** 再生可能エネルギー自給率**日本一**

## くまもと次世代エネルギーパーク

**名称**：くまもと次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：熊本県では、2012年に「熊本県総合エネルギー計画」を策定し、新エネルギーの導入加速化などを行っています。その中でも、ソーラーの導入促進に早くから積極的に取り組んでおり、住宅用太陽光発電普及率は全国2位（2020年3月末現在）、さらに102件のメガソーラーの立地協定を締結しています（2020年9月現在）。

詳しくは

**2** 都道府県別住宅用太陽光発電普及率で、熊本県は**全国2位**です（2017年3月末現在）。

## 宮崎県次世代エネルギーパーク

**名称**：宮崎県次世代エネルギーパーク
**認定**：平成25年度
**概要**：日射条件や降水量、木材・肉用牛・豚・ブロイラーの生産量が全国トップクラスで、豊富な再生可能エネルギー資源に恵まれる宮崎県。再生可能エネルギーと地元の農畜産業・林業・食産業などを融合させた見学・体験メニューを考案し、実際に見て触れることを通して、県内各地の地域特性について学ぶことができる次世代エネルギーパークを形成していきます。中心施設である「宮崎県環境情報センター」を窓口として、次世代エネルギーパークや県内の環境に関する情報などを発信していきます。

詳しくは

**28** **見学できる施設**は28施設。県内各地で、さまざまな種類のエネルギーに触れることができます。

## 九州地方（9カ所）

### いちき串木野次世代エネルギーパーク

**名称**：いちき串木野次世代エネルギーパーク
**認定**：平成24年度
**概要**：「次世代エネルギーをベースとした環境維新のまちづくりと食文化」をテーマに、焼酎・さつま揚げなどの「食のまち」を支えてきた西薩中核工業団地の企業が連携。企業経営に再エネを取り入れながら、スマートコミュニティへの展開と環境負荷の日本一少ない工業団地を目指しています。また、エネルギーの過去・現在・未来がギュッと集まった工業団地を核に、地域の食文化と次世代エネルギーの融合が体験できるエコツアーをご提案。地域文化発信型のエネパとして、食と環境のつながりの大切さを共感していただけるでしょう。

詳しくは

**100** 100%再生可能エネルギーによる日本一環境負荷の少ない工業団地を目指しています。

## 沖縄地方（2カ所）

### 糸満市次世代エネルギーパーク

**名称**：糸満市次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：浄化センターを拠点に、市内全域をエネパとして周遊コースを開発しています。同センターでは、温室効果ガスの削減による地球温暖化防止と地域産業の活性化を目指し、民間事業者が実施する再生可能エネルギーを活用した発電事業に対し、本市がバイオガス資源であるバイオガス（消化ガス）を供給し、官民が連携して再エネを有効活用する事業を実施。これは県内市町村単位としては初となる事業です。その他、市内では公共施設や防犯灯へのLED照明設置、公用車として電気自動車の導入などecoな活動を推進しています。

詳しくは

**49** 次世代エネルギーパーク内において、再生可能エネルギーや省エネルギーの設備を設置した公共施設などの数です。

### 宮古島次世代エネルギーパーク

**名称**：宮古島次世代エネルギーパーク
**認定**：平成21年度
**概要**：宮古島には太陽光発電や風力発電、バガスやメタンの利用など、さまざまな再生可能エネルギー施設が点在しています。また、基幹作物のサトウキビの他、マンゴーや島野菜などの農作物は、地下ダムのおかげで水不足の心配も減りました。その地下水を守るため、循環型社会構築やエネルギー地産地消への取り組みも盛ん。「見て、触れて、学ぶ」をキーワードに、島全体を「次世代エネルギーパーク」と位置付け、観光で訪れた方々にも宮古島の青い海や青い空を後世に残すためのさまざまな取り組みに触れていただくことができます。

詳しくは

**385** 宮古（385）島全体がエネルギーパークです。